

令和4年度

重点事業評価シート

島田市

令和4年度会計別 重点事業一覧

【一般会計】

頁	事業名	決算額（円）	内訳					担当課	
			款	項	目	予算の中事業名	決算額（円）		決算書頁
1	議会だより発行経費	3,642,342	1	1	1	議事事務費【一部】	3,642,342	78	議事事務局
2	議会報告会（市民との意見交換会）の開催	0	1	1	1	※事業費の計上なし	0		議事事務局
3	窓口受付等包括委託	130,784,508	2	1	1	窓口受付等包括委託	130,784,508	78	人事課
4	旧金谷中学校跡地活用事業	982,642	2	1	2	空港周辺プロジェクト推進事業【一部】	982,642	80	戦略推進課
5	広域行政推進経費	183,040	2	1	2	広域行政推進経費	183,040	80	戦略推進課
6	島田市公式ホームページ管理運営経費	1,382,000	2	1	3	広報活動経費【一部】	1,382,000	80	広報課
7	島田市公式LINE管理運営経費	1,320,000	2	1	3	広報活動経費【一部】	1,320,000	80	広報課
8	広報発行経費	11,909,480	2	1	3	広報発行経費	11,909,480	80	広報課
9	行政番組放送事業	15,000,000	2	1	3	行政番組放送事業	15,000,000	80	広報課
10	シティプロモーション推進事業	19,640,022	2	1	3	シティプロモーション推進事業	10,712,676	80	広報課
			2	1	3	アンテナショップ出店事業	5,937,346	80	広報課
			2	1	3	ふるさと島田の魅力発信事業（繰越明許）	2,990,000	80	広報課
11	移住ポータルサイト管理運営経費	2,684,000	2	1	4	移住・定住促進事業【一部】	2,684,000	82	市民協働課
12	国際友好事業補助金	7,856,000	2	1	4	国際交流団体補助金【一部】	7,856,000	82	文化振興課
13	ふるさと寄附金推進事業	166,631,928	2	1	4	ふるさと寄附金推進事業	166,631,928	82	市民協働課
14	多文化共生事業	529,710	2	1	5	多文化共生事業	529,710	82	文化振興課
15	消費者保護事業	705,446	2	1	6	消費者保護事業	705,446	82	生活安心課
16	通学路防犯カメラ設置費補助金	678,000	2	1	6	防犯対策事業【一部】	678,000	84	生活安心課
17	集中管理車両リース事業	5,597,702	2	1	7	自動車運行管理費【一部】	5,597,702	84	資産活用課
18	文書管理システム導入事業	0	2	1	8	文書管理システム導入事業	0		行政総務課
19	子育て支援プラットフォーム等構築事業	19,646,000	2	1	9	デジタル変革推進事業【一部】	19,646,000	86	デジタルトランスフォーメーション推進課
20	デジタル活用推進事業	5,874,088	2	1	9	デジタル変革推進事業【一部】	5,874,088	86	デジタルトランスフォーメーション推進課
21	デジタルマーケティング施策推進事業	34,176,426	2	1	9	デジタルマーケティング施策推進事業	34,176,426	86	デジタルトランスフォーメーション推進課
22	金谷地区生活交流拠点整備運営事業	21,675,000	2	1	10	旧金谷庁舎跡地利活用事業【一部】	21,675,000	86	資産活用課
23	市役所新庁舎整備事業	2,975,202,170	2	1	11	市役所新庁舎整備事業	2,975,202,170	86	庁舎建設課
24	証明書のコンビニ交付事業	10,981,510	2	3	1	戸籍住民基本台帳事務費【一部】	10,981,510	94	市民課
25	マイナンバーカード交付事業	8,719,098	2	3	1	マイナンバーカード交付事業	8,719,098	94	市民課
26	交通安全施設整備事業	25,853,998	2	7	2	交通安全施設整備事業	25,853,998	98	すぐやる課
27	コミュニティバス運行管理経費	253,932,980	2	7	3	コミュニティバス運行管理経費	253,932,980	100	生活安心課
28	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業	11,529,295	3	1	3	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業	11,529,295	106	長寿介護課

頁	事業名	決算額（円）	内訳					担当課	
			款	項	目	予算の中事業名	決算額（円）		決算書頁
29	介護サービス提供体制整備促進事業費補助金	55,756,000	3	1	3	介護サービス提供体制整備促進事業費補助金	55,756,000	106	長寿介護課
30	成年後見支援センター運営事業	9,339,000	3	1	3	成年後見支援センター運営事業	9,339,000	106	包括ケア推進課
31	チビッコ広場遊具撤去費等補助金	541,000	3	2	1	児童福祉事務費【一部】	541,000	112	子育て応援課
32	子育て短期支援事業	362,100	3	2	1	家庭児童相談室運営事業【一部】	362,100	112	子育て応援課
33	こども発達相談事業	706,848	3	2	1	こども発達相談事業	706,848	114	子育て応援課
34	放課後児童クラブ運営事業	253,098,980	3	2	4	放課後児童クラブ運営事業	253,098,980	114	子育て応援課
35	民間保育所施設整備助成事業	45,933,000	3	2	4	民間保育所施設整備助成事業	45,933,000	116	保育支援課
36	保育料の第2子半額・第3子以降無償化	64,892,000	13	2	2	≪歳入≫ 民間保育所入園者負担金の減	22,619,000	22	保育支援課
			14	1	2	≪歳入≫ 公立保育所使用料の減	3,960,000	24	保育支援課
			3	2	7	認定こども園等施設型給付費【一部】	27,661,000	118	保育支援課
			3	2	7	地域型保育給付費【一部】	10,652,000	118	保育支援課
37	病児・病後児保育事業	34,916,000	3	2	7	病児保育事業	14,031,000	118	保育支援課
			3	2	7	病後児保育事業	20,885,000	118	保育支援課
38	就労準備支援事業	10,723,000	3	3	3	就労準備支援事業	10,723,000	120	福祉課
39	ネウボラ推進事業	1,162,323	4	1	2	ネウボラ推進事業	1,162,323	126	健康づくり課
40	がん検診事業（各種がん検診・受診勧奨）	76,587,461	4	1	4	がん検診事業	72,667,051	128	健康づくり課
			4	1	4	がん検診推進事業	2,136,361	128	健康づくり課
			4	1	4	がん検診受診勧奨事業	1,784,049	128	健康づくり課
41	住宅用省エネルギー設備設置促進事業	13,450,000	4	1	5	住宅用省エネルギー設備設置促進事業	13,450,000	130	環境課
42	環境基本計画策定事業	3,993,000	4	1	5	環境基本計画策定事業【一部】	3,993,000	130	環境課
43	火葬炉耐火物全体積替工事	13,035,000	4	1	7	斎場管理運営経費【一部】	13,035,000	130	環境課
44	田代環境プラザ運営費	1,103,372,374	4	2	3	田代環境プラザ運営事務費	1,362,273	134	環境課
			4	2	3	ガス化溶融施設管理運営経費	1,060,368,269	134	環境課
			4	2	3	食品残渣等リサイクル施設管理経費	1,213,483	134	環境課
			4	2	3	回収乾電池等再資源化事業	6,100,877	134	環境課
			4	2	3	溶融飛灰処理経費	34,327,472	134	環境課
45	合併処理浄化槽設置助成事業	98,582,000	4	2	7	合併処理浄化槽設置助成事業	98,582,000	136	下水道課
46	農地利用推進事業	107,008	6	1	1	農地利用推進事業	107,008	138	農業振興課
47	がんばん認定農業者支援事業	10,856,146	6	1	3	がんばん認定農業者支援事業	10,856,146	140	農業振興課
48	島田市茶業振興協会補助金	10,824,795	6	1	4	茶業団体支援事業【一部】	10,824,795	142	農業振興課
49	蓬萊橋上部工架替事業	18,480,000	6	1	5	農道整備事業【一部】	18,480,000	142	農林整備課

頁	事業名	決算額（円）	内訳					担当課	
			款	項	目	予算の中事業名	決算額（円）		決算書頁
50	農地中間管理機構関連農地整備事業負担金	19,975,000	6	1	5	農地中間管理機構関連農地整備事業負担金	19,975,000	142	農林整備課
51	森林施業補助事業	16,204,500	6	2	2	森林施業補助事業	16,204,500	144	農林整備課
52	地域木材利用促進事業	18,304,610	6	2	2	地域木材利用促進事業	18,304,610	144	農林整備課
53	森林環境整備促進事業	14,393,500	6	2	2	森林環境整備促進事業	14,393,500	144	農林整備課
54	リノベーションまちづくり推進事業	5,000,000	7	1	2	リノベーションまちづくり推進事業	5,000,000	148	商工課
55	産業支援センター運営事業	4,027,589	7	1	2	産業支援センター運営事業	4,027,589	148	商工課
56	島田市創業補助金	3,977,000	7	1	2	島田市創業補助金	3,977,000	148	商工課
57	ビジネスニーズ参入支援事業補助金	5,000,000	7	1	2	ビジネスニーズ参入支援事業補助金	5,000,000	148	商工課
58	企業立地促進事業費補助金	0	7	1	3	企業立地促進事業費補助金	0		内陸フロンティア推進課
59	蓬莱橋周辺整備事業	2,701,800	7	1	4	蓬莱橋周辺整備事業	2,701,800	150	観光課
60	島田市観光協会補助金	80,500,000	7	1	4	島田市観光協会補助金	80,500,000	150	観光課
61	諏訪原城跡プロモーション事業	4,392,576	7	1	4	諏訪原城跡プロモーション事業	4,392,576	152	博物館課
62	川越し街道賑わい創出事業	458,894	7	1	4	川越し街道賑わい創出事業	458,894	152	博物館課
63	島田大祭事業費補助金	36,500,000	7	1	4	島田大祭事業費補助金	36,500,000	152	観光課
64	橋りょう長寿命化点検事業	20,798,476	8	2	1	橋りょう長寿命化点検事業	20,798,476	154	すぐやる課
65	道路維持修繕事業	75,734,707	8	2	2	道路維持修繕事業費	45,687,225	154	すぐやる課
			8	2	2	直営事業費	30,047,482	154	すぐやる課
66	島竹下線改良事業	112,860,912	8	2	3	島竹下線改良事業	83,361,862	156	建設課
			8	2	3	島竹下線改良事業（繰越明許）	29,499,050	156	建設課
67	橋りょう長寿命化修繕・耐震事業	189,615,000	8	2	5	橋りょう長寿命化修繕・耐震事業	107,525,000	158	建設課
			8	2	5	橋りょう長寿命化修繕・耐震事業（繰越明許）	82,090,000	158	建設課
68	急傾斜地崩壊対策事業	114,234,650	8	3	2	急傾斜地崩壊対策事業	105,873,650	158	建設課
			8	3	1	急傾斜地崩壊対策事業（繰越明許）	8,361,000	158	建設課
69	都市再生整備計画策定事業	2,618,000	8	4	1	都市計画決定等事務費【一部】	2,618,000	160	都市政策課
70	公園施設長寿命化対策事業	36,597,000	8	4	4	公園施設長寿命化対策事業	36,597,000	162	建設課
71	ふじのくにフロンティア推進区域整備事業	382,074,727	8	4	7	ふじのくにフロンティア推進区域整備事業	183,013,586	162	内陸フロンティア推進課
			8	4	7	ふじのくにフロンティア推進区域整備事業（繰越明許）	199,061,141	162	内陸フロンティア推進課
72	中古住宅活用促進事業	9,806,000	8	5	3	中古住宅活用促進事業	9,806,000	164	建築住宅課
73	狭あい道路拡幅整備事業	2,030,942	8	5	3	狭あい道路拡幅整備事業	2,030,942	166	建築住宅課
74	消防救急広域事務委託費	1,016,851,197	9	1	1	消防救急広域事務委託費	1,016,851,197	166	危機管理課

頁	事業名	決算額（円）	内訳				担当課		
			款	項	目	予算の中事業名		決算額（円）	決算書頁
75	デジタル式同報系防災行政無線整備事業	109,690	9	1	4	防災対策事務費【一部】	99,780	168	危機管理課
			9	1	4	通信機器管理経費【一部】	9,910	168	危機管理課
76	地区防災マップ整備事業	160,400	9	1	4	自主防災組織育成事業【一部】	160,400	168	危機管理課
77	洪水・土砂災害ハザードマップ更新事業	8,591,000	9	1	4	水防対策事業（繰越明許）	8,591,000	168	危機管理課
78	外国人英語指導等経費	22,843,226	10	1	3	外国人英語指導等経費	22,843,226	170	学校教育課
79	夢育・地育推進事業	3,844,687	10	1	3	夢育・地育推進事業	3,844,687	170	学校教育課
80	スクールバス運行経費	56,378,899	10	1	4	スクールバス運行経費	56,378,899	172	学校教育課
81	伊太小学校屋内運動場耐震化事業	154,335,500	10	2	1	伊太小学校屋内運動場耐震化事業	154,335,500	174	教育総務課
82	I C T 支援員配置経費	41,329,200	10	2	2	I C T 支援員配置経費（小学校費）	32,036,400	174	教育総務課
			10	3	2	I C T 支援員配置経費（中学校費）	9,292,800	176	教育総務課
83	島田第一小学校改築事業	753,954,095	10	2	3	島田第一小学校改築事業	753,954,095	174	教育総務課
84	地域学校協働本部事業	1,248,264	10	5	2	地域学校協働本部運営経費【一部】	1,248,264	178	社会教育課
85	家庭教育各種講座開催事業	1,515,870	10	5	2	地域学校協働本部運営経費【一部】	178,111	178	社会教育課
			10	5	2	各種講座開講経費	1,337,759	178	社会教育課
86	公民館運営事業	131,872,161	10	5	4	公民館運営審議会委員	201,500	178	社会教育課
			10	5	4	改善センター運営委員会委員	143,000	178	社会教育課
			10	5	4	ふれあいセンター運営委員会委員	149,500	180	社会教育課
			10	5	4	川根地区センター運営委員会委員	71,500	180	社会教育課
			10	5	4	各種講座開講経費	3,142,862	180	社会教育課
			10	5	4	公民館施設管理運営経費	72,067,099	180	社会教育課
			10	5	4	金谷生涯学習センター施設改修事業	56,096,700	180	社会教育課
87	図書館サービス充実事業	87,478,052	10	5	5	図書館協議会委員	223,000	180	図書館課
			10	5	5	図書館事務費	1,691,838	180	図書館課
			10	5	5	図書館資料充実事業	19,003,779	180	図書館課
			10	5	5	図書等整理保管経費	1,680,768	180	図書館課
			10	5	5	図書館システム運用経費	24,742,224	180	図書館課
			10	5	5	調査研究経費	38,868	180	図書館課
			10	5	5	金谷図書館管理運営経費	134,000	180	図書館課
			10	5	5	川根図書館管理運営経費	1,977,610	180	図書館課
			10	5	5	交流拠点施設管理運営経費	37,985,965	180	図書館課

頁	事業名	決算額（円）	内訳				担当課		
			款	項	目	予算の中事業名		決算額（円）	決算書頁
88	読書活動推進事業	3,730,031	10	5	5	読書啓発経費	2,449,451	180	図書館課
			10	5	5	地域館運営経費	1,280,580	180	図書館課
89	博物館本館展示経費	8,115,669	10	5	6	博物館展示経費	8,115,669	182	博物館課
90	博物館分館展示経費	640,677	10	5	6	博物館分館展示経費	640,677	182	博物館課
91	諏訪原城跡整備事業	9,047,123	10	5	7	諏訪原城跡整備事業	9,047,123	182	博物館課
92	川越遺跡整備事業	1,982,770	10	5	7	川越遺跡整備事業	1,982,770	182	博物館課
93	芸術文化普及事業委託	5,380,100	10	5	8	芸術文化普及事業【一部】	5,380,100	182	文化振興課
94	ブラザおおるり施設改修事業	6,453,700	10	5	8	ブラザおおるり施設改修事業	6,453,700	184	文化振興課
95	野外活動センター管理運営経費	13,045,213	10	5	10	野外活動センター管理運営経費	13,045,213	184	社会教育課
96	ニュースポーツ普及活動経費	1,026,559	10	6	1	ニュースポーツ普及活動経費	1,026,559	186	スポーツ振興課
97	ジュニアスポーツクラブ事業	1,064,362	10	6	1	ジュニアスポーツクラブ事業	1,064,362	186	スポーツ振興課
98	総合スポーツセンター等管理運営経費	72,128,737	10	6	2	総合スポーツセンター等管理運営経費	72,128,737	186	スポーツ振興課
99	田代の郷多目的スポーツ・レクリエーション広場管理運営経費	331,169	10	6	2	田代の郷多目的スポーツ・レクリエーション広場管理運営経費	331,169	186	スポーツ振興課
100	横井運動場公園・大井川緑地等管理運営経費	97,559,959	10	6	2	横井運動場公園・大井川緑地等管理運営経費	97,559,959	186	スポーツ振興課
101	学校給食運営事業	656,376,950	10	6	3	学校給食事務費	2,423,065	188	学校給食課
			10	6	3	学校給食運営経費	624,810,853	188	学校給食課
			10	6	3	学校給食施設整備管理経費	29,143,032	188	学校給食課
102	公共施設包括管理委託	174,841,577	/	/	/	※各施設で予算計上	/	/	資産活用課

【国民健康保険事業特別会計】

頁	事業名	決算額（円）	内訳				担当課		
			款	項	目	予算の中事業名		決算額	決算書頁
103	特定健康診査及び特定保健指導事業	73,330,974	5	1	1	特定健康診査及び特定保健指導事業	73,330,974	24	国保年金課

【介護保険事業特別会計】

頁	事業名	決算額（円）	内訳				担当課		
			款	項	目	予算の中事業名		決算額	決算書頁
104	保険給付費	8,023,550,853	2	/	/	保険給付費（款）	8,023,550,853	67	長寿介護課

【介護サービス事業特別会計】

頁	事業名	決算額（円）	内訳				担当課		
			款	項	目	予算の中事業名		決算額	決算書頁
105	訪問看護ステーション事業	75,081,308	/	/	/	（歳出全体）	75,081,308	95	健康づくり課

【水道事業会計】

頁	事業名	決算額（円）	内訳					担当課	
			款	項	目	予算の科目名	決算額		決算書頁
106	老朽化施設更新事業	146,795,000	1	1	1	「資本的支出」工事請負費（節）【一部】	146,795,000	131	水道課
107	送水管更新事業	148,753,000	1	1	1	「資本的支出」工事請負費（節）【一部】	148,753,000	131	水道課
108	機械設備維持修繕工事	34,063,000	1	1	1	「資本的支出」工事請負費（節）【一部】	34,063,000	131	水道課

【病院事業会計】

頁	事業名	決算額（円）	内訳					担当課	
			款	項	目	予算の科目名	決算額		決算書頁
109	医業収益確保対策事業	12,942,241,510	1	1	1	「収益的收入」医業収益（項）	12,942,241,510	153	医事課
110	看護専門学校空調設備改修工事	22,880,000	1	1	1	「資本的支出」島田市立看護専門学校空調設備改修工事（細節）	22,880,000	164	教務課
111	看護専門学校高圧受電設備取替工事	17,050,000	1	1	1	「資本的支出」島田市立看護専門学校高圧受電設備取替工事（細節）	17,050,000	164	教務課
112	医療器械等整備事業	366,061,932	1	1	2	「資本的支出」医療器械器具及び備品（細節） 一般器械器具及び備品（細節）	366,061,932	164	経営企画課
113	新病院建設事業	2,540,463,846	1	1	3	「資本的支出」新病院建設事業費（目）	2,540,463,846	164	病院建設課

【公共下水道事業会計】

頁	事業名	決算額（円）	内訳					担当課	
			款	項	目	予算の科目名	決算額		決算書頁
114	公共下水道汚水管渠整備事業	312,450,150	1	1	1	「資本的支出」管渠建設費（目）	312,450,150	195	下水道課

政策分野別 重点事業一覧

政策分野 1 防災・福祉・健康

1-1	ここに住むすべての人の安全な生活を守る（危機管理・防災・消防）		
	急傾斜地崩壊対策事業	P 68
	消防救急広域事務委託費	P 74
	デジタル式同報系防災行政無線整備事業	P 75
	地区防災マップ整備事業	P 76
	洪水・土砂災害ハザードマップ更新事業	P 77
1-2	健康で自分らしく暮らす（健康づくり・地域医療）		
	がん検診事業（各種がん検診・受診勧奨）	P 40
	特定健康診査及び特定保健指導事業【国民健康保険事業特別会計】	P 103
	訪問看護ステーション事業【介護サービス事業特別会計】	P 105
	医業収益確保対策事業（収益）【病院事業会計】	P 109
	看護専門学校空調設備改修工事【病院事業会計】	P 110
	看護専門学校高圧受電設備取替工事【病院事業会計】	P 111
	医療器械等整備事業【病院事業会計】	P 112
	新病院建設事業【病院事業会計】	P 113
1-3	生涯を通じて誰もが生きがいを持ち安心して暮らす（高齢者・介護）		
	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業	P 28
	介護サービス提供体制整備促進事業費補助金	P 29
	成年後見支援センター運営事業	P 30
	保険給付費【介護保険事業特別会計】	P 104
1-4	互いに支え合い、いきいきと幸せに暮らす（地域福祉・障害福祉）		
	就労準備支援事業	P 38

政策分野 2 子育て・教育

2-1	子どもを生き育てやすい環境をつくる（子育て）		
	子育て支援プラットフォーム等構築事業 P	19
	チビッコ広場遊具撤去費等補助金 P	31
	子育て短期支援事業 P	32
	こども発達相談事業 P	33
	放課後児童クラブ運営事業 P	34
	民間保育所施設整備助成事業 P	35
	保育料の第2子半額・第3子以降無償化 P	36
	病児・病後児保育事業 P	37
	ネウボラ推進事業 P	39
2-2	地域ぐるみの教育環境をつくる（学校支援・子ども支援）		
	夢育・地育推進事業 P	79
	地域学校協働本部運営経費 P	84
	家庭教育各種講座開催事業 P	85
2-3	豊かな心を育む教育を進める（義務教育）		
	外国人英語指導等経費 P	78
	スクールバス運行経費 P	80
	伊太小学校屋内運動場耐震化事業 P	81
	I C T 支援員配置経費 P	82
	島田第一小学校改築事業 P	83
	学校給食運営事業 P	101
2-4	地域で学びの力を発揮する人材を育てる（社会教育）		
	公民館運営事業 P	86
	図書館サービス充実事業 P	87
	読書活動推進事業 P	88
	野外活動センター管理運営経費 P	95
2-5	生涯を通じてスポーツを楽しむ人を増やす（スポーツ活動）		
	ニュースポーツ普及活動経費 P	96
	ジュニアスポーツクラブ事業 P	97
	総合スポーツセンター等管理運営経費 P	98
	田代の郷多目的スポーツ・レクリエーション広場管理運営経費 P	99
	横井運動場公園・大井川緑地等管理運営経費 P	100

政策分野3 経済・産業

3-1	地域で働く人を増やし、地域経済を発展させる（人材確保）		
	産業支援センター運営事業 P	55
	島田市創業補助金 P	56
3-2	世界に誇れる技術を持った中小企業を育てる（中小企業支援）		
	ビジネスニーズ参入支援事業補助金 P	57
	企業立地促進事業費補助金 P	58
3-3	商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを生み出す（にぎわい創出）		
	リノベーションまちづくり推進事業 P	54
3-4	地域の特色を活かした農林業を進める（農業・林業）		
	農地利用推進事業 P	46
	がんばる認定農業者支援事業 P	47
	島田市茶業振興協会補助金 P	48
	蓬萊橋上部工架替事業 P	49
	農地中間管理機構関連農地整備事業負担金 P	50
	森林施業補助事業 P	51
3-5	地域の魅力を活かした観光振興を図る（観光）		
	蓬萊橋周辺整備事業 P	59
	島田市観光協会補助金 P	60
	諏訪原城跡プロモーション事業 P	61
	川越し街道賑わい創出事業 P	62
	島田大祭事業費補助金 P	63

政策分野 4 環境・自然・生活

4-1	地域循環共生圏を形成する (脱炭素社会・エネルギーの地産地消・循環型社会・環境教育)		
	住宅用省エネルギー設備設置促進事業 P	41
	環境基本計画策定事業 P	42
	田代環境プラザ運営費 P	44
4-2	みどり豊かな自然を守り育む (森林環境・農地保全・緑化活動)		
	地域木材利用促進事業 P	52
	森林環境整備促進事業 P	53
4-3	水資源と水環境を守る (水環境)		
	合併処理浄化槽設置助成事業 P	45
4-4	住みよい生活環境をつくる (住宅・防犯・公共交通・交通安全・消費生活・人権・男女共同参画・多文化共生)		
	多文化共生事業 P	14
	消費者保護事業 P	15
	通学路防犯カメラ設置費補助金 P	16
	交通安全施設整備事業 P	26
	コミュニティバス運行管理経費 P	27
	中古住宅活用促進事業 P	72

政策分野5 歴史・文化・地域

5-1	培われた歴史・文化で地域への理解と愛着を深める（歴史・文化）		
	博物館本館展示経費 P	89
	博物館分館展示経費 P	90
	諏訪原城跡整備事業 P	91
	川越遺跡整備事業 P	92
	芸術文化普及事業委託 P	93
5-2	島田を知り、好きになってもらう（情報発信・シティプロモーション）		
	島田市公式ホームページ管理運営経費 P	6
	島田市公式LINE管理運営経費 P	7
	広報発行経費 P	8
	行政番組放送事業 P	9
	シティプロモーション推進事業 P	10
5-3	誰もが暮らしたい、関わりたい、魅力ある地域をつくる（移住・関係人口）		
	移住ポータルサイト管理運営経費 P	11
	ふるさと寄附金推進事業 P	13

政策分野 6 都市基盤

6-1 便利で魅力あるまちの拠点をつくる（都市計画）		
旧金谷中学校跡地活用事業 P	4
都市再生整備計画策定事業 P	69
ふじのくにフロンティア推進区域整備事業 P	71
6-2 安全で快適な生活基盤を整える（生活道路・河川・公園・上下水道）		
橋りょう長寿命化点検事業 P	64
道路維持修繕事業 P	65
橋りょう長寿命化修繕・耐震事業 P	67
公園施設長寿命化対策事業 P	70
狭あい道路拡幅整備事業 P	73
老朽化施設更新事業【水道事業会計】 P	106
送水管更新事業【水道事業会計】 P	107
機械設備維持修繕工事【水道事業会計】 P	108
公共下水道汚水管渠整備事業【公共下水道事業会計】 P	114
6-3 地域と地域の活発な交流を支える道をつくる（幹線道路）		
島竹下線改良事業 P	66

政策分野 7 行財政

7-1	みんなの協力でまちをつくる（市民協働）		
7-2	安定的・継続的な市民目線の行財政運営を進める（行財政改革・人材育成・情報公開）		
	議会だより発行経費 P	1
	議会報告会（市民との意見交換会）の開催 P	2
	窓口受付等包括委託 P	3
	文書管理システム導入事業 P	18
	デジタル活用推進事業 P	20
	デジタルマーケティング施策推進事業 P	21
	証明書のコンビニ交付事業 P	24
	マイナンバーカード交付事業 P	25
7-3	都市間連携による地域の活性化を進める（広域連携）		
	広域行政推進経費 P	5
	国際友好事業補助金 P	12
7-4	公共施設を賢く持って、賢く使う（公共施設の保全・再編・利活用）		
	集中管理車両リース事業 P	17
	金谷地区生活交流拠点整備運営事業 P	22
	市役所新庁舎整備事業 P	23
	火葬炉耐火物全体積替工事 P	43
	プラザおおるり施設改修事業 P	94
	公共施設包括管理委託 P	102

様式の説明

令和4年度 重点事業評価シート

事業名							区分	
所属	部 課						会計	
決算額（円）				款項目			決算書頁	
総合計画	施策の柱							
	施策と内容							
事業の目的	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 事業の目的、目指すべき成果等について説明しています。 </div>					対象者 (ターゲット)		
前年度の課題に対する取組	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 令和3年度の実施結果から得られた課題に対する取組について説明しています。 </div>							
実施結果	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 令和4年度の実施結果について説明しています。 </div>							
指標名	当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	
活動指標	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 指標の目標値に対する達成状況について、以下の3段階(A~C)で評価しています。 <<定量的な目標の場合>> <<定性的な目標の場合>> 達成状況(%)=実績値÷目標値×100 A: 目標値に対して100%以上 A: 目標値を達成した B: 目標値に対して80%以上100%未満 B: 概ね目標値を達成した C: 目標値に対して80%未満 C: 目標値を達成できなかった </div>							
成果指標								
年度	総事業費（見込）	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算				
事業費（千円）								
節別内訳								
	その他							
	国庫支出金							
	県支出金							
財源内訳	地方債							
	その他							
	一般財源							
課題	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 実施結果を分析し、課題、改善点、令和5年度以降に取り組むポイントについて説明しています。 </div>							
改善点								

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	議会だより発行経費					区分	継続	
所属	議会事務局					会計	一般	
決算額（円）	3,642,342円	款項目	1	1	1	決算書頁	78	
総合計画	施策の柱	7-2	安定的・継続的な市民目線の行財政運営を進める（行財政改革・人材育成・情報公開）					
	施策と内容	3	開かれた市政を推進します					
事業の目的	「開かれた議会」として、広報広聴機能を強化する。				対象者 (ターゲット)	市民		
前年度の課題に対する取組	「開かれた議会」とするため、議会だよりの更なる充実を図る。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり議会だよりを5回発行し、議会活動の周知を図った。 ・議会だよりは、全世帯に配布したほか、島田市ホームページへの掲載や市公式LINEでの配信を行った。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	しまだ議会だよりの発行回数	A	5回	5回	5回	5回	5回	5回
			5回	5回	5回	/	/	/
成果指標	市民アンケートによる議会だよりを読む人の割合	B	80%	80%	80%	80%	80%	80%
			-	-	67.8%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	3,460		3,642		4,220	
節別内訳	需用費	-	3,460		3,642		4,220	
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	3,460		3,642		4,220	
課題	議会だよりを読む人の割合について、30歳代以下の世代では「全く読まない」人の割合が50%を超えており、若者世代に読まれていない。							
改善点	議会だよりの読者層を広げるため、従来の全戸配布以外の方法による周知が必要である。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	議会報告会（市民との意見交換会）の開催					区分	継続	
所属	議会事務局					会計	一般	
決算額（円）	0円		款項目	1	1	1	決算書頁	
総合計画	施策の柱	7-2	安定的・継続的な市民目線の行財政運営を進める（行財政改革・人材育成・情報公開）					
	施策と内容	3	開かれた市政を推進します					
事業の目的	「開かれた議会」として、広報広聴機能を強化する。				対象者 (ターゲット)	市民		
前年度の課題に対する取組	「開かれた議会」とするため、議会報告会（市民との意見交換会）を開催し、市民との意見交換を通じ市民ニーズを把握、政策提言に繋げる。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・議会報告会（市民との意見交換会）を6会場で開催し、延べ107名に参加していただいた。 ・「ごみの減量化」について市民と意見交換を行った結果、引き続き調査・研究が必要だと判断されたことから、総務生活常任委員会において政策課題として取り組み、市当局に対し政策提言を行った。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	議会報告会の開催回数	A	2回	2回	2回	2回	2回	2回
			1回	2回	2回	/	/	/
成果指標	議会報告会の参加者数	A	16人	35人	100人	100人	100人	100人
			16人	35人	107人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-						
節別内訳		-						
		-						
		-						
	その他	-						
		-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-						
課題	参加者が毎回固定されており、特に若者世代の参加者が少ない。							
改善点	より参加者を増やすためには、議会報告会の開催方法や意見交換の方法について検討する必要がある。引き続き、広報広聴特別委員会にて調査・研究していきたい。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	窓口受付等包括委託					区分	継続	
所属	行政経営部 人事課					会計	一般	
決算額（円）	130,784,508円		款項目	2	1	1	決算書頁 78	
総合計画	施策の柱	7-2	安定的・継続的な市民目線の行財政運営を進める（行財政改革・人材育成・情報公開）					
	施策と内容	1	行財政改革を進めます					
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口業務に民間企業のノウハウを取り入れることで業務の質を向上し、市民満足度を高める。 ・ 正規職員が担うべき政策立案などの業務に専念できる環境を構築する。 				対象者 (ターゲット)	窓口に来庁する市民等、市職員		
前年度の課題に対する取組	委託業務外の照会等の対応について、現場責任者の判断によりスムーズに市職員へ取次ぎ、待ち時間を短縮できるようになった。							
実施結果	令和2年度の包括業務委託導入から3年が経過し、大きな問題も無く安定した窓口業務が実施できている。その結果、市民満足度も高水準を維持し、正規職員がコア業務に注力できる環境が構築できている。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	業務委託した課数	A	15課	15課	15課	15課	15課	15課
			15課	15課	15課	/	/	/
成果指標	市民アンケートの市民サービスに対する満足度（%）	A	-	-	98.5%	98.5%	98.5%	98.5%
			98.5%	98.8%	98.8%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	130,785		130,785		130,785	
節別内訳	委託料	-	130,785		130,785		130,785	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	130,785		130,785		130,785	
課題	特に現状大きな課題はない。							
改善点	毎月の定例会で課題を共有し、課題の早期改善に取り組む。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	旧金谷中学校跡地活用事業					区分	継続	
所属	市長戦略部 戦略推進課					会計	一般	
決算額（円）	982,642円	款項目	2	1	2	決算書頁	80	
総合計画	施策の柱	6-1	便利で魅力あるまちの拠点をつくる（都市計画）					
	施策と内容	4	富士山静岡空港周辺プロジェクトを推進します					
事業の目的	民間活力による事業用地の活用により、「広域的な交流人口の拡大、賑わいの創出」を実現し、空港周辺地域全体の活性化に寄与することとする。				対象者 (ターゲット)	周辺地域の住民、完成した事業への来訪者		
前年度の課題に対する取組	事業をとりまく現状を把握するため、令和3年度に2つのサウンディング調査等を実施。今年度実施する事業者公募において、より多くの参加者を確保していく。							
実施結果	計画どおり、令和4年12月までに優先的交渉権者を決定した。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	旧金谷中学校跡地活用事業の事業進捗	A	-	-	事業者決定	契約締結	事業者準備	開業
			-	-	事業者決定	/	/	/
成果指標	市民意識調査「富士山静岡空港を活用したまちづくり」における市民満足度	C	-	-	46.7%	46.7%	46.7%	46.7%
			39.1%	30.6%	33.6%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	2,783		983		1,023	
節別内訳	旅費	-			7		107	
	需用費	-	32		164		206	
	役務費	-	1,510		760		710	
	委託料	-	1,234					
	その他	-	7		52			
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	2,783		983		1,023	
課題	令和8年3月末までの開業に向けて、スケジュールどおり事業が進捗するように早期に事業を具体化していく。							
改善点	事業者と連絡を密にしながら、地元や県との連絡・調整を行い、事業が円滑に進むように取り組む。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	広域行政推進経費					区分	継続	
所属	市長戦略部 戦略推進課					会計	一般	
決算額（円）	183,040円	款項目	2	1	2	決算書頁	80	
総合計画	施策の柱	7-3	都市間連携による地域の活性化を進める（広域連携）					
	施策と内容	1	近隣市町と連携した広域行政を推進します					
事業の目的	県中部地域の経済成長のけん引、生活関連サービスの向上等の共通課題や大井川流域の環境保全に対して、関係市町が連携して取り組む。				対象者 (ターゲット)	近隣市町の住民		
前年度の課題に対する取組	平成29年3月に静岡県中部5市2町により「しずおか中部連携中枢都市圏」を形成し、第1期都市圏ビジョンに基づき、各市町が連携して様々な取組を行ってきた。第1期都市圏ビジョンが令和4年3月に終了したが、圏域の一体的な発展を目指すため、令和8年度までを計画期間とする第2期都市圏ビジョンに基づき、引き続き様々な取組を展開する。							
実施結果	静岡市に措置される普通交付税のうち、島田市主体事業に対する負担金を活用し、県中部地域5市2町で連携し事業を展開した。 ・大井川流域ニューツーリズム推進事業 負担金：7,088,157円 来場者数：48,207人（97日間） ・JR駅前等賑わい創出事業 負担金：9,989,452円 イベント来場者数：4,460人（2日間） ・若者就職促進事業 負担金：4,750,000円 参加企業数：706社 参加学生数：4,834人 ・共通電子申請サービス利用事業 負担金：2,019,600円							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン実施事業数	A	3事業	4事業	3事業	3事業	3事業	3事業
			2事業	4事業	4事業	/	/	/
成果指標	大井川流域ニューツーリズムイベント来場者数	C	140,000人	140,000人	79,000人	100,000人	120,000人	140,000人
			16,922人	44,670人	48,207人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		916	175		183		186	
節別内訳	旅費	66	5		13		16	
	負担金、補助及び交付金	850	170		170		170	
	その他							
	その他							
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
一般財源		916	175		183		186	
課題	大井川流域ニューツーリズム推進事業において、令和4年9月23日発生 of 台風15号により大井川流域に甚大な被害発生したことから、開催イベントの1つであるSLフェスタを中止したため、目標値に満たなかった。							
改善点	大井川鐵道の一部が復旧し、また富士山静岡空港の国際線が再開するなど、インバウンドが回復に向かっていることから、さらなる誘客につなげるため大井川流域ニューツーリズムイベントの実施方法を検討する。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	島田市公式ホームページ管理運営経費					区分	継続	
所属	市長戦略部 広報課					会計	一般	
決算額（円）	1,382,000円	款項目	2	1	3	決算書頁	80	
総合計画	施策の柱	5-2	島田を知り、好きになってもらう（情報発信・シティプロモーション）					
	施策と内容	1	効果的に情報を発信し、島田をもっと知ってもらいます					
事業の目的	行政情報を広く迅速に分かりやすく伝えられるサイトを用意することで、市民サービスの向上や各分野の振興等に資する。また、全国に向けて地域の魅力等を発信することにより、市のPRと誘客等を図る。				対象者 (ターゲット)	全市民、島田市に興味のある人		
前年度の課題に対する取組	情報を届けたいターゲットを明確にするとともに、随時サイトの分析や改善を行い、ユーザーが求める情報に効率的にアクセスできるサイトの構築に努める。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ、台風15号、マイナポイント等、市民の関心が高いと思われる情報は別枠でまとめ、視認性を高めて利便性の向上に努めた。 【告知後の実績】 　　コロナ：393,800PV、台風15号：36,500PV、マイナポイント：282,600PV ・下半期は、感染者数やワクチン接種などコロナ関連情報への関心が薄れた結果、PV数減少に影響が出たと推察される。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	ホームページ年間更新件数	A	-	-	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件
			-	692件	1,028件	/	/	/
成果指標	ホームページ年間総ページビュー数	B	-	-	7,000,000PV	6,000,000PV	6,000,000PV	6,000,000PV
			-	7,112,593PV	6,224,767PV	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	1,066		1,382		1,376	
節別内訳	役員費	-					17	
	使用料及び賃借料	-	1,066		1,382		1,359	
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	1,066		1,382		1,376	
課題	突発的な事象が発生すると、サーバー容量がひっ迫する可能性がある。							
改善点	不要なページの削除や重いデータの格納回避など、各所属での適切なホームページ運用を更に周知する。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	島田市公式LINE管理運営経費					区分	継続	
所属	市長戦略部 広報課					会計	一般	
決算額（円）	1,320,000円	款項目	2	1	3	決算書頁	80	
総合計画	施策の柱	5-2	島田を知り、好きになってもらう（情報発信・シティプロモーション）					
	施策と内容	1	効果的に情報を発信し、島田をもっと知ってもらいます					
事業の目的	プッシュ型通知のSNS「LINE」を活用し、市民サービスの向上と地域の安全安心の強化を図る。特に、セグメント配信機能により、個々のニーズに合わせたカテゴリーの地域情報を、リアルタイムに広報する。				対象者 <small>（ターゲット）</small>	未登録者を含む全市民、市外の友だち登録者		
前年度の課題に対する取組	配信過多により、ユーザーによる受信ブロックを招かぬよう、発信する情報の内容・必要性・タイミング等を精査し、登録者数の維持を図る。							
実施結果	・10月からカラーセル（横スクロール）表示を採用し、イベント情報の配信件数を週2件から9件に増やすことができた。 【イベント情報配信数】R3年度：122件→R4年度：154件 ・LINEリッチメニュー（トップメニュー）を弾力的に運用し、ユーザーが求める情報カテゴリーに直接アクセスできる環境を整えた。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	リッチメッセージでの配信件数（R3年度は試行）	B	-	-	30件	35件	40件	45件
			-	3件	26件	/	/	/
成果指標	LINE公式アカウント配信有効友だち数（年度末の実績・R2年度は開設した8月）	A	-	-	85,000人	85,000人	85,000人	85,000人
			57,438人	85,387人	85,156人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	1,320		1,320		1,518	
節別内訳	使用料及び賃借料	-	1,320		1,320		1,518	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	1,320		1,320		1,518	
課題	ともだち登録者の約22%が、配信をブロックしている（24,076人）。							
改善点	ユーザーが関心の薄い着信で煩わしさを感じないように、セグメント配信の利便性を周知し受信設定を促すとともに、画像をメインにした「リッチメッセージ」を活用し、読ませる配信ではなく見せる配信に努める。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	広報発行経費					区分	継続	
所属	市長戦略部 広報課					会計	一般	
決算額（円）	11,909,480円	款項目	2	1	3	決算書頁	80	
総合計画	施策の柱	5-2	島田を知り、好きになってもらう（情報発信・シティプロモーション）					
	施策と内容	1	効果的に情報を発信し、島田をもっと知ってもらいます					
事業の目的	行政と市民の間の信頼関係を深め、市民に親しまれ読まれる紙面づくりを目指していく。単なるお知らせ広報に留まらず、特集記事を随時掲載することで、シビックプライドの醸成、市民参画・住民自治への関心を促す。				対象者 (ターゲット)	全市民		
前年度の課題に対する取組	手に取って読みたくなるような表紙をはじめ、世代を問わず読みやすい文章・見やすい構成を意識した紙面づくりに努める。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・発行日：原則毎月15日。12回発行（ページ数：24～36ページ） ・発行部数：毎号35,500部（使送による各戸配布） ・市公式LINEによる電子媒体の配信：計12回 ・目標値を上回る特集ページの掲載：紙面に登場した市民と読者がつながり、新たなイベントが開催されたり、地域話題となったりと、地域交流のきっかけを生むことができた。 ・令和4年度静岡県広報コンクール（県広報協会主催） 市の部：優秀賞、1枚写真の部：奨励賞、組み写真の部：奨励賞 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	特集ページ掲載件数（特出しお知らせ、独自特集等）	A	-	-	35件	35件	35件	35件
			32件	42件	44件	/	/	/
成果指標	情報発信力があると思う市民の割合（市民意識調査結果：特にそう思う＋そう思う）	B	-	-	19%	20%	21%	22%
			7.8%	18%	15.7%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	10,101		11,909		14,551	
節別内訳	需用費	-	9,969		11,777		14,419	
	使用料及び賃借料	-	132		132		132	
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	10,101		11,909		14,551	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・使送による各戸配布が自治会・町内会の大きな負担となっていて、紙媒体広報を各世帯に直接届けことが可能か継続して検討する。 ・原燃料価格の高騰により、印刷単価が毎年上昇し続けている。 							
改善点	定期的なお知らせ記事・コーナー記事等を見直し、ページ数の削減を図った。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	行政番組放送事業					区分	継続	
所属	市長戦略部 広報課					会計	一般	
決算額（円）	15,000,000円	款項目	2	1	3	決算書頁	80	
総合計画	施策の柱	5-2	島田を知り、好きになってもらう（情報発信・シティプロモーション）					
	施策と内容	1	効果的に情報を発信し、島田をもっと知ってもらいます					
事業の目的	ラジオ放送を通じて、市内全域に行政情報を発信し、住民福祉の増進と地域の活性化を図るとともに、災害等非常時の放送により市民の安心安全に寄与する。				対象者 (ターゲット)	全市民		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・行政番組の企画に際し、広報委員アンケートの結果を反映させ、より市民の関心を集められる行政番組の企画・放送に努める。 ・サイマル放送の聴取率を向上させるため、広報紙やホームページ等を用いて周知する。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・行政番組9番組の放送を実施した。 ・サイマル放送とFM島田周知のため、広報しまだ8月号に特出し記事（1ページ）を掲載した。 ・広報しまだのコーナー記事「高校生ラジオ」「緑茶化のススメ」と連動し、年間を通じて、FM島田のロゴマークとサイマル放送へのリンクを掲載した。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	FM島田番組「島田インフォメーション」での情報紹介件数	B	-	-	2,000件	1,800件	1,800件	1,800件
			2,000件	2,000件	1,799件	/	/	/
成果指標	FM島田を聴いている人の割合（市民意識調査回答から）	A	-	-	11%	11%	11%	12%
			-	11.1%	11.9%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	17,312		15,000		15,000	
節別内訳	役員費	-	14,600		15,000		15,000	
	負担金、補助及び交付金	-	2,712					
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	17,312		15,000		15,000	
課題	聴取者の年代が高年齢に偏っている。							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・現在聴いていない年齢層へのFM島田の周知を行う。 ・興味・関心を持たれる番組づくりを引き続き行う。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	シティプロモーション推進事業					区分	継続	
所属	市長戦略部 広報課					会計	一般	
決算額（円）	19,640,022円	款項目	2	1	3	決算書頁	80	
総合計画	施策の柱	5-2	島田を知り、好きになってもらう（情報発信・シティプロモーション）					
	施策と内容	1	効果的に情報を発信し、島田をもっと知ってもらいます					
事業の目的	「地球上でもっとも緑茶を愛する街」として、島田市が市内外から愛され、魅力ある都市として選ばれる街となり、関与してくれる人を増やす。				対象者 (ターゲット)	全市民、島田市に興味を持つ人		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト面でもハード面でも、市外向けの情報発信は一定の成果を得ていると考える。 ・「897.4茶屋」や「KADODE 00IGAWA」などの情報発信拠点を有効活用し、市内向けの取組にも注力する。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・東京駅グランスタ「スクエア・ゼロ」で、島田の緑茶縁日を開催した。 開催日：7月8日～14日 購入者数：3,117人 売り上げ：4,004,104円 来場者アンケート（サンプル数=322人） 「緑茶縁日に来て、島田市に行ってみようと思ったか」：はい86% ・六合中学校の1年生に対し、島田市緑茶化計画ホームページ作成講座、3年生に島田市緑茶化計画CM動画作成講座を実施した。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	島田市緑茶化計画専用サイト年間総ページビュー件数	A	-	-	50,000件	50,000件	50,000件	50,000件
			62,182件	56,082件	61,863件	/	/	/
成果指標	島田市緑茶化計画を知っている市民の割合（市民意識調査結果：名前も内容も知っている十名称だけは知っている）※は参考値	A	-	-	84%	85%	86%	87%
			※75%	84.3%	84.1%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	7,791		19,640		9,706	
節別内訳	旅費	-	81		700		208	
	需用費	-	1,439		362		998	
	役務費	-			62			
	委託料	-	6,271		18,516		8,500	
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-			7,300			
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-	4,500		3,200		3,000	
	一般財源	-	3,291		9,140		6,706	
課題	市内、中でも若年層の関与が比較的少ない。							
改善点	継続的に中学校などとの連携を図り、若年層をターゲットとした認知度の向上と地元愛の醸成にも取り組む。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	移住ポータルサイト管理運営経費					区分	継続	
所属	地域生活部 市民協働課					会計	一般	
決算額（円）	2,684,000円	款項目	2	1	4	決算書頁	82	
総合計画	施策の柱	5-3	誰もが暮らしたい、関わりたい、魅力ある地域をつくる（移住・関係人口）					
	施策と内容	1	移住支援を推進します					
事業の目的	移住者数の増加により、人口動態の社会増の流れを確かなものとする。				対象者 (ターゲット)	移住希望者（移住検討層）		
前年度の課題に対する取組	移住候補地としての認知度が低いことが課題であることから、ポータルサイトの運営や広告配信など、web上での情報発信をすることで島田市の認知度向上に努める。							
実施結果	ポータルサイトの運営や広告配信など、web上での情報発信をすることで島田市の認知度向上を図ることができた。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	広告配信件数	A	-	20,000件	55,000件	55,000件	-	-
			-	12,940,707件	13,858,014件	/	/	/
成果指標	移住ポータルサイトの閲覧時間（1日平均）	A	77分	80分	83分	86分	90分	-
			149分	135分	167分	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	2,695		2,684		500	
節別内訳	委託料	-	2,695		2,684		500	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	2,695		2,684		500	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住候補地としての島田市の認知度が低いことが課題である。 ・ 移住を検討するための材料（就業先、移住先など）の不足が課題である。 							
改善点	ポータルサイトの運営や広告配信など、web上での情報発信をすることで島田市の認知度向上に努める。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	国際友好事業補助金					区分	継続	
所属	観光文化部 文化振興課					会計	一般	
決算額（円）	7,856,000円	款項目	2	1	4	決算書頁	82	
総合計画	施策の柱	7-3	都市間連携による地域の活性化を進める（広域連携）					
	施策と内容	2	国内外の交流都市との交流・連携を推進します					
事業の目的	国際交流及び都市提携を通じ、市民の文化、教育、経済等の向上を図るため、国際友好事業を行う団体に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。				対象者 (ターゲット)	市民(市内在住外国人含む)		
前年度の課題に対する取組	令和3年度から国際交流協会の事務局が市から独立したが、今後の事務局職員の人材育成や自主財源の確保など、事務局体制の整備のため、引き続き自立に向けた支援をする必要がある。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行者の受け入れが再開し、島田大祭海外訪問団や韓国東豆川市マラソン訪問団の受入事業、リッチモンド市への学生親善使節派遣事業など、コロナ禍で中断されていた国際交流協会の事業が再開され、活発な市民交流活動が行われた。 ・ウクライナの被災者に対し、市と共同で募金活動を行い、1,111,194円を募金した。国際交流協会は、「KADODE OOIGAWA」での募金活動やバッチ作成などを行った。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	島田市国際交流協会の実施事業数	A	45事業	52事業	40事業	45事業	50事業	55事業
			40事業	35事業	46事業	/	/	/
成果指標	市民意識調査「国際交流や都市交流の推進」における満足度	B	-	22.5%	22.8%	23.1%	23.4%	23.7%
			25.4%	20.2%	20.4%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	6,545		7,856		11,491	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	-	6,545		7,856		11,491	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	6,545		7,856		11,491	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・秋以降にコロナによる行動制限が緩和され、令和3年度より事業数が増加したものの、会員数はわずかであるが減少している。 ・外国人住民の数は増えているが、外国人会員数は少ない。 							
改善点	会員割引などの特典PRなど、会員の加入促進に向けた勧誘活動を支援するとともに、今後、多文化交流事業も強化していくよう働きかけを行っていく。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	ふるさと寄附金推進事業					区分	継続	
所属	地域生活部 市民協働課					会計	一般	
決算額（円）	166,631,928円		款項目	2	1	4	決算書頁 82	
総合計画	施策の柱	5-3	誰もが暮らしたい、関わりたい、魅力ある地域をつくる（移住・関係人口）					
	施策と内容	2	島田を応援してくれる人を増やします					
事業の目的	ふるさと寄附金の寄附者に対して、感謝の意を表すとともに、島田市の特産品等を送付することにより、島田市のシティブロモーションと地場産業の振興を図る。				対象者 (ターゲット)	ふるさと納税制度利用者		
前年度の課題に対する取組	昨年度から引き続き、寄附金額・寄附件数共に増加している一方で、寄附単価が低下している傾向にあるため、寄附単価の高い返礼品の掘り起こしや、アフターコロナを見据えたアクティビティ等の体験型返礼品の新規開拓を進めていく。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型返礼品として「Glamping&Port結」の宿泊券や、高額返礼品として組み立て式家具のオーダーチケットやゴルフ練習用ネット等を新たな返礼品として登録した。 ・物価高騰の影響を受け日用品に寄附が集中したため、寄附単価上昇には至らなかったが、前年度と比較し、寄附件数は6,756件増加となり、目標値を大幅に超える結果となった。 ・今後も引き続き、返礼品協力事業者を増やすと共に、新規返礼品の開拓を進めていく。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	返礼品協力事業者件数	A	-	-	95件	100件	105件	110件
			65件	85件	102件	/	/	/
成果指標	ふるさと納税寄附件数	A	-	-	13,000件	13,250件	13,500件	14,000件
			8,531件	12,432件	19,188件	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	110,122		166,632		132,133	
節別内訳	需用費	-	78,391		119,550		87,776	
	役務費	-	6,100		7,585		8,309	
	委託料	-	25,561		39,429		35,750	
	使用料及び賃借料	-	70		68		198	
	その他	-					100	
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	110,122		166,632		132,133	
課題	昨年度同様、寄附単価が低下している傾向にあるため、引き続き寄附単価の高い返礼品の掘り起こしや、アクティビティ等の体験型返礼品の新規開拓を進めていく。							
改善点	返礼品協力事業者件数、ふるさと納税寄附件数共に目標値を上回ることができた。さらなる寄附件数増につながるよう、返礼品協力事業者を増やし、返礼品のラインナップの充実を図る。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	多文化共生事業					区分	継続	
所属	観光文化部 文化振興課					会計	一般	
決算額（円）	529,710円	款項目	2	1	5	決算書頁	82	
総合計画	施策の柱	4-4	住みよい生活環境をつくる（住宅・防犯・公共交通・交通安全・消費生活・人権・男女共同参画・多文化共生）					
	施策と内容	8	国籍や文化にとらわれず、多様な価値を認め合い共に暮らします					
事業の目的	国籍や文化的な違いにとらわれず、共に認め合い、共に安心して快適に暮らし、地域の一員として能力を発揮できるようなまちをつくる。				対象者 (ターゲット)	市内在住外国人		
前年度の課題に対する取組	国際交流協会と連携して、にほんご教室の開催や、庁内窓口での外国人住民の翻訳・通訳サービスを提供してきたが、外国人住民数が増加傾向にある中で、今後多文化共生事業の拡充が求められている。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流協会と連携して、「ウクライナにおける人道的支援の募金活動」、「外国人のためのにほんご教室」、「多文化共生社会を考える懇談会」、「外国人のための日本料理教室」などを実施し、外国人住民と市民との多文化共生に取り組んだ。 ・にほんご教室を週2回実施したが、受講者数が少ないため改善が必要である。 ・外国人にも分かるように配慮した「やさしい日本語」研修を受講し、「やさしい日本語」通信を発行することで、庁内における普及、啓発に努めた。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	島田市国際交流協会が実施する多文化共生事業数	A	-	3事業	5事業	5事業	5事業	5事業
成果指標	在住外国人との交流・共生における重要度	A	-	47.9%	48.9%	49.8%	50.8%	51.7%
			47.0%	51.1%	49.0%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	13		530		847	
節別内訳	旅費	-			23		6	
	役務費	-	3		487		831	
	負担金、補助及び交付金	-	10		20		10	
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
一般財源		-	13		530		847	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に比べ、「やさしい日本語」通信の発行が少なく、職員への「やさしい日本語」普及啓発が足りなかった。 ・多文化共生を考える外国人住民との懇談会で出た意見に対して、市として課題解決に努めるまでの段階に至っていない。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・「やさしい日本語」の職員などへの啓発の機会を増やすとともに、増加する在住外国人に向けた市民との交流の場の提供、コミュニティづくりのための方法を研究する。 ・外国人転入手続きの際、「にほんご教室」のチラシを配布するなど周知を強化し、受講者数を増やす。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	消費者保護事業					区分	継続	
所属	地域生活部 生活安心課					会計	一般	
決算額（円）	705,446円		款項目	2	1	6	決算書頁 82	
総合計画	施策の柱	4-4	住みよい生活環境をつくる（住宅・防犯・公共交通・交通安全・消費生活・人権・男女共同参画・多文化共生）					
	施策と内容	6	消費生活対策を推進します					
事業の目的	「島田市消費者教育推進計画」（令和3年度～令和7年度）に基づき、自ら学び、自ら考え行動する消費者の育成を目指し、消費生活の安定と向上を図る。				対象者 (ターゲット)	中高生、高齢者		
前年度の課題に対する取組	悪質商法等による消費者トラブルの被害を防ぐため、消費者の年齢階層ごとの特性に配慮した消費出前講座を開催する。							
実施結果	<p>【令和4年度 消費出前講座実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生 受講者数：562人（島田第一中学校、島田高等学校、島田工業高等学校） ・高齢者 受講者数：65人（井口ふれあいクラブ、大津高齢者学級、みんなの居場所・株木） ・その他 受講者数：55人（島田市立看護専門学校、駿遠学園） 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	消費出前講座の受講者数	A	550人	550人	600人	650人	700人	750人
			601人	503人	682人	/	/	/
成果指標	消費生活相談の受付件数	B	500人	480人	470人	470人	460人	450人
			493人	474人	505人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	554		705		1,743	
節別内訳	旅費	-	79		157		195	
	需用費	-	81		72		105	
	役務費	-	73		71		77	
	負担金、補助及び交付金	-	198		312		190	
	その他	-	123		93		1,176	
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-	83		82		104	
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	471		623		1,639	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・消費出前講座の受講者数は目標値を上回ったが、消費生活相談の受付件数は減少しなかった。 ・幅広い年代でSNSを利用する消費者が増えたことにより、ネット通販や悪質サイトに関するトラブルの相談が多くなっている。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・巧妙かつ複雑に変化している消費者被害に対応し、講座の内容についても検討していく。 ・講座を受講する団体が固定化されているため、他団体にも広く周知を図らなければならない。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	通学路防犯カメラ設置費補助金					区分	新規	
所属	地域生活部 生活安心課					会計	一般	
決算額（円）	678,000円	款項目	2	1	6	決算書頁	84	
総合計画	施策の柱	4-4	住みよい生活環境をつくる（住宅・防犯・公共交通・交通安全・消費生活・人権・男女共同参画・多文化共生）					
	施策と内容	5	交通安全対策を推進し、地域の安全を高めます					
事業の目的	通学路に防犯カメラを設置する自治会又は町内会に対し、設置費の一部を補助し、登下校中の子どもを狙った犯罪の防止を図る。				対象者 (ターゲット)	登下校中の子ども		
前年度の課題に対する取組	自治会や小学校からの通学路への防犯カメラの設置要望を受けて、県の補助金を活用した補助制度を設け、自治会又は町内会の見守り活動を支援することとした。							
実施結果	<p>【令和4年度 通学路防犯カメラ設置の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラ設置台数 5台 自治会：牛尾区自治会1台、横井町自治会2台 町内会：大川町町内会2台 ・案内看板設置数 7枚 自治会：牛尾区自治会5枚 町内会：大川町町内会2枚 <p>【令和4年 犯罪発生件数（刑法犯認知件数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年1月～12月件数 251件 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	防犯カメラ設置台数	C	-	-	10台	5台	5台	5台
			-	-	5台	/	/	/
成果指標	犯罪発生件数 (刑法犯認知件数)	C	200件	200件	200件	200件	200件	200件
			295件	245件	251件	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		3,378			678		900	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	3,378			678		900	
	その他							
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	1,689			339		450	
	地方債							
	その他							
	一般財源	1,689			339		450	
課題	カメラ設置台数は5台で、目標台数10台を達成することができなかった。カメラの設置により防犯効果を高めるメリットがある反面、個人情報・プライバシーの侵害等の問題から、自治会等も設置に慎重になっていると思われる。							
改善点	自治推進委員連絡会議の場やホームページへの掲載等により、防犯カメラの効果も含めた案内を行っている。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	集中管理車両リース事業					区分	継続	
所属	行政経営部 資産活用課					会計	一般	
決算額（円）	5,597,702円	款項目	2	1	7	決算書頁	84	
総合計画	施策の柱	7-4	公共施設を賢く持って、賢く使う（公共施設の保全・再編・利活用）					
	施策と内容	2	公共施設を効率的に整備・運営します					
事業の目的	集中管理車両の計画的な新車リース化により、車検等の事務手続きの効率化、車両の一括整備管理による安全確保、さらに維持管理経費の削減を図る。				対象者 (ターゲット)	職員		
前年度の課題に対する取組	低炭素社会、資源循環型社会への取組として、環境負荷低減のための低燃費、低排気量の車両への更新を推進するとともに、職員に対して公用車の交通事故を未然に防ぐため、注意等を掲載した安全運転通信を庁内に周知し、事故削減と修繕費等の削減に努める。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり10台を新車リースに更新した。 ・次年度における新車リース更新について、環境負荷低減のための低燃費、低排気量の車両を仕様に加え、債務負担により入札を執行し業者を選定し契約した。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	新車リース車両台数	A	-	5台	10台	16台	-	-
			-	5台	10台	/	/	/
成果指標	集中管理車両（公用バス・大型トイレカー含む）維持管理経費	C	-	1,710千円	1,500千円	1,425千円	1,354千円	1,286千円
			1,710千円	1,372千円	2,200千円	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		34,034	5,145		5,598		7,655	
節別内訳	使用料及び賃借料	34,034	5,145		5,598		7,655	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	34,034	5,145		5,598		7,655	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事故等の修繕対応による維持管理経費の増加や車両修繕期間中の使用台数減や空予約等の課題がある。 ・効率よく公用車を活用する取組が必要である。 							
改善点	車両の一括整備管理により常に車両の安全確保が図られる一方で、公用車の事故防止が維持管理経費の削減につながるため、注意等を掲載した安全運転通信により周知して交通事故を未然に防ぐ。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	文書管理システム導入事業					区分	新規	
所属	行政経営部 行政総務課					会計	一般	
決算額（円）	0円		款項目	2	1	8	決算書頁	
総合計画	施策の柱	7-2	安定的・継続的な市民目線の行財政運営を進める（行財政改革・人材育成・情報公開）					
	施策と内容	1	行財政改革を進めます					
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政事務の迅速化による市民サービスの向上 ・ ペーパーレス化による紙資源の節約、文書管理に係る場所や労力の節減 ・ テレワーク等に取り組みやすい環境を整え、新しい生活様式にも対応した働き方改革の推進 				対象者 (ターゲット)	全庁LANシステムを使用する職員		
前年度の課題に対する取組	(新規事業)							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務伝票も含めた庁内の事務手続全般のペーパーレス化（迅速化、効率化）を念頭に、現行の財務会計システムと機能連携が可能な文書管理システム「公開羅針盤V4」の導入を決定した。 ・ 9月補正で債務負担行為を設定し、12月にジャパンシステム㈱と「文書管理システム導入業務委託契約」を締結した。 ・ 庁内に設置した文書管理システム導入検討委員会を11回開催し、システムの導入方針、事務手続や文書管理ルールの見直し等を協議した。協議結果を行政経営会議に諮り、電子決裁や文書管理ルールの見直しについて方針決定を行った。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	電子決裁の導入率	/	-	-	-	-	70%	75%
			-	-	-	/	/	/
成果指標	プリンタからの印刷枚数 (年間推計)	/	-	-	-	5,000,000枚	4,500,000枚	4,000,000枚
			-	-	-	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		24,572					24,572	
節別内訳	委託料	24,572					24,572	
	その他							
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	18,410					18,410	
	一般財源	6,162					6,162	
課題	紙決裁から電子決裁への移行に当たり、文書管理ルール全般の見直し、事務処理方法の変更等、影響は庁内全般に及ぶ。システム導入に際し、事務の大きな混乱、遅滞等が発生しないよう移行準備を進める必要がある。							
改善点	委託業者が作成する操作マニュアルだけでなく実務を意識した職員目線での運用マニュアルの作成や、対面とオンラインを織り交ぜて研修を実施するなどして、新システムの運用、新たな文書管理ルール等の周知に努める。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	子育て支援プラットフォーム等構築事業					区分	継続	
所属	市長戦略部 デジタルトランスフォーメーション推進課					会計	一般	
決算額（円）	19,646,000円	款項目	2	1	9	決算書頁	86	
総合計画	施策の柱	2-1	子どもを生み育てやすい環境をつくる（子育て）					
	施策と内容	3	切れ目ない支援で、親子の心と身体を守ります					
事業の目的	保護者と行政の「接点」となる部分にデジタル技術を活用することで、保護者の行政サービスに対する利便性を向上させ、子どもについての業務に必要な情報を部署間で共有し、横断的に保護者へ寄り添った対応ができるようするためのプラットフォームを構築する。				対象者 (ターゲット)	子育て世代 (妊娠期～18歳までの子を持つ保護者と家族)		
前年度の課題に対する取組	保護者の利便性向上を図るためには、保護者と複数の部署とが持つそれぞれの「接点」をプラットフォームに集約させる必要があることから、新たに子育て応援課・保育支援課のサービスを追加し、利用できる手続きの範囲を拡大する。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・11月の一次公開で子育て応援課・保育支援課の以下のサービスを追加した。 放課後児童クラブからのお知らせ（承諾・不承諾通知時期の案内）、育児サポーター派遣事業案内、保育所等入園一斉申込のお知らせ、育児サポーター派遣事業利用申請、ひとりじゃないでね応援講座参加申込、マイ支援センター登録申請、児童館・児童センターの行事等への参加申込、子育てコンシェルジュ相談受付、家庭児童相談、女性相談（DV含む）の予約、ことばの相談の予約、発達相談の予約、保育園・幼稚園への入園に関するオンライン相談 ・3月の二次公開で、各家庭ごとに以下の通知を「しまいく+」で受け取れる機能を追加した。 児童手当に関するお知らせ（支払通知・認定通知・消滅通知・額改定通知）、児童扶養手当に関するお知らせ（支払通知）、こども医療費に関するお知らせ（助成金支給）、ひとり親家庭等医療費に関するお知らせ（助成金支給） 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	プラットフォーム利用登録者数	A	-	95人	600人	4,900人	5,360人	5,820人
			-	95人	1,327人	/	/	/
成果指標	利用者アンケートにおける「プラットフォームで利用可能な行政手続きが利用しやすい」の回答割合	A	-	-	60%	70%	80%	80%
			-	-	60.75%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	14,491		19,646		34,587	
節別内訳	委託料	-	14,491		19,646		34,587	
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-	11,230				23,058	
	県支出金	-			4,980			
	地方債	-						
	その他	-			14,666			
	一般財源	-	3,261				11,529	
課題	保護者アンケートの結果、利用できるメニューが少ないため、「しまいく+」を利用していないという回答が見られたことから、更なる利用手続きの範囲拡大が必要。また、利用方法が難しいという意見も見られた。							
改善点	今後は教育分野に拡大し、小中学生の子を持つ保護者が使えるサービスを追加するとともに、利用方法についてもわかりやすい設定方法の周知を図っていく。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	デジタル活用推進事業					区分	継続	
所属	市長戦略部 デジタルトランスフォーメーション推進課					会計	一般	
決算額（円）	5,874,088円		款項目	2	1	9	決算書頁 86	
総合計画	施策の柱	7-2	安定的・継続的な市民目線の行財政運営を進める（行財政改革・人材育成・情報公開）					
	施策と内容	1	行財政改革を進めます					
事業の目的	市民や事業者、自治会等におけるデジタルリテラシーの向上				対象者 (ターゲット)	①自治会②事業者③デジタル機器を所持していないまたは活用できていない市民④スマートフォンの使用方法などを聞かれる人・団体		
前年度の課題に対する取組	島田市DX推進計画に掲げる「誰もがデジタル技術を活用し、安心して快適に暮らせる新しい社会」を実現するためには、市民や事業者のデジタルリテラシーの向上が必須であり、現状では不十分であることから、引き続き、スマホ講座や研修会等の実施に努める。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度講座参加者数 デジタル活用支援員スマホ講座：1029名 支援員派遣型スマホ講座：28名 事業者によるスマホ講座：270名 計1327名 ・ 受講者アンケートにおける今後の活用意向が「普通」以上：99% ・ デジタル活用支援員養成講座：7名 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	講座参加者数（累計）	B	-	1,317人	2,701人	4,085人	5,469人	6,853人
			-	1,317人	2,644人	/	/	/
成果指標	受講者アンケートにおける今後の活用意向が「普通」以上の割合	B	-	98%	100%	100%	100%	100%
			-	98%	99%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	7,029		5,874		3,802	
節別内訳	需用費	-					154	
	委託料	-	7,015		5,874		3,630	
	使用料及び賃借料	-	14				18	
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-					1,713	
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-	5,709		5,334			
	一般財源	-	1,320		540		2,089	
課題	スマホ講座の実施回数も限られていることから、もっと身近な場所でスマートフォンの使い方など気軽に聞ける場所や体制を整える必要がある。							
改善点	高齢者等が集まる施設や高齢者に関わることのある施設の窓口担当者等に対して、スマートフォンの利用に関する質問や相談に対応できるようスマホサポーター養成講座を行い、高齢者等が気軽に相談できる場所及び体制を拡充していく。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	デジタルマーケティング施策推進事業					区分	継続	
所属	市長戦略部 デジタルトランスフォーメーション推進課					会計	一般	
決算額（円）	34,176,426円		款項目	2	1	9	決算書頁 86	
総合計画	施策の柱	7-2	安定的・継続的な市民目線の行財政運営を進める（行財政改革・人材育成・情報公開）					
	施策と内容	1	行財政改革を進めます					
事業の目的	市民や事業者のデジタルシフトに伴い、市の施策においても、生活者のニーズに合わせ、デジタルシフトを進める必要があることから、「マーケティング的思考」を取り入れたPDCAサイクルに対応するための職員の意識改革と業務改善を図る。				対象者 (ターゲット)	全職員		
前年度の課題に対する取組	一部の施策でのデジタルマーケティング導入に留まっていることから、他の施策への導入拡大と職員の意識改革及び業務改善に努める。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・DM導入事業 観光施策、ふるさと寄附金、移住施策、子育て支援、茶業振興、文化施策、プロモーション、認知度調査、ウェブサイト機能強化 ・職員研修 マーケティングマニュアルのeラーニング研修版資料作成 eラーニング研修の実施「島田市職員のためのマーケティング研修」（616人受講） ウェブサイト研修の実施（56人受講） Googleアナリティクス研修（49人受講） 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	デジタルマーケティング導入した総合計画における政策分野別の柱の数	B	-	9	11	12	13	15
			-	9	9	/	/	/
成果指標	職員研修アンケートにおける「理解できた」「概ね理解できた」の割合	B	-	-	100%	100%	100%	100%
			-	-	98%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	40,483		34,176		21,715	
節別内訳	役務費	-	1,891		2,345		825	
	委託料	-	38,592		31,831		20,890	
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-	3,424		68			
	地方債	-						
	その他	-	37,059		33,203		17,000	
一般財源		-			905		4,715	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマーケティングを全庁展開していくため、必要な基礎知識や留意事項等を掲載するマーケティングマニュアル（指針）を活用し、研修会等で周知を図ったが、知識だけでは実際に各課の業務に取り入れていくことが難しい。 ・全員受講のマーケティング研修（eラーニング）の受講率が79%と低い。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを活用したeラーニングと併せ、人事課とも連携し、ワークショップ形式の研修を行うことで、実際の業務に取り入れていくことを目指す。 ・研修については、人材育成基本方針（人事課）の改訂により階層別にDXの概念（マーケティング的思考）を身につけることが位置付けられたため、階層に応じた研修を実施していく。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	金谷地区生活交流拠点整備運営事業					区分	継続	
所属	行政経営部 資産活用課					会計	一般	
決算額（円）	21,675,000円	款項目	2	1	10	決算書頁	86	
総合計画	施策の柱	7-4	公共施設を賢く持って、賢く使う（公共施設の保全・再編・利活用）					
	施策と内容	2	公共施設を効率的に整備・運営します					
事業の目的	庁舎機能再編に伴い除却した旧金谷庁舎の跡地利活用に当たり、新たに整備する施設の運営を通して地域内の人や組織のつながり（ソーシャル・キャピタル＝SC）を醸成・向上させ、地域コミュニティの活性化につなげる。				対象者 (ターゲット)	金谷地区に居住する市民		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・公募型プロポーザルにおける事業者から提案内容を踏まえ、SC醸成・向上業務の実施に必要な準備を進める。 ・周辺既存施設の運営業務が円滑に移管されるよう準備を進める。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・SC醸成・向上業務の実施に向け、PFI事業者と地区の関係団体等との対話の場を設定し、地区内でのコミュニティ活動の現状把握を通して具体的な事業の実施内容を検討した。 ・周辺既存施設の管理者とPFI事業者との間で運営業務の移管に向けた協議を重ね、運営業務を円滑に移管した。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	PFI事業の実施率	A	1.8%	5.3%	10.6%	15.5%	21.5%	27.6%
			1.8%	5.3%	10.6%	/	/	/
成果指標	金谷地区に居住する市民のSC指数（対面での付き合い、団体活動、信頼、互酬性の規範の状況）	/	-	6.4	-	-	-	6.5
			-	6.4	-	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		2,300,725	8,500		21,675		132,831	
節別内訳	委託料	2,300,725	8,500		21,675		132,831	
	その他							
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	2,300,725	8,500		21,675		132,831	
課題	周辺既存施設の運営内容について、PFI事業期間中にわたって移管前の水準の維持が可能となるよう調整が必要である。							
改善点	運営事業全体の内容に見直しの余地がないか、モニタリング等を通して検証を続ける。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	市役所新庁舎整備事業					区分	継続	
所属	行政経営部 庁舎建設課					会計	一般	
決算額（円）	2,975,202,170円	款項目	2	1	11	決算書頁	86	
総合計画	施策の柱	7-4	公共施設を賢く持って、賢く使う（公共施設の保全・再編・利活用）					
	施策と内容	3	新庁舎の建設を推進します					
事業の目的	高い耐震性能を備え、災害発生後も安定的に業務継続が図られるよう、市民の安全・安全を支え、利用者にやさしく環境に配慮した新庁舎を整備する。				対象者 (ターゲット)	市民		
前年度の課題に対する取組	社会情勢の影響により建設資材の高騰や納期の遅延が生じているため、施工段階における品質・工程・コスト管理を適切に行い、安全かつ着実に建設工事を実施する。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年8月から着手している新庁舎建設工事については、支持地盤が想定以上に深く、追加工事に時間を要したことから引渡し期限を1か月延長し、令和5年7月末とした。 ・ 令和4年度は、工事の出来高に応じた支払いを行い、また、現庁舎から新庁舎への移転に向けて、主要な什器備品の購入及び移転業務委託の発注を行った。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	事業進捗率 (事業費ベース)	C	6.8%	8.7%	61.7%	88.3%	100%	-
			6.8%	8.7%	44.5%	/	/	/
成果指標	耐震性能及び環境性能の向上	/	-	-	-	-	100%	-
			-	-	-	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		8,298,458	161,377		2,975,202		3,637,733	
節別内訳	役務費	9,002	1,685		825		4,038	
	委託料	754,764	92,297		86,978		153,930	
	使用料及び賃借料	14,775	4,413		4,574		4,607	
	工事請負費	7,061,538	62,930		2,882,616		3,024,331	
	その他	458,379	52		209		450,827	
財源内訳	国庫支出金	215,777	2,013		81,976		131,338	
	県支出金							
	地方債	6,150,200	93,200		2,676,700		2,589,900	
	その他	1,572,010	39,500		205,680		788,430	
	一般財源	360,471	26,664		10,846		128,065	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会情勢により鉄筋をはじめとする建設資材が高騰しているが、建設コスト抑制や施工時期に間に合うように発注する必要がある。 ・ 工事の進捗に遅れが生じているため、工程の管理を適正に行っていくことと、公共建築物としての品質を確保していく必要がある。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕様の見直し等によるコストの縮減と資材を早い時期に発注することにより、納期の確保を図る。 ・ 工事の施工段階に応じて、適正な時期に立会検査などを実施し、工程の管理と品質の確保を図る。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	証明書のコンビニ交付事業					区分	継続	
所属	地域生活部 市民課					会計	一般	
決算額（円）	10,981,510円		款項目	2	3	1	決算書頁 94	
総合計画	施策の柱	7-2	安定的・継続的な市民目線の行財政運営を進める（行財政改革・人材育成・情報公開）					
	施策と内容	5	デジタルの恩恵をすべての市民に届けます					
事業の目的	証明書のコンビニ交付率増により、市民課、各支所、行政サービスセンターの窓口業務の効率化及び簡素化を図る。				対象者 (ターゲット)	全市民		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ交付率増のため、令和3年度に作成した操作説明動画や市内各コンビニ店舗向けに作成した操作説明資料を活用し周知を図る。 ・引き続き、窓口来訪者に対して周知を図る。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・操作説明資料を市内コンビニ全店舗に配布し、操作説明に加え動画の存在の周知を図った。 ・令和5年1月には各証明書の手数料を1通あたり100円減額し、交付率の向上を図った。 ・島田市わくわくマイナポイントの実施により、カードの交付率も大きく伸びたことで、目標値を大きく上回る実績となった。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	コンビニでの証明書交付率	A	6%	9%	12%	15%	18%	21%
			4.54%	9.50%	16.3%	/	/	/
成果指標	①土曜開庁日 ②平日時間外延長曜日	A	①毎週 ②月水金	①毎週 ②月水金	①毎週 ②月水金	①月2回 ②水	①月1回 ②水	①なし ②水
			①毎週 ②月水金	①毎週 ②月水金	①毎週 ②月水金	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	10,751		10,982		10,963	
節別内訳	役務費	-	802		1,588		1,569	
	委託料	-	550					
	使用料及び賃借料	-	6,666		6,666		6,666	
	負担金、補助及び交付金	-	2,728		2,728		2,728	
	その他	-	5					
財源内訳	国庫支出金	-			630			
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	10,751		10,352		10,963	
課題	コンビニ交付が浸透することにより土曜・時間外延長の廃止を予定しているが、苦情等に繋がらないように早期かつ十分な周知を図る。							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	マイナンバーカード交付事業					区分	継続	
所属	地域生活部 市民課					会計	一般	
決算額（円）	8,719,098円		款項目	2	3	1	決算書頁 94	
総合計画	施策の柱	7-2	安定的・継続的な市民目線の行財政運営を進める（行財政改革・人材育成・情報公開）					
	施策と内容	5	デジタルの恩恵をすべての市民に届けます					
事業の目的	マイナンバーカードの交付により、安全・安心で利便性の高いデジタル社会の基盤を構築する。				対象者 (ターゲット)	マイナンバーカード未交付の市民（約5割）		
前年度の課題に対する取組	マイナンバーカード取得促進のため、マイナンバーカード受付・相談窓口の開設、オンライン申請補助端末機による申請受付、職員が地域に出向いての申請サポート、初倉・六合行政サービスセンターでの申請受付等を実施する。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年10月から島田市わくわくマイナポイント事業を開始したことに伴い、マイナンバーの交付体制を拡充し、これまでの第2・4土曜日から毎週土曜日に増やし、令和4年11月からは、平日も20時までに延長し、令和4年12月から令和5年2月までは、毎週土日祝日に対応を行った。 ・ 保育園、自治会、企業、団体へ出張し、マイナンバーカードの交付申請を受け付けた。 ・ 上記の取組により、昨年度比33ポイント増の75.6%の交付率を達成した。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	マイナンバーカード交付率 (年度末時点)	B	37.5%	60.7%	90%	100%	100%	100%
			28.1%	42.6%	75.6%	/	/	/
成果指標	対象となる証明書に関するコンビニでの交付率	A	6%	9%	12%	15%	18%	21%
			4.54%	9.5%	16.34%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	35,231		8,719		10,065	
節別内訳	需用費	-	320		297		441	
	役務費	-	1,872		5,936		6,871	
	使用料及び賃借料	-	1,328		2,486		2,401	
	負担金、補助及び交付金	-	31,711					
	その他	-					352	
財源内訳	国庫支出金	-	35,231		8,660		9,713	
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	0		59		352	
課題	マイナンバーカードの100%交付率を求めているが、所有が任意である以上、これまで交付を希望されなかった方に向けて、同様に100%交付を求めていくことは困難であると考え。このため、これからは、若年層などへ利便性の訴求などを行うことで、着実な進展を進めていくことが必要と考える。							
改善点	島田市わくわくマイナポイント事業の実施、交付体制の拡充、出張申請の強化を図る。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	交通安全施設整備事業					区分	継続	
所属	都市基盤部 すぐやる課					会計	一般	
決算額（円）	25,853,998円	款項目	2	7	2	決算書頁	98	
総合計画	施策の柱	4-4	住みよい生活環境をつくる（住宅・防犯・公共交通・交通安全・消費生活・人権・男女共同参画・多文化共生）					
	施策と内容	5	交通安全対策を推進し、地域の安全を高めます					
事業の目的	道路交通事故を防止するための安全対策				対象者 (ターゲット)	市民		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路交通事故を防止することにより、市民の安心安全を確保する。 ・ 小学校や保育所等の関係者、道路管理者、公安委員会などが集まり、通学路や未就学児の移動経路での危険箇所を確認し合い、必要に応じて対策を講じていく。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民や自治会からの交通安全に関する要望対応率が95%とほぼ目標のとおり達成できた。 ・ 子供の移動経路の中で、危険箇所を現地で関係者と安全対策の確認を行った。 ・ 道路管理者として必要な対策箇所13箇所中12箇所を実施した。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	安全施設要望処理率	A	-	-	95%	95%	95%	95%
			98%	98%	95%	/	/	/
成果指標	交通事故（人身事故）発生件数	B	-	-	400件	400件	400件	400件
			478件	431件	443件	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	26,231		25,854		26,253	
節別内訳	需用費	-	14,189		13,315		13,400	
	役務費	-	29		32		53	
	工事請負費	-	12,013		12,507		12,800	
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	26,231		25,854		26,253	
課題	合同点検の結果、対策が完了するまで時間を要する場合がある。							
改善点	市民や自治会、学校等から要望があった危険箇所を確認し、必要に応じて速度を抑制するなど安全対策を講じていく。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	コミュニティバス運行管理経費					区分	継続	
所属	地域生活部 生活安心課					会計	一般	
決算額（円）	253,932,980円	款項目	2	7	3	決算書頁	100	
総合計画	施策の柱	4-4	住みよい生活環境をつくる（住宅・防犯・公共交通・交通安全・消費生活・人権・男女共同参画・多文化共生）					
	施策と内容	4	地域の実情にあった公共交通を運行します					
事業の目的	通学や通勤、通院時等の移動手段として、駅と各地区を結ぶコミュニティバスを運行する。				対象者 (ターゲット)	学生、高齢者		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行経費の高騰により、現在の路線規模を維持することが難しい状況となっている。持続可能な公共交通網の構築を目指し、地域公共交通計画の策定作業に着手する。 ・ 公共交通を維持することにより、コンパクト・プラス・ネットワーク構想を支える。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者数については、コロナ禍のピークであった令和3年度から若干の回復が見られ、今後の需要も回復傾向にあると思われるが、目標は達成できなかった。 ・ 路線数については、金谷地区において夢づくり会館線と大代線を統合し、新たな大代線として運行を開始したことにより、1路線減少している。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	地域公共交通（市自主運行）路線数	A	18路線	18路線	17路線	17路線	17路線	17路線
			18路線	18路線	17路線	/	/	/
成果指標	地域公共交通利用者数	C	250,000人	250,000人	260,000人	260,000人	260,000人	260,000人
			186,081人	162,037人	171,814人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	254,753		253,933		265,662	
節別内訳	需用費	-	3,908		1,198		945	
	役務費	-	1,175		1,195		2,027	
	委託料	-	249,232		251,011		261,865	
	使用料及び賃借料	-	360		360		360	
	その他	-	78		169		465	
財源内訳	国庫支出金	-	8,464		4,700		4,700	
	県支出金	-	25,215		17,227		23,618	
	地方債	-						
	その他	-	24,310		25,202		25,013	
	一般財源	-	196,764		206,804		212,331	
課題	運転士不足及び原油高、円安等による燃料費の上昇等により、運行コストが落ち着く材料がなく、また、タクシー運賃の値上げも予定されており、経費の上昇は続くと思われる。							
改善点	令和5年度中に策定予定の地域公共交通計画に基づき、運行形態の見直しを行い、持続可能な公共交通網の構築を目指す。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業					区分	継続	
所属	健康福祉部 長寿介護課					会計	一般	
決算額（円）	11,529,295円	款項目	3	1	3	決算書頁	106	
総合計画	施策の柱	1-3	生涯を通じて誰もが生きがいをもち安心して暮らす（高齢者・介護）					
	施策と内容	2	安心して暮らせる環境づくりを推進します					
事業の目的	在宅のひとり暮らし高齢者等が安心して生活を送るため、自宅に緊急通報装置・火災感知器・ガス漏れ警報機を設置し、日常の見守りと緊急事態に対応することを目的とする。				対象者 (ターゲット)	高齢者（65歳以上）		
前年度の課題に対する取組	民生委員に担当地区の当事業利用者を把握していただくため、令和4年4月に開催する法定地区民生委員・児童委員協議会定例会（9地区）にて、各民生委員へ担当地区利用者リストを配布し、対象者を把握するよう依頼する。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内ひとり暮らし世帯で65歳以上の高齢者に緊急通報装置、火災感知器、ガス漏れ警報器を設置した。 ・真報回数は増加しており、緊急時の即時対応により、親族への連絡や救急搬送など適切な処置を実施した。 ・年度末現在の設置台数：335台（真報回数：46回） 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	年度末現在の設置台数	B	460台	375台	380台	385台	390台	395台
			352台	345台	335台	/	/	/
成果指標	緊急通報のうち真報回数	A	46回	37回	38回	38回	39回	39回
			22回	38回	46回	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	11,979		11,529		13,013	
節別内訳	委託料	-	11,521		11,258		11,635	
	需用費	-	382		195		1,282	
	役務費	-	76		76		96	
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	11,979		11,529		13,013	
課題	設置台数が目標値を大きく下回っており、今後も民生委員や高齢者あんしんセンターへの周知が必要である。							
改善点	民生委員の改選後である令和5年2月、法定地区民生委員・児童委員協議会定例会（9地区）に出席し再度周知を図った。定例会では緊急通報システムの実物を展示し、使用方法をPRした。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	介護サービス提供体制整備促進事業費補助金					区分	継続	
所属	健康福祉部 長寿介護課					会計	一般	
決算額（円）	55,756,000円	款項目	3	1	3	決算書頁	106	
総合計画	施策の柱	1-3	生涯を通じて誰もが生きがいをもち安心して暮らす（高齢者・介護）					
	施策と内容	4	介護保険サービスの適正な提供を推進します					
事業の目的	第8期介護保険事業計画に基づき、施設整備計画を進める。このことで、高齢者等が、住み慣れた地域と住まいで可能な限り生活を継続できるようにする。				対象者 (ターゲット)	要支援・要介護認定者とその家族等		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症対応型共同生活介護 市内全ての中学校区で整備され、施設数は13施設（床数197床）であるが、比較的高い利用率であり今後需要の増加が見込まれるため、令和4年度は、1施設（18床）の施設整備を進める。 ・小規模多機能型居宅介護 市内全ての中学校区で整備され、施設数は7施設（定員195人）であるが、将来推計において利用増が見込まれるため、令和4年度は1施設（定員29人）の施設整備を進める。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症対応型共同生活介護 六合中学校区（東町）に1施設（18床）の整備を完了し、令和5年4月1日から事業を開始した。この結果、市内の施設数は14施設（床数215床）となった。 ・小規模多機能型居宅介護 第一中学校区（横井四丁目）に1施設（定員29人）の整備を完了し、令和5年4月1日から事業を開始した。この結果、市内の施設数は8施設（定員224人）となった。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	施設整備計画	A	1施設	0施設	2施設	0施設	-	-
			2施設	0施設	2施設	/	/	/
成果指標	施設整備状況	A	1施設	0施設	2施設	0施設	-	-
			2施設	0施設	2施設	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-			55,756		48,702	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	-			55,756		48,702	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-			55,756		48,702	
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-						
課題	第8期介護保険事業計画では、令和3年度に六合中学校区にて、既存の認知症対応型共同生活介護の施設において増床（定員9人→18人）を計画していたが、未整備となっている。							
改善点	令和5年度は、第9期介護保険事業計画を策定するため、その中で今後の整備計画を検討していく。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	成年後見支援センター運営事業					区分	継続	
所属	健康福祉部 包括ケア推進課					会計	一般	
決算額（円）	9,339,000円	款項目	3	1	3	決算書頁	106	
総合計画	施策の柱	1-3	生涯を通じて誰もが生きがいをもち安心して暮らす（高齢者・介護）					
	施策と内容	2	安心して暮らせる環境づくりを推進します					
事業の目的	認知症や障害などにより判断能力が十分でない人が、成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行い、これらの人の権利を尊重し擁護することにより、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう成年後見制度の利用促進及び市民後見人の育成を図る。				対象者（ターゲット）	独居や認知症等高齢者及び知的・精神等障害者、ほか権利擁護の支援が必要な者		
前年度の課題に対する取組	制度の利用にあたり、前年度は受任調整を行うための会議体がなく家庭裁判所に申立てが行われていた。今年度から専門家で組織する島田市権利擁護推進協議会部会を開催し、的確な受任調整を行うための調査及び検討、並びに必要な調整等を行い、本人に寄り添った受任調整を行っていく。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護推進協議会：年3回 ・権利擁護推進協議会部会：年11回 ・受任調整：27件 ・相談件数：616件 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	権利擁護に係る相談対応件数	A	200件	200件	300件	300件	300件	300件
			213件	208件	616件	/	/	/
成果指標	受任調整件数	B	0件	0件	30件	35件	40件	45件
			0件	0件	27件	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	4,796		9,339		10,089	
節別内訳	委託料	-	4,796		9,339		9,460	
	負担金、補助及び交付金	-					629	
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-			4,669		1,500	
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
一般財源		-	4,796		4,670		8,589	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に埋もれている権利擁護の課題発見、ニーズキャッチやアウトリーチを高めることが必要なため、対象者別の普及啓発出前講座を引き続き実施していく。 ・第一相談窓口との連携体制が整っているとは言えないため、相談の流れや役割分担などを可視化できるよう中核機関を中心に整理を進める必要がある。 							
改善点	権利擁護推進協議会部会を設置し、専門家からの助言及び専門的判断を受ける体制を構築した。主にケース検討と受任調整を実施した。ケースを部会に挙げていくことで、支援者も専門職の助言を直接受けられる機会となっている。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	チビッコ広場遊具撤去費等補助金					区分	新規	
所属	こども未来部 子育て応援課					会計	一般	
決算額（円）	541,000円	款項目	3	2	1	決算書頁	112	
総合計画	施策の柱	2-1	子どもを生み育てやすい環境をつくる（子育て）					
	施策と内容	2	子育てを温かく見守る環境をつくります					
事業の目的	市が実施した自治会等が管理するチビッコ広場に設置された遊具の安全点検で、修繕が必要であると判定された遊具を修繕・撤去してもらうことにより、利用者の安全を確保するとともに、自治会等の経費負担を軽減する。					対象者 (ターゲット)	チビッコ広場を管理する自治会等	
前年度の課題に対する取組	(新規事業)							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕：6広場6基、撤去：4広場7基（修繕と撤去を行った広場が1広場ある） ・遊具の修繕・撤去には自治会等の経費負担もあることから、修繕・撤去を行った広場数は見込みの56.3%、修繕・撤去された遊具数は見込みの72.2%であった。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	補助金を交付するチビッコ広場の数	C	-	-	16広場	/	/	/
			-	-	9広場	/	/	/
成果指標	修繕・撤去した遊具の数	C	-	-	修繕 16基 撤去 2基	/	/	/
			-	-	修繕 6基 撤去 7基	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		1,041			541		500	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	1,041			541		500	
	その他							
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	1,041			541		500	
課題	遊具の修繕・撤去には自治会等の経費負担もあることから、すぐに遊具を修繕・撤去できない自治会等もある。							
改善点	補助金交付は令和4年度のみでの予定であったが、令和4年度の予算残額分（50万円）を令和5年度に予算化し、遊具の修繕・撤去を実施してもらう。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	子育て短期支援事業					区分	継続	
所属	こども未来部 子育て応援課					会計	一般	
決算額（円）	362,100円	款項目	3	2	1	決算書頁	112	
総合計画	施策の柱	2-1	子どもを生き育てやすい環境をつくる（子育て）					
	施策と内容	2	子育てを温かく見守る環境をつくります					
事業の目的	一時的に養育・保護を必要とする児童（0歳から18歳未満）に対して、当事業を活用し適切な養育・保護を行い、これらの児童及びその家庭の福祉の向上を図る。				対象者 (ターゲット)	島田市に住所を有する0歳から18歳未満の児童		
前年度の課題に対する取組	前年度は予算が少なく、当事業の利用に制限があったが、当年度は予算が増加したため、対象児童を見極め積極的に勧めることで親子の心の安定を図り、虐待防止に努める。							
実施結果	目標値には到達できなかったが、親子の距離をとる必要があると見立てた親子に対し、当事業を勧め、目標値の約8割の親子の心の安定を図り、虐待防止に努めた。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	実利用者数	C	-	-	18人	18人	18人	18人
			1人	4人	12人	/	/	/
成果指標	親子の心の安定を図った延べ日数	B	-	-	85日	85日	85日	85日
			2日	7日	68日	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	33		362		521	
節別内訳	役務費	-			4		12	
	委託料	-	33		358		509	
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-	11		119		169	
	県支出金	-	11		119		169	
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	11		124		183	
課題	当事業を勧めても利用を拒む世帯がある。							
改善点	支援計画を立てる中で支援策の一つとして、当事業を積極的に取り入れ、利用を勧めていく。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	こども発達相談事業					区分	継続	
所属	こども未来部 子育て応援課					会計	一般	
決算額（円）	706,848円	款項目	3	2	1	決算書頁	114	
総合計画	施策の柱	2-1	子どもを生み育てやすい環境をつくる（子育て）					
	施策と内容	4	子ども一人ひとりの状況に応じた支援を充実させます					
事業の目的	発達に課題のある子どもがその子らしく健やかに育つことができ、保護者が安心して子育てできるよう、子どもの発達を促し保護者の相談に応じて必要な情報や支援を提供できるように継続的に支援していく。				対象者 (ターゲット)	就学前の子どもと保護者		
前年度の課題に対する取組	心理士の育児休暇及び幅広い業務により、心理検査の新規希望者に対して長期間待たせてしまう状況が続いているため、職員の復帰に合わせて計画的に業務ができるように体制づくりと業務の見直しを行う。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・心理士が育児休暇から復帰し、職員が揃った形での体制になった。昨年度、関係機関に対応を協力してもらっていた業務も復活し心理検査以外の業務対応もあり、目に見える形での待機者数の減少には至らなかった。 ・心理検査の報告の方法についても見直しを行い、業務に専念できる体制を整えた。令和3年度は、不定期だった日程を曜日や時間を定期に決めておくことでスケジュールを入れやすくなった。在籍園で実施していた場所も市役所で行うことで事務処理に時間をかけられるようになった。検査から結果報告まで3か月かかっていたが、2か月以内で実施できるようになった。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	心理検査の実施件数	A	-	100件	200件	250件	250件	250件
			276件	274件	306件	/	/	/
成果指標	新規の心理検査の待機者数 (年度末時点)	A	-	95人	70人	20人	10人	0人
			62人	29人	14人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	360		707		1,298	
節別内訳	報償費	-	25		55		70	
	需用費	-	245		328		490	
	役務費	-	42		60		79	
	使用料及び賃借料	-			264		264	
	その他	-	48				395	
財源内訳	国庫支出金	-	43		36		57	
	県支出金	-	22		18		28	
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	295		652		1,213	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ関連の急なキャンセルや延期による日程調整が必要になっている。 ・検査結果報告に2か月を要しているため、1か月以内にしていきたい。 ・心理検査から子ども理解を深めていきたい保護者が増えているため、検査数を増やしても待機者が減らない現状がある。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・心理検査の方法について見直しを行い、子どもの状況に応じて検査の種類を選択していくことで、対応可能件数を増やし待機人数を減らしていきたいと考えている。 ・発達支援コーディネーター養成講座を開催して、園での支援体制の強化を図っていく。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	放課後児童クラブ運営事業					区分	継続	
所属	こども未来部 子育て応援課					会計	一般	
決算額（円）	253,098,980円	款項目	3	2	4	決算書頁	114	
総合計画	施策の柱	2-1	子どもを生み育てやすい環境をつくる（子育て）					
	施策と内容	5	保育環境の更なる充実を図ります					
事業の目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない市内小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成を図る。				対象者 (ターゲット)	放課後、保護者が家庭にいない児童及びその保護者		
前年度の課題に対する取組	当初の計画としては、保護者の就労状況から申込み基準の見直しを行うこととしていたが、協議の結果、見直しは行わないこととした。その代わりに、低学年で待機児童が発生する可能性がある放課後児童クラブについて、拡張開所できる場所及び支援員の確保を行うことで定員を増やし、より多くの児童の受入れを目指すこととする。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内3つの公設放課後児童クラブの定員を40人増加した。 島田第一小学校区放課後児童クラブ 定員10人増 六合小学校区放課後児童クラブ 定員20人増 初倉小学校放課後児童クラブ 定員10人増 ・市内の1つの民設放課後児童クラブの定員が21人増加した。 月坂保育園放課後児童クラブ 定員21人増 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	定員数の増	A	-	-	20人	40人	20人	-
			10人	37人	61人	/	/	/
成果指標	翌年4月における待機児童数	C	-	-	45人	30人	15人	0人
			102人	61人	94人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	233,290		253,099		278,795	
節別内訳	需用費	-	2,265		3,285		4,577	
	役務費	-	95		107		1,537	
	委託料	-	172,478		183,375		189,347	
	負担金、補助及び交付金	-	58,432		66,332		83,314	
	その他	-	20				20	
財源内訳	国庫支出金	-	41,446		56,897		54,165	
	県支出金	-	40,538		46,782		55,495	
	地方債	-						
	その他	-	63,597		83,485		86,768	
	一般財源	-	87,709		65,935		82,367	
課題	定員数は当初の目標以上に増やすことができたが、それ以上に全体の申込数が増えたので、待機児童は昨年度より増加した。まずは3年生までの児童の受入れをどのクラブも実施する必要がある。							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校区毎に申込数の見込みを精査するとともに、必要に応じて、小学校の余裕教室の活用や民間クラブの参入支援等を実施することで、児童の受入れを増やすよう努力する。 ・児童を見守る放課後児童支援員の確保についても同時に実施していく。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	民間保育所施設整備助成事業					区分	新規	
所属	こども未来部 保育支援課					会計	一般	
決算額（円）	45,933,000円	款項目	3	2	4	決算書頁	116	
総合計画	施策の柱	2-1	子どもを生き育てやすい環境をつくる（子育て）					
	施策と内容	5	保育環境の更なる充実を図ります					
事業の目的	保育所等の老朽化施設を整備することにより、安全安心で安定した保育環境を確保し、子どもの健やかな成長を支援する。					対象者 (ターゲット)	保育所、認定こども園等設置者（社会福祉法人、学校法人等）	
前年度の課題に対する取組	(新規事業)							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆたか保育園の園舎改築に対し、補助金を交付した。 ・ 令和4年度は、工事全体の30%が進捗した。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	ゆたか保育園改築工事進捗率	A	-	-	30%	100%	-	-
			-	-	30%	/	/	/
成果指標	市内の待機児童数	A	3人	0人	0人	0人	0人	0人
			0人	0人	0人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		161,324			45,933		107,180	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	161,324			45,933		107,180	
	その他							
財源内訳	国庫支出金	143,400			40,830		95,271	
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	17,924			5,103		11,909	
課題	2カ年度事業のため、年度ごとの工事進捗率に注意が必要であり、工事監理を確実にを行う必要がある。（令和4年度：30%、令和5年度：70%）							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名		保育料の第2子半額・第3子以降無償化					区分	継続
所属		こども未来部 保育支援課					会計	一般
決算額（円）		64,892,000円		款項目	歳入13 歳入14 歳出3	2 1 2	2 2 7	決算書頁 22 24 118
総合計画		施策の柱	2-1	子どもを生み育てやすい環境をつくる（子育て）				
		施策と内容	1	家庭を持ちたくなる環境づくりを推進します				
事業の目的		産みやすく、育てやすい子育て世代に優しいまちを目指すことにより、子育て世代の負担軽減による合計特殊出生率の上昇や子育て世代の定住促進、さらには、市外からの子育て世帯の転入増加を図る。				対象者 (ターゲット)	子育て世代	
前年度の課題に対する取組		本事業の成果の指数の一例として「他市町からの転入」や「多子の出生数」が挙げられるが、本事業のみの効果ではないため、今後も適当な効果の検証に努めていく。						
実施結果		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の保育料の第2子半額・第3子以降無償化に要する経費 <li style="padding-left: 20px;">歳入の減 民間保育所入園者負担金の減 22,619,000円 <li style="padding-left: 20px;">公立保育所使用料の減 3,960,000円 <li style="padding-left: 20px;">歳出の増 認定こども園等施設型給付費の増 27,661,000円 <li style="padding-left: 20px;">地域型保育給付費の増 10,652,000円 <li style="padding-left: 40px;">合計 64,892,000円 ・利用（免除）実績については目標値を上回り達成しているため、今後も制度のPRを続け多子の育児への手当てを強めていく。 						
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	利用者（4～3月の延べ人数）のうち出生順位が第二子以上の割合	A	54%	54%	54%	54%	54%	54%
			54.18%	55.34%	56.42%	/	/	/
成果指標	子ども・親世代の転入超過数（0～9歳、30～39歳）	A	0人	0人	0人	0人	0人	0人
			184人	22人	96人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	37,017		38,313		37,617	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	-	37,017		38,313		37,617	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-	-25,212		-26,579		-31,185	
	一般財源	-	62,229		64,892		68,802	
課題	市町によっては「第二子」より無償を行うところも見られるため、地域間で格差が生じぬよう動向を注視する必要がある。							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	病児・病後児保育事業					区分	継続	
所属	こども未来部 保育支援課					会計	一般	
決算額（円）	34,916,000円	款項目	3	2	7	決算書頁	118	
総合計画	施策の柱	2-1	子どもを生み育てやすい環境をつくる（子育て）					
	施策と内容	5	保育環境の更なる充実を図ります					
事業の目的	児童が病氣中または病後時において、保護者が仕事等で家庭で世話ができないとき保育を行い、保護者の就労等の支援を行う。				対象者 (ターゲット)	児童、保護者		
前年度の課題に対する取組	制度への認知度が低いため、広報に努めている。（広報紙、市民課掲示板、FMしまだ）							
実施結果	・年間利用人数は、当初見込みの1,300人を超える1,438人となった。利用者は増加傾向にあり、保護者に事業の認知が進んできている。 ・当事業により、病中又は病氣回復期の児童等がいる世帯では保護者が休業することなく、就労機会の確保が図られている。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	病児・病後児保育利用実績	A	-	-	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人
			948人	1,294人	1,438人	/	/	/
成果指標	児童が病中・病氣回復期における保護者の就労機会	A	-	-	1,300回	1,300回	1,300回	1,300回
			948回	1,294回	1,438回	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	31,229		34,916		34,654	
節別内訳	委託料	-	31,229		34,916		34,654	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-	10,409		11,638		11,551	
	県支出金	-	10,409		11,638		11,551	
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	10,411		11,640		11,552	
課題	さらなる利用拡大に向け、PRの促進が必要である。							
改善点	病児保育事業（え〜ら）では、令和5年度から登園後の園児の急な体調不良時に、保護者に代わり保育所職員が当該園へお迎えに行く「お迎えサービス」を開始する予定であり、これにより利用者の拡大が図られる。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	就労準備支援事業					区分	継続	
所属	健康福祉部 福祉課					会計	一般	
決算額（円）	10,723,000円	款項目	3	3	3	決算書頁	120	
総合計画	施策の柱	1-4	互いに支え合い、いきいきと幸せに暮らす（地域福祉・障害福祉）					
	施策と内容	2	自立した生活を送ることができるよう支援します					
事業の目的	生活困窮者のうち、複合的な課題があり、生活リズムが乱れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下している等の理由で、就労に結びつかない、若しくは就労が長続きしない者に対し、就労の前段階として適正な生活習慣、社会的能力、就労能力の形成支援を行い、安定就労による困窮状態からの脱却を目指す。				対象者 (ターゲット)	生活困窮者		
前年度の課題に対する取組	支援期間については、当初1年間以内を想定していたが、本人の特性等により、1年以上の支援期間が望ましいものがある。一方で多くの利用者を受け入れる必要性もあることから、本人に合った就労体験機会の提供など、支援内容をより工夫するとともに、場合によっては、他の福祉制度の利用を視野に入れ、可能な限り早期の就労を目指していく。							
実施結果	前年度事業開始者3人、今年度事業開始者3人、計6人について、自立意欲の向上が見られた。また、就労し事業を修了した利用者が7人あり、事業の成果はあがっている。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	事業利用者数	A	15人	15人	20人	20人	20人	20人
			16人	20人	21人	/	/	/
成果指標	利用者の自立意欲の向上 ※就労準備支援センターによる評価点の向上者数	A	4人	5人	5人	5人	5人	5人
			2人	12人	6人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	8,947		10,723		10,723	
節別内訳	委託料	-	8,947		10,723		10,723	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-	5,965		7,149		7,149	
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	2,982		3,574		3,574	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事業規模が小さく、障害のある利用者の割合が高い。そのため、就労体験・実習段階の利用者が少なく企業と連携した訓練を行いにくい。 ・生活困窮者支援と障害者支援の担当者が、視点の共有、きめ細かい連携を行う必要がある。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者の就労支援を行う島田市社会福祉協議会と連携するなどして、就労体験・実習先企業を増やし、企業と連携した訓練の充実をはかる。 ・障害者支援担当者とのケース検討を積み重ねる。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	ネウボラ推進事業					区分	継続	
所属	健康福祉部 健康づくり課					会計	一般	
決算額（円）	1,162,323円	款項目	4	1	2	決算書頁	126	
総合計画	施策の柱	2-1	子どもを生み育てやすい環境をつくる（子育て）					
	施策と内容	3	切れ目ない支援で、親子の心と身体を守ります					
事業の目的	妊娠期から子育て期まで、母子健康手帳を交付した家庭すべてに担当保健師を配置し、家族に寄り添い細やかで、切れ目のない支援を継続していくことを目的とする。				対象者 (ターゲット)	妊婦と就学前の子どもを持つすべての家庭		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「しまいく+」を活用し、担当保健師との良好な関係性を深めていく。 ・予約制母子健康手帳交付の導入に向けた検討をする。 ・7か月児相談を父親が参加しやすい内容に変更する。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「しまいく+」の登録者の増加により、オンライン相談の活用件数も増加している。 ・令和4年10月から予約制母子健康手帳交付を開始した。ほぼ100%の方が予約をして交付を受けている。交付は、担当家庭と保健師の初回の顔合わせの機会であり、担当保健師と顔合わせができていない割合は37%である。予約制により、担当保健師の認知度向上と良好な関係性の構築につながっている。 ・令和4年10月から7か月児相談を「7か月のFamilyDay」と名称及び内容を変更して、父親の子育てへの積極的な参加を促している。両親での参加が27%ほどになっている。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	担当保健師による赤ちゃん訪問の実施率	A	-	-	80%	85%	90%	95%
			-	-	80%	/	/	/
成果指標	担当保健師がいることを知っている保護者の割合（7か月児、1歳6か月児を持つ保護者）	A	75%	80%	95%	97%	100%	100%
			71%	94%	95%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	1,276		1,162		1,162	
節別内訳	報償費	-	32		32		45	
	需用費	-	66		22		35	
	役務費	-	492		422		395	
	使用料及び賃借料	-	686		686		687	
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-					24	
	県支出金	-	542		488		557	
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	734		674		581	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・切れ目のない支援のために、相談窓口としての担当保健師の認知度を更に上げることや、担当保健師が継続的に関わる仕組みが必要である。 ・子育て世帯に関わる機会を増やし、家族に寄り添い細やかな支援を継続していく。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・担当保健師が継続的に関わる仕組みを引き続き検討していく。 ・担当保健師の訪問等以外での関りを増やすために、「しまいく+」を活用していく。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	がん検診事業（各種がん検診・受診勧奨）					区分	継続	
所属	健康福祉部 健康づくり課					会計	一般	
決算額（円）	76,587,461円	款項目	4	1	4	決算書頁	128	
総合計画	施策の柱	1-2	健康で自分らしく暮らす（健康づくり・地域医療）					
	施策と内容	1	市民の健康意識を高め、健康づくりを支援します					
事業の目的	日本人の2人に1人ががんにかかり、4人に1人ががんで命を落としている。自覚症状がないうちに、定期的に検診を受けることが大切である。市で検診機会を設けることにより、早期発見・早期治療に結びつけることを目的とする。				対象者 (ターゲット)	胃・大腸・肺：40歳以上、乳：40歳以上（前年度未受診者）、子宮：20歳以上（前年度未受診者）		
前年度の課題に対する取組	様々な場面において、がんに関する知識の普及啓発を図るとともに、レディース検診の日程を設け、受診しやすい機会の提供に努める。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・がん予防講演会（令和5年2月18日実施）当日会場参加者：43人 ・YouTube配信：260回再生（令和5年3月6日～令和5年3月31日） ・乳幼児健診や歯科保健事業など様々な事業と連携し、がんの知識の普及啓発を行った。 ・集団検診においてレディース検診を2日間実施。検診項目を充実させたことにより、前年度に比べ受診者数が増加した。（受診者数：183人） 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	【一次検診】 検診機会の提供 個別検診：6月～2月 地区まわり検診：7月～10月 総合がん検診：9月～2月	A	個別：6月～2月 地区：53日 総合：75日	個別：6月～2月 地区：47日 総合：75日	個別：6月～2月 地区：48日 総合：75日	個別：6月～2月 地区：47日 総合：75日	個別：6月～2月 地区：47日 総合：75日	個別：6月～2月 地区：47日 総合：75日
			個別：6月～2月 地区：53日 総合：75日	個別：6月～2月 地区：47日 総合：75日	個別：6月～2月 地区：48日 総合：75日	/	/	/
成果指標	【二次検診】 精密検査受診率 (前年度一次検診における要精密検査対象者の受診率)	B	胃：90% 大腸：90% 肺：90% 子宮：80% 乳：70%	胃：90% 大腸：90% 肺：90% 子宮：80% 乳：70%	胃：90% 大腸：90% 肺：95% 子宮：95% 乳：95%	胃：90% 大腸：90% 肺：95% 子宮：95% 乳：95%	胃：90% 大腸：90% 肺：95% 子宮：95% 乳：95%	胃：90% 大腸：90% 肺：95% 子宮：95% 乳：95%
			胃：77.5% 大腸：73.6% 肺：94.5% 子宮：96.7% 乳：93.5%	胃：86.4% 大腸：74.2% 肺：94.3% 子宮：94.1% 乳：96.0%	胃：86.1% 大腸：70.9% 肺：86.4% 子宮：90.0% 乳：96.3%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	79,654		76,587		84,551	
節別内訳	需用費	-	1,173		1,286		1,575	
	役務費	-	4,842		4,926		5,643	
	委託料	-	73,639		70,374		77,327	
	使用料及び賃借料	-			1		2	
	その他	-					4	
財源内訳	国庫支出金	-	282		280		251	
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	79,372		76,307		84,300	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの知識の普及啓発にあたりLINEやYouTube配信などデジタルの活用は一定の効果が期待できるが、情報が溢れる中では口コミや直接説明することも必要である。 ・精密検査受診率が前年度に比べ、減少している。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルツールを活用しながら対面での周知も併せて行い、知識の普及啓発及び受診勧奨に努める。 ・受診率の向上に繋がるよう関係機関や検診事業者と連携し、実施方法等の検討を進めていく。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	住宅用省エネルギー設備設置促進事業					区分	継続	
所属	地域生活部 環境課					会計	一般	
決算額（円）	13,450,000円	款項目	4	1	5	決算書頁	130	
総合計画	施策の柱	4-1	地域循環共生圏を形成する（脱炭素社会・エネルギーの地産地消・循環型社会・環境教育）					
	施策と内容	2	省エネルギーを推進します					
事業の目的	電力の自家消費率を向上させ、再生可能エネルギーの有効利用を図り、家庭における省エネルギーを推進する。				対象者 (ターゲット)	市内に住民登録されている市民または、これから島田に住民登録し居住する予定の者で、住宅用省エネルギー設備の設置をする人		
前年度の課題に対する取組	予算規模が市民のニーズに対応できていなかったため、増額した。							
実施結果	予算の増額に加え、補正したことにより、年間を通じて予算が無くなることもなく、蓄電池127件、エネファーム15件に対し補助金を交付した。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	補助金交付件数	B	-	-	160件	170件	180件	190件
			73件	100件	142件	/	/	/
成果指標	家庭用電力消費量	B	-	-	219,400MWh	219,200MWh	219,000MWh	218,800MWh
			219,862MWh	220,269MWh	212,280MWh	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	9,600		13,450		13,000	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	-	9,600		13,450		13,000	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-			450			
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-	3,756		5,063		5,876	
	一般財源	-	5,844		7,937		7,124	
課題	太陽光発電による再エネ電力の自家消費を促進するための蓄電池導入は、エネルギー使用の平準化と災害時のレジリエンス強化にはなるが、温暖化対策としては再エネ発電設備、住宅の断熱性能向上、省エネ設備導入などの効果の大きなものを促進したいため、補助金制度のあり方を検討する。							
改善点	補助項目の拡大も視野に入れる。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	環境基本計画策定事業					区分	継続	
所属	地域生活部 環境課					会計	一般	
決算額（円）	3,993,000円	款項目	4	1	5	決算書頁	130	
総合計画	施策の柱	4-1	地域循環共生圏を形成する（脱炭素社会・エネルギーの地産地消・循環型社会・環境教育）					
	施策と内容	-	-					
事業の目的	目指すべき将来像（地域循環共生圏、ゼロカーボンシティ）を実現する。				対象者 (ターゲット)	市民、事業者、行政		
前年度の課題に対する取組	市民、事業者、行政の主体的な取組及び各主体の連携・協働した取組を推進していくための仕組みの構築に努める。							
実施結果	市民の意見を反映させるための環境基本計画市民会議、庁内組織の環境基本計画策定委員会、諮問機関である環境審議会での計画の検討を進め、令和5年3月に環境基本計画を策定した。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	市民会議開催件数	A	-	4件	1件	-	-	-
			-	4件	1件	/	/	/
成果指標	計画関連事業の実施状況	/	-	-	-	4件	4件	4件
		/	-	-	-	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-			3,993			
節別内訳	委託料	-			3,993			
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-			3,993			
課題	計画を策定したため、事業は終了となる。今後は、策定した計画を実行していくための体制づくりや予算確保が課題となる。							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	火葬炉耐火物全体積替工事					区分	新規	
所属	地域生活部 環境課					会計	一般	
決算額（円）	13,035,000円	款項目	4	1	7	決算書頁	130	
総合計画	施策の柱	7-4	公共施設を賢く持って、賢く使う（公共施設の保全・再編・利活用）					
	施策と内容	2	公共施設を効率的に整備・運営します					
事業の目的	火葬炉が老朽化しているため、社会生活維持施設として、斎場が健全に機能するように耐火物全体積替工事を実施する。				対象者 (ターゲット)	斎場利用者		
前年度の課題に対する取組	火葬炉全体積替工事を実施する場合には、火葬炉を休止する必要があるため関係機関と連携し、利用者に支障がでないように取り組む。							
実施結果	劣化していた島田市金谷斎場火葬炉の内1炉の耐火物全体積替工事を予定通り実施した。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	火葬炉全体積替工事進捗率	A	-	-	25%	-	50%	75%
			-	-	25%	/	/	/
成果指標	火葬炉の故障による運転停止発生日	A	-	-	0日	0日	0日	0日
			-	-	0日	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-			13,035			
節別内訳	工事請負費	-			13,035			
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-			13,035			
課題	島田市斎場及び島田市金谷斎場は、経年劣化により年々修繕箇所が増えており、今後の修繕及び工事費の増額が懸念される。							
改善点	特に改善点はないが、保守点検による修繕箇所の計画に沿って事業を進めていく。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	田代環境プラザ運営費					区分	継続	
所属	地域生活部 環境課					会計	一般	
決算額（円）	1, 103, 372, 374円		款項目	4	2	3	決算書頁 134	
総合計画	施策の柱	4-1	地域循環共生圏を形成する（脱炭素社会・エネルギーの地産地消・循環型社会・環境教育）					
	施策と内容	4	ごみの減量を推進します					
事業の目的	搬入されたごみを適切に処理する。					対象者 (ターゲット)	全市民	
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度より国交省の草が搬入され、熔融炉内環境の悪化による燃料費の増加や処理量の低下が発生するため、多量の草の投入について制限を設けることや、他のごみとの十分な攪拌等の操業が求められる。 ・国の標準労務単価も上昇傾向にあり、人件費の増加も懸念材料である。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・田代環境プラザへの一般市民のごみの直接搬入が年々増加しているなか、古紙類、古布類などのリサイクルに回せるものに対して適切な処理への協力を促すことで、「燃えるごみの減量・処理経費削減」に努めた。 ・民間の施設においてもコンテナが置かれるなど、意識が高まってきていると言える。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	ごみ処理量（単位 t）	A	31, 900t	32, 960t	32, 960t	32, 960t	32, 960t	32, 960t
			31, 419t	30, 331t	30, 118t	/	/	/
成果指標	古紙、古布回収量（単位 t）	B	-	1, 073t	985t	913t	-	-
			1, 073t	985t	913t	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	1, 109, 454		1, 103, 372		1, 236, 575	
節別内訳	需用費	-	272, 368		328, 513		342, 714	
	役務費	-	2, 871		2, 367		2, 952	
	委託料	-	831, 722		769, 782		882, 895	
	工事請負費	-	1, 848		2, 035		2, 706	
	その他	-	645		675		5, 308	
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-	242, 579		239, 504		252, 584	
	一般財源	-	866, 875		863, 868		983, 991	
課題	昨年度から資材や燃料費の高騰が運営経費にも大きな支障となっている。田代環境プラザを運営するためには大きな経費を要することから、具体的な対策を講じる必要がある。							
改善点	市民へのごみ減量の意識を高めることを目的に、今まで以上に雑紙等の分別回収や古布類の回収等の協力を促していく。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	合併処理浄化槽設置助成事業					区分	継続	
所属	都市基盤部 下水道課					会計	一般	
決算額（円）	98,582,000円	款項目	4	2	7	決算書頁	136	
総合計画	施策の柱	4-3	水資源と水環境を守る（水環境）					
	施策と内容	1	水資源を保全します					
事業の目的	生活排水による公共水域の水質汚濁を防止し、水環境や自然環境を保全するため、くみ取り便槽及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を推進する。				対象者 (ターゲット)	合併処理浄化槽を設置する者（新規、くみ取り便槽及び単独処理浄化槽からの転換）		
前年度の課題に対する取組	新設補助件数及びくみ取り便槽、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換補助件数を増加させる。							
実施結果	合併処理浄化槽を設置する者に対し、補助金を交付した。 新規：207基（31,050千円） くみ取り便槽からの転換：4基（1,492千円） 単独処理浄化槽からの転換：90基（66,040千円）							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	合併処理浄化槽補助金交付実施件数	B	360件	318件	323件	317件	378件	378件
			350件	307件	301件	/	/	/
成果指標	汚水処理人口普及率 (総人口に対する、生活排水処理施設を利用できる人口の割合)	B	-	60.3%	72%	73.4%	74.9%	76.3%
			-	69.7%	69.8%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	108,348		98,582		113,890	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	-	108,348		98,582		113,890	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-	49,747		43,618		51,409	
	県支出金	-	17,250		11,913		14,059	
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	41,351		43,051		48,422	
課題	補助金の交付件数が目標値を下回った。令和5年度からは、単独処理浄化槽と同様に、くみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換事業についても宅内配管工事費（上限300千円）、便槽撤去費（上限90千円）を支給するため、くみ取り便槽の転換事業についても、市民へPRを強化していきたい。							
改善点	補助金制度のPRを強化する。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	農地利用推進事業					区分	継続	
所属	産業経済部 農業振興課					会計	一般	
決算額（円）	107,008円	款項目	6	1	1	決算書頁	138	
総合計画	施策の柱	3-4	地域の特徴を活かした農林業を進める（農業・林業）					
	施策と内容	1	次の世代へつながる「稼ぐ農林業」を目指します					
事業の目的	農業委員会で農地利用状況調査を現地で行い、必要であれば、荒廃農地解消作業を実施する。				対象者 (ターゲット)	農業者		
前年度の課題に対する取組	荒廃農地が増加しているため、荒廃農地の管理のお願いや荒廃農地になる前の事前指導、担い手への農地の集積を進めた。							
実施結果	管理指導等により荒廃農地を11.48ha解消できたが、新たな荒廃農地が発生し、荒廃農地の面積は増加してしまった。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	農地パトロールの回数	A	-	-	20回	20回	20回	20回
			-	31回	21回	/	/	/
成果指標	再生農地面積	A	-	-	3ha	3ha	3ha	3ha
			7.24ha	11.47ha	11.48ha	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	86		107		144	
節別内訳	旅費	-						
	需用費	-					24	
	役務費	-	86		107		120	
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	86		107		144	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営農者の高齢化等により離農者も増え条件の悪い農地については荒廃農地になってしまうため、再生しても新たな荒廃農地が発生してしまう。 ・ 令和3年から荒廃農地調査の分類が変わったため、判断が難しくなった。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地パトロールや管理指導により荒廃農地の発生防止に努め、条件の悪い農地については非農地化を進める。 ・ 地域計画策定の話し合いにより担い手への農地の集積・集約を進める。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名		がんばる認定農業者支援事業					区分	継続	
所属		産業経済部 農業振興課					会計	一般	
決算額（円）		10,856,146円		款項目	6	1	3	決算書頁	140
総合計画		施策の柱	3-4	地域の特色を活かした農林業を進める（農業・林業）					
		施策と内容	1	次の世代へつながる「稼ぐ農林業」を目指します					
事業の目的		認定農業者の農業経営改善計画の目標達成に向けての取組を支援し、特にスマート農業や新たに複合経営に取り組む農業者を増やす。				対象者 (ターゲット)	認定農業者		
前年度の課題に対する取組		主要作物である茶の価格が長期間にわたる低迷で所得が年々下がっている。したがって、茶単作による生産体制のリスク管理として、他の作物との複合経営を推進し、また高齢化や労働力不足という課題に対応するため、スマート農業を推進し、省力・軽労化を図っていく。							
実施結果		<p>農業経営改善計画の目標達成に向けた事業を実施する認定農業者に対し、補助金を交付した。</p> <p>補助対象事業：農業経営改善計画書に記載された1事業 （施設整備、機械導入等30万円以上の事業）</p> <p>補助額：補助対象経費の3/10以内（千円未満切捨）で限度額60万円 補助対象者が法人の場合、経費の全てがスマート農業に係るもの、新たに複合経営に取り組むもの場合は限度額100万円</p>							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	
活動指標	補助金交付件数	B	30件	30件	30件	30件	30件	30件	
			36件	34件	25件	/	/	/	
成果指標	スマート農業又は新たに複合経営に取り組む認定農業者数	C	-	-	2人	2人	2人	2人	
			-	-	0人	/	/	/	
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算		
事業費（千円）		-	16,768		10,856		20,031		
節別内訳	役員費	-	28		17		31		
	負担金、補助及び交付金	-	16,740		10,839		20,000		
		-							
	その他	-							
財源内訳	国庫支出金	-							
	県支出金	-							
	地方債	-							
	その他	-							
	一般財源	-	16,768		10,856		20,031		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者の高齢化等により認定農業者数が減少している。 ・ 農業経営は厳しく、設備投資する資金を確保することが難しい。 								
改善点	認定農業者が再認定を受ける際に制度を周知する。								

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	島田市茶業振興協会補助金					区分	継続	
所属	産業経済部 農業振興課					会計	一般	
決算額（円）	10,824,795円	款項目	6	1	4	決算書頁	142	
総合計画	施策の柱	3-4	地域の特色を活かした農林業を進める（農業・林業）					
	施策と内容	4	お茶の魅力を発信し、茶業の振興を図ります					
事業の目的	島田茶、金谷茶、川根茶の品質向上、消費拡大等を推進するため、島田市産茶のPRを行う島田市茶業振興協会の運営に対して補助金を交付する。				対象者 (ターゲット)	市内茶業関係者（島田市産茶消費者を含む）		
前年度の課題に対する取組	コロナ禍により事業を中止したほか全体事業計画を変更せざるを得なかったため、令和4年度は感染拡大の様子を見ながらイベントへ出展するほか、ホームページの改良により島田茶の魅力をPRする方法を模索していく。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の中、事業をしてきた2年間であったが、令和4年度は感染拡大に注意しながらお茶の淹れ方教室も復活することができた。 ・ 感染拡大の様子を見ながら各種イベントへの出展が再開され、茶業振興協会主体事業の他、会員が個々にアンテナショップに出展するなど、県外にもPRを行うことが出来た。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	茶業振興にかかるイベント（茶の淹れ方教室含む）への参画及び出展した数	B	10回	12回	18回	21回	21回	21回
			9回	10回	16回	/	/	/
成果指標	茶業振興協会会員の販路拡大等活動事業への助成金交付件数	A	-	-	7件	8件	9件	10件
			3件	2件	7件	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	9,883		10,825		12,000	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	-	9,883		10,825		12,000	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	9,883		10,825		12,000	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効率的な運営や、経費の節減をすることが課題である。 ・ アフターコロナにおけるPR事業方法を工夫する必要がある。 							
改善点	茶業振興協会のホームページをECサイトへ繋ぐリニューアルをしたため、今後はこれを活用した「稼ぐ農業」を目指したデジタル施策を展開していく。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	蓬萊橋上部工架替事業					区分	継続	
所属	産業経済部 農林整備課					会計	一般	
決算額（円）	18,480,000円	款項目	6	1	5	決算書頁	142	
総合計画	施策の柱	3-4	地域の特色を活かした農林業を進める（農業・林業）					
	施策と内容	3	農林業生産基盤の整備を推進します					
事業の目的	経年劣化に伴う橋梁架替えを実施し、渡橋者の安全を確保する。				対象者 (ターゲット)	農業生産者等渡橋者		
前年度の課題に対する取組	径間箇所により、腐食状況や瀬替え等の要因で、各年度の工事費が増額となるケースが多いため、工法や施工時期等関係機関と協議し、事業費の調整を図る。							
実施結果	蓬萊橋の経年劣化に伴う上部工の架替工事を実施するため、令和4年度は計画通り2径間実施した。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	工事進捗率	A	27%	33%	40%	52%	65%	81%
			27%	33%	40%	/	/	/
成果指標	蓬萊農道における事故発生件数	A	0件	0件	0件	0件	0件	0件
			0件	0件	0件	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		288,188	18,150		18,480		34,980	
節別内訳	工事請負費	288,188	18,150		18,480		34,980	
	その他							
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	101,929	6,050		6,160		11,660	
	地方債							
	その他							
	一般財源	186,259	12,100		12,320		23,320	
課題	計画通りの進捗で、大きな課題は発生していない。							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業負担金					区分	継続	
所属	産業経済部 農林整備課					会計	一般	
決算額（円）	19,975,000円	款項目	6	1	5	決算書頁	142	
総合計画	施策の柱	3-4	地域の特色を活かした農林業を進める（農業・林業）					
	施策と内容	2	農地を集積・集約し、生産体制を強化します					
事業の目的	基盤整備事業を実施し、担い手への農地集積を図る。				対象者 (ターゲット)	農業生産者		
前年度の課題に対する取組	基盤整備事業は、関係者全員の同意が前提となる。事業期間中の収入減等、どの地区も同様に課題が多くあることから、早期基盤整備実現に向け、地元関係者及び静岡県他関係機関との調整を図る。							
実施結果	県営事業である切山地区、諏訪原地区、落合地区において、県、市、地元等関係機関と調整を図りながら、換地計画原案作成及び詳細設計が概ね計画通り実施された。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	総事業費に対する事業進捗率	B	2%	5%	23%	34%	49%	64%
			1%	2%	22%	/	/	/
成果指標	農地中間管理機構関を利用した担い手への農地集積面積	A	0ha	0ha	0ha	0ha	0ha	0ha
			0ha	0ha	0ha	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		163,990	10,575		19,975		20,500	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	163,990	10,575		19,975		20,500	
	その他							
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	163,990	10,575		19,975		20,500	
課題	地元関係者との調整や詳細設計業務等、各地区で差が出ており、当初スケジュールとの遅延が出始めている。							
改善点	今後の工事スケジュール及び事業費にも影響するため、改めて県、地元との協議が必要である。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	森林施業補助事業					区分	継続	
所属	産業経済部 農林整備課					会計	一般	
決算額（円）	16,204,500円	款項目	6	2	2	決算書頁	144	
総合計画	施策の柱	3-4	地域の特色を活かした農林業を進める（農業・林業）					
	施策と内容	3	農林業生産基盤の整備を推進します					
事業の目的	森林の持つ公益的機能の維持・増進及び林業振興				対象者 (ターゲット)	市民及び林業経営体		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐や林内作業道整備を進め、林業の振興を図り、森林の持つ公益的機能を回復させることを目的とし、林業経営体等に対し補助を行う。 ・コストの問題から間伐材の利用が進まない現状にあることから、間伐材搬出に対して補助を行い、間伐材の搬出による林業の振興を図る。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・当該補助事業を活用し、林業として採算の見込める森林について間伐を実施することができた。 ・昨年度と同等の事業量となったが、ウッドショック等により木材需要が一時的に高まったことにより、林業経営体の事業が皆伐にシフトしたことから、事業量は予算規模に対し低迷した。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	補助金交付額 ※予算ベース	C	23,999千円	23,999千円	23,667千円	23,579千円	24,000千円	24,000千円
			13,275千円	15,691千円	16,205千円	/	/	/
成果指標	森林整備面積 ※予算ベース	C	147ha	156ha	147ha	139ha	179ha	189ha
			90ha	78ha	75.45ha	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	15,691		16,205		23,579	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	-	15,691		16,205		23,579	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-			716		1,288	
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	15,691		15,489		22,291	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・木材利用の低迷、後継者・労働力不足により森林の整備が停滞し、森林施業意欲や森林の持つ公益的機能が低下している。現在は、森林経営計画制度による所有者の集約化および高性能林業機械による効率的な施業を進めているが、地区によっては、採算が取れず、事業を進めることができない箇所も存在する。 ・脱炭素化社会の実現や、SDGsの様々な目標の達成に寄与するために「伐って、使って、植える」という形で森林資源を循環利用することが、全国的に求められるようになってきたが、昨今のシカ等による新植造林地の食害や木材需要の低迷から、皆伐が行われた後の再生林が進まない現状にあり、これに向けての対応策が必要と思われる。 							
改善点	<p>国・県の施策が、『保育』から『利用』に方針転換され、森林法の改正、森林計画制度の見直し、林業補助事業の再構築、さらには森林環境税及び譲与税の導入といったように、森林・林業事業の転換期を迎えているといえる。今後の方策として、これまで同様の補助事業の実施のみならず、森林が持つ公益的機能のさらなる発揮や、林業の持続可能な産業としての維持を図るため、全国の先進事例の研究を行い、再生林の補助制度の創設を検討していく。</p>							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	地域木材利用促進事業					区分	継続	
所属	産業経済部 農林整備課					会計	一般	
決算額（円）	18,304,610円	款項目	6	2	2	決算書頁	144	
総合計画	施策の柱	4-2	みどり豊かな自然を守り育む（森林環境・農地保全・緑化活動）					
	施策と内容	2	農地や森林が持つ多様な効果を守り、活かします					
事業の目的	森林の持つ公益的機能の維持・増進及び林業振興				対象者 (ターゲット)	市民及び林業経営体		
前年度の課題に対する取組	高齢化や後継者不足による林業事業者の減少など、林業を取り巻く環境は厳しさを増す中、林業生産活動は停滞し森林の荒廃が進んでいる。こうしたことから、適正な森林管理や森林所有者の意識向上、木材利用の促進が求められており、地域の森林整備を促進させるために、地域木材の需要拡大に繋がる補助事業を実施する。							
実施結果	前年度と同等の事業量を実施し、大井川流域産材の利活用を促進することができた。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	補助金交付件数	B	50件	50件	50件	50件	50件	50件
			41件	45件	44件	/	/	/
成果指標	大井川流域産材使用量	B	720㎡	720㎡	700㎡	700㎡	700㎡	700㎡
			588㎡	623㎡	663㎡	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	21,653		18,305		25,291	
節別内訳	役員費	-	19		19		16	
	委託料	-	214		186		275	
	負担金、補助及び交付金	-	21,420		18,100		25,000	
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	21,653		18,305		25,291	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・木材利用の低迷、後継者・労働力不足により森林の整備が停滞し、森林施業意欲や森林の持つ公益的機能が低下している。 ・脱炭素化社会の実現や、SDGsの様々な目標の達成に寄与するために「伐って、使って、植える」という形で森林資源を循環利用することが、全国的に求められるようになってきたこともあり、地域木材の利活用を促進させることで、森林・林業政策の活性化に繋げる必要がある。 							
改善点	地域木材の利活用を促進させるとともに、木材の利活用による多面的効果の維持増進についての普及を行う必要がある。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	森林環境整備促進事業					区分	継続	
所属	産業経済部 農林整備課					会計	一般	
決算額（円）	14,393,500円	款項目	6	2	2	決算書頁	144	
総合計画	施策の柱	4-2	みどり豊かな自然を守り育む（森林環境・農地保全・緑化活動）					
	施策と内容	2	農地や森林が持つ多様な効果を守り、活かします					
事業の目的	森林の持つ公益的機能の維持・増進及び林業振興				対象者 (ターゲット)	市民及び林業経営体		
前年度の課題に対する取組	当事業の財源である森林環境譲与税は、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用に充てることと規定があるが、それ以外の規定はなく、細かな用途については市の裁量によるものとされるため、県や森林整備アドバイザー、林業経営体といった関係団体と密に連携を取りながら事業を展開する。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境譲与税を活用し、林業として採算の見込めない森林について間伐を実施することができた。 ・昨年度と同等の事業量となったが、ウッドショック等により木材需要が一時的に高まったことにより、林業経営体の事業が皆伐にシフトしたことから、事業量は予算規模に対し低迷した。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	補助金交付額 (森林環境譲与税分) ※予算ベース	C	3,706千円	27,000千円	27,000千円	33,000千円	34,000千円	34,000千円
			6,348千円	9,461千円	14,014千円	/	/	/
成果指標	森林整備面積 (森林環境譲与税分) ※予算ベース	C	27.88ha	33.75ha	33.75ha	41ha	41ha	41ha
			20.52ha	27.37ha	24.03ha	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	9,897		14,394		34,500	
節別内訳	委託料	-	436		380		1,500	
	負担金、補助及び交付金	-	9,461		14,014		33,000	
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	9,897		14,394		34,500	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・木材利用の低迷、後継者・労働力不足により森林の整備が停滞し、森林施業意欲や森林の持つ公益的機能が低下している。現在は、森林経営計画制度による所有者の集約化および高性能林業機械による効率的な施業を進めているが、地区によっては、採算が取れず、事業を進めることができない箇所も存在する。 ・脱炭素化社会の実現や、SDGsの様々な目標の達成に寄与するために「伐って、使って、植える」という形で森林資源を循環利用することが、全国的に求められるようになってきたが、昨今のシカ等による新植造林地の食害や木材需要の低迷から、皆伐が行われた後の再造林が進まない現状にあり、これに向けての対応策が必要と思われる。 							
改善点	<p>国・県の施策が、『保育』から『利用』に方針転換され、森林法の改正、森林計画制度の見直し、林業補助事業の再構築、さらには森林環境税及び譲与税の導入といったように、森林・林業事業の転換期を迎えているといえる。今後の方策として、これまで同様の補助事業の実施のみならず、森林が持つ公益的機能のさらなる発揮や、林業の持続可能な産業としての維持を図るため、全国の先進事例の研究を行い、再造林の補助制度の創設を検討していく。</p>							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	リノベーションまちづくり推進事業					区分	継続	
所属	産業経済部 商工課					会計	一般	
決算額（円）	5,000,000円	款項目	7	1	2	決算書頁	148	
総合計画	施策の柱	3-3	商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを生み出す（にぎわい創出）					
	施策と内容	1	中心市街地のにぎわいづくりを進めます					
事業の目的	リノベーションまちづくりを推進し、増加傾向にある空き家、空き店舗等の既存ストックの活用を図りながら、中心市街地のポテンシャルを活かしたエリア再生を目的とする。				対象者 (ターゲット)	建物所有者、事業者、居住希望者		
前年度の課題に対する取組	<p>・区画整理事業エリア以外の本通六・七丁目では、人口減少・少子高齢化の進展や社会経済状況の変化を受けて、空き家や空き地、駐車場が目立っている。こうしたことから当該エリアの再生と活性化に向け、令和2年度からソフト事業となる、リノベーションまちづくり推進事業を展開、令和3年度からは講演会や実践ワークショップを中心に実施している。</p> <p>・「実践ワークショップを経て、空き家活用への気運は盛り上がったが、結局実現に至らなかった」ことが令和3年度の課題であった。これを受け令和4年度は、不動産業界、金融機関といった関係者への理解促進に向けた講習会の開催のほか、実践ワークショップ関係者のフォローを重点に掲げ事業を進めていく予定である。</p> <p>・ハード事業となる遊休不動産リノベーション応援事業補助金を積極的に展開し、ソフト・ハード両輪によるリノベーション関連事業を進め、まちのにぎわい創出につなげていきたい。</p>							
実施結果	空き家・空き店舗等の活用対象数：5件							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	空き家・空き店舗等の活用対象数	A	2件	3件	5件	5件	5件	-
			4件	1件	5件	/	/	/
成果指標	居住人口（社会増） ※活用対象数×2.6人（中活計画より）	A	5人	8人	13人	13人	13人	-
			10人	3人	13人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		28,540	8,012		5,000		5,066	
節別内訳	旅費	33					33	
	需用費	39	12				23	
	委託料	28,400	8,000		5,000		5,000	
	使用料及び賃借料	68					10	
	その他							
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	28,540	8,012		5,000		5,066	
課題	<p>・市民、事業者等におけるリノベーションまちづくりに対する理解が進んでいない。</p> <p>・リノベーションにかかる初期投資費用の確保・リスク負担により事業者が途中で撤退するなど、事業化が難しい。</p>							
改善点	市及び委託先であるらいおん建築事務所のホームページや空き家紹介サイト等により、リノベーションまちづくり事業の広報を行う。また、紹介する物件に興味を持った方を対象に物件見学会を行う。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	産業支援センター運営事業					区分	継続	
所属	産業経済部 商工課					会計	一般	
決算額（円）	4,027,589円	款項目	7	1	2	決算書頁	148	
総合計画	施策の柱	3-1	地域で働く人を増やし、地域経済を発展させる（人材確保）					
	施策と内容	1	活躍する人を育て、応援します					
事業の目的	島田市産業支援センター「おびサポ」を拠点として、中小企業の経営改善や販路開拓を支援するとともに、市内での創業を推進する。				対象者 (ターゲット)	市内の中小企業・小規模企業、起業希望者		
前年度の課題に対する取組	新型コロナウイルス感染拡大の影響により個別相談会やセミナーが延期や中止となったことから、本年度は積極的にオンライン等を活用して、個別相談会やセミナーを開催する。							
実施結果	中小企業や起業希望者の課題解決、スキルアップを支援するため、相談業務のほか、セミナーや交流会を実施した。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	・相談件数 ・セミナー参加者数	B	1,000件 800人	1,000件 800人	1,000件 800人	1,000件 800人	1,000件 800人	1,000件 800人
			1,119件 433人	1,015件 314人	1,070件 493人	/	/	/
成果指標	・相談満足度：非常に良かった ・セミナー満足度：とても良かった	B	82% 65%	80%以上 65%	80%以上 65%	80%以上 65%	80%以上 65%	80%以上 65%
			87% 60%	93% 50%	89.7% 56.6%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		20,803	3,611		4,028		4,388	
節別内訳	報償費	4,633	590		875		1,056	
	需用費	768	125		241		134	
	委託料	1,116	213		216		229	
	使用料及び賃借料	12,505	2,488		2,514		2,501	
	その他	1,781	195		182		468	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	20,803	3,611		4,028		4,388	
課題	相談業務の相談件数と満足度は目標値を上回ったが、セミナーの参加者数と満足度は目標値を下回った。セミナーの受講者が求めるものは多種多様であり、個人差が大きいため、満足度に差異が出てしまう。							
改善点	受講者の背景や目的に合わせたセミナー内容やアプローチが必要であり、アンケート調査やアフターフォローで受講者の声を集め、改善点を把握して、より良いセミナーを開催していく。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	島田市創業補助金					区分	継続	
所属	産業経済部 商工課					会計	一般	
決算額（円）	3,977,000円	款項目	7	1	2	決算書頁	148	
総合計画	施策の柱	3-1	地域で働く人を増やし、地域経済を発展させる（人材確保）					
	施策と内容	1	活躍する人を育て、応援します					
事業の目的	創業者を増やすことにより地域経済を活性化させるため、新たに起業するやる気のある個人を補助金により支援する。				対象者 (ターゲット)	市内で開業を検討している人		
前年度の課題に対する取組	創業を目指す人は多いが、資金に対する支援が不十分で断念するケースがあるため、十分な補助制度の予算の確保が必要である。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で創業した人に対し、補助金を交付した。 対象経費：創業に要する経費（事務費・人材養成費・設備費・広報費など） 補助率：2/3 補助額：上限40万円（中心市街地域で新たに創業する場合は上限50万円） ・令和4年度は、市内で創業した12人に対し、補助金を交付した。（交付額：3,977千円） 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	補助金交付件数（累計）	B	36件	54件	74件	94件	114件	134件
			34件	52件	64件	/	/	/
成果指標	事業継続率 ※継続店舗数/開業件数 （累計）	A	100%	100%	100%	100%	100%	100%
			100%	100%	100%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		25,966	7,589		3,977		4,800	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	25,966	7,589		3,977		4,800	
	その他							
財源内訳	国庫支出金	4,000	4,000					
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	21,966	3,589		3,977		4,800	
課題	補助金の交付件数が目標値を下回った。創業者は、資金調達以外に事業計画や各種手続き、販路開拓など、様々な不安を抱えているため、包括的かつ専門的な支援のほか、継続的なフォローアップが必要である。							
改善点	創業者への補助金を効果的に活用するとともに、創業者に対してきめ細やかな伴走支援を行うため、産業支援センターが静岡県よろず支援拠点等の支援機関と連携を図り、各種専門家により診断・助言を行う。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	ビジネスニーズ参入支援事業補助金					区分	継続	
所属	産業経済部 商工課					会計	一般	
決算額（円）	5,000,000円	款項目	7	1	2	決算書頁	148	
総合計画	施策の柱	3-2	世界に誇れる技術を持った中小企業を育てる（中小企業支援）					
	施策と内容	1	中小企業の「稼ぐ」を応援します					
事業の目的	社会経済情勢の中で変化するビジネスニーズに対応し、新たな事業展開等を行うことで経営基盤の強化及び新産業の創出を図る中小企業者等を支援する。				対象者 (ターゲット)	新たな事業展開を行う事業者		
前年度の課題に対する取組	制度の周知を図った結果として、申請額が予算額に達し、多くの事業者に活用いただいた。一方、補助対象事業の範囲が多岐に渡るため、内容審査に時間を要する点は課題として認識している。こうしたことから、判断の公平性を保つことができるよう相談を受けた個別の事案を記録に残すことで、マニュアル化に努めている。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ、産業関連補助金説明会、経済団体への周知等により情報を展開した。 ・運用初年度（令和3年度）の好評もあったためか、事業者本人からだけでなく、経済団体、金融機関からも問い合わせがあるなど、一定程度情報は浸透している。 ・補助金交付実績 交付件数：12件（新事業参入7件、業態転換4件、デジタルシフト1件） 補助金額：5,000,000円 （新事業参入2,889,000円、業態転換1,770,000円、デジタルシフト341,000円） 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	補助金交付件数	A	-	6件	10件	10件	10件	10件
			-	7件	12件	/	/	/
成果指標	補助対象事業継続率 継続事業数／補助対象者数 (累計)	A	-	100%	100%	100%	100%	100%
			-	100%	100%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		22,876	2,876		5,000		5,000	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	22,876	2,876		5,000		5,000	
	その他							
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	22,876	2,876		5,000		5,000	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用希望者が多く、申請受付を年度途中で終了した。 ・重点分野事業に当たる事業（補助率の優遇）の申請は、過去2年間で1件にとどまった。 ・補助対象事業の範囲が多岐に渡り、該当するかの判断に時間を要する。引き続き、判断の公平性を保つことが必要である。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度より補助上限額を50万円から40万円に減額し、より多くの方を支援できるよう要綱を改正する。 ・令和5年度より重点分野事業の場合の補助率優遇を廃止し、よりシンプルでわかりやすくなるよう要綱を改正する。 ・内容審査を迅速かつ公平にしていいため、今後の判断基準となるように引き続き、相談案件を記録していく。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	企業立地促進事業費補助金					区分	継続	
所属	産業経済部 内陸フロンティア推進課					会計	一般	
決算額（円）	0円	款項目	7	1	3	決算書頁	/	
総合計画	施策の柱	3-2	世界に誇れる技術を持った中小企業を育てる（中小企業支援）					
	施策と内容	3	地域に元気をもたらす地域産業を創出します					
事業の目的	企業立地に伴う雇用創出及び地域経済の発展				対象者 (ターゲット)	市内に立地を希望（予定）し、適用要件に該当する企業		
前年度の課題に対する取組	新型コロナウイルス感染拡大の影響によるサプライチェーンの遅延や半導体不足により、建設資材の納期遅延や設備機器の調達に難しい状況となっており、工場建設に期間を要しているため、補助金交付時期の延長など企業の要望を可能な限り対応して立地に繋げられるよう努めている。							
実施結果	予定されていた3件の補助金申請が0件となった。2件は、コロナ禍や世界情勢の影響により、建設資材の調達や設備機器の納入に不測の期間を要し、申請が令和4年度に間に合わず令和5年度に延期となった。1件は、雇用人数が補助要件を満たすことができず申請を取り下げた。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	補助金交付件数	C	1件	3件	3件	5件	2件	9件
			0件	1件	0件	/	/	/
成果指標	新規雇用者数	C	1人	6人	6人	32人	12人	36人
			0人	2人	0人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	188,529				502,969	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	-	188,529				502,969	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-	94,264				251,483	
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	94,265				251,486	
課題	コロナ禍や世界情勢の影響により、建設資材の調達や設備機器の納入に不測の期間を要し、工場建設が遅延している。							
改善点	補助金申請予定の企業と連絡を密にし、補助金交付時期の延長など企業の要望を可能な限り対応して立地に繋げられるよう努める。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	蓬萊橋周辺整備事業					区分	継続	
所属	観光文化部 観光課					会計	一般	
決算額（円）	2,701,800円	款項目	7	1	4	決算書頁	150	
総合計画	施策の柱	3-5	地域の魅力を活かした観光振興を図る（観光）					
	施策と内容	3	蓬萊橋周辺の整備を進め、訪れる人の満足度を高めます					
事業の目的	かわまちづくり計画に基づいた蓬萊橋周辺整備によって、観光拠点としての憩いと賑わいの場を創出する。				対象者 (ターゲット)	観光客		
前年度の課題に対する取組	なし							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・大井川宝来地区かわまちづくり計画（平成29年度から令和3年度まで）に基づき、蓬萊橋左岸側の整備を完了し、令和4年度に蓬萊橋897.4広場の使用を開始した。 ・蓬萊橋897.4広場オープニングセレモニー・イベントを含め、20回以上のイベント等を開催し、交流人口増や地域団体や企業等によるエリア活用の可能性が広がった。 ・市民等が広場を利用できることを周知することにより、継続した取組を促し、住民交流の拠点を構築した。 ・オープニングイベントについては、蓬萊橋の拠点性の向上と憩いと賑わいの場を創出することで、コロナ禍で落ち込んだ地域事業者等（出店数：93店）への支援や新たな連携体制の構築、蓬萊橋渡橋者数（期間中：5,988人、前年同期間比131%）、交流者数（集客数：約6,400人）の増加と認知度（期間中蓬萊橋関連市公式ホームページ閲覧数：117,208PV）の向上が図られた。 ・蓬萊橋右岸側については、関係各所との協議及び地元関係者への説明などを行い、合意形成等を図った。流出した河川道、令和4年度から8年度までの大井川右岸かわまちづくり計画に基づいた基盤整備が開始された。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	事業進捗率	A	/	/	55%	55%	70%	90%
			35%	50%	55%	/	/	/
成果指標	蓬萊橋の渡橋者数	A	/	/	110,000人	125,000人	140,000人	155,000人
			70,275人	90,768人	114,696人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		264,297	57,992		2,702		2,000	
節別内訳	委託料	31,398			2,702		2,000	
	工事請負費	232,899	57,992					
	その他							
財源内訳	国庫支出金	44,226						
	県支出金	66,100	19,300					
	地方債							
	その他	34,000	30,000		2,000		2,000	
	一般財源	119,971	8,692		702			
課題	計画どおり進捗しており、課題は発生していない。							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	島田市観光協会補助金					区分	継続	
所属	観光文化部 観光課					会計	一般	
決算額（円）	80,500,000円	款項目	7	1	4	決算書頁	150	
総合計画	施策の柱	3-5	地域の魅力を活かした観光振興を図る（観光）					
	施策と内容	1	地域資源を活用し、「稼ぐ観光」を目指します					
事業の目的	大井川流域を対象とした観光地経営を一体的に進め、地域のブランディングと観光振興を効果的・効率的に推進する。				対象者 (ターゲット)	S I T（特別な目的に絞った）旅行者		
前年度の課題に対する取組	法人化初年度となるため、組織の確立に主眼を置き、事務局を含めた組織体制の整備に取り組む。あわせて、観光地域づくりの体制整備についても議論・検討を深め、地域事業者と歩調を合わせ観光庁の登録DMO候補法人の申請を行う。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> （一社）島田市観光協会は、観光庁へDMO登録申請を行い、10月に候補DMOに登録された。 今後は、3年以内に登録DMOを目指し、引き続き観光戦略プランに基づく事業を推進しながら、大井川流域を視野に入れた観光地域づくりに主体的に取り組む。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	メディア露出件数	B	-	450件	480件	510件	540件	570件
			-	261件	377件			
成果指標	島田市認知度調査		-	21%	22%	23%	24%	25%
			-	22.66%	-			
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	65,160		80,500		83,500	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	-	65,160		80,500		83,500	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	65,160		80,500		83,500	
課題	現在候補DMOであるため、3年以内に登録DMOを目指す。しかし、島田市単独では、観光資源や魅力度の向上には限りがあり、今後大井川流域の一体的な観光振興を目指すため、川根本町との連携を進める必要がある。							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	諏訪原城跡プロモーション事業					区分	継続	
所属	観光文化部 博物館課					会計	一般	
決算額（円）	4,392,576円	款項目	7	1	4	決算書頁	152	
総合計画	施策の柱	3-5	地域の魅力を活かした観光振興を図る（観光）					
	施策と内容	2	魅力ある観光情報を効果的に発信し、交流人口を拡大します					
事業の目的	観光スポットとして全国に認知されると共に、来場者を増加させる。				対象者 (ターゲット)	お城愛好家 「お城EXPO」の参加者 御城印コレクター 一般観光客		
前年度の課題に対する取組	「牧野城」御城印の限定販売や諏訪原城フォトコンテストの開催、仮設の物見台の設置など、話題性に富んだイベントを開催し、集客に努める。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォトコンテストの開催 ・ 牧野城御城印限定販売 ・ 仮設の物見台の設置 ・ 諏訪原城応援隊イベントの実施 ・ お城エキスポ出展 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	出展回数 イベント回数	A	2回	3回	3回	3回	3回	3回
			2回	2回	4回	/	/	/
成果指標	諏訪原城跡の見学者数	A	12,000人	12,000人	13,000人	13,000人	13,000人	13,000人
			12,522人	11,252人	13,890人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		28,510	3,789		4,393		6,908	
節別内訳	報償費	110	110					
	旅費	1,600	207		223		240	
	需用費	5,800	1,134		1,098		1,347	
	委託料	18,000	1,725		2,592		4,786	
	その他	3,000	613		480		535	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	15,000	2,847		4,096		2,016	
	一般財源	13,510	942		297		4,892	
課題	諏訪原城の認知度は、HPの閲覧者数の増加傾向からも徐々に向上していると見られる。しかしながら、全国的なお城イベントなどで来場者に聞くと、未だ知らない人も多い。より全国的に認知度を高める必要がある。							
改善点	多くの方に情報発信をしていく手法として、InstagramなどのSNSの更新回数を増やしたり、YouTubeで解説動画などを配信、パンフレットの内容を最新の状態に更新するなど目新しい情報を常に発信していく。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	川越し街道賑わい創出事業					区分	継続	
所属	観光文化部 博物館課					会計	一般	
決算額（円）	458,894円	款項目	7	1	4	決算書頁	152	
総合計画	施策の柱	3-5	地域の魅力を活かした観光振興を図る（観光）					
	施策と内容	1	地域資源を活用し、「稼ぐ観光」を目指します					
事業の目的	川越し遺跡を含む川越し街道を、公民連携して観光や産業などの活用をすることで、賑わいを創出する。				対象者 (ターゲット)	市民、一般観光客		
前年度の課題に対する取組	川越し街道、各復元家屋の民間活用のための、情報発信、仕組みづくりに努める。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 島田市博物館公式Instagramを開設し、市民や民間企業の方向けに「川越し街道、各復元家屋は民間の皆様が利用してもよい」旨を周知した。また、博物館近くに事業所を構える一般社団法人しまだきものさんぽと連携し、博物館無料開放日やその他催事の際にマルシェイベントを開催して頂いた。結果として、令和4年度は計18回の川越し街道における民間活用が行われた。イベントが多かったが、中には写真撮影会場、ワークショップ会場、見学時の昼食会場等としての活用もあり、事業者のみならず市民の方々にも幅広くご利用いただけた。 ・ 本事業の計画や現状を関係課へ共有・協議する「川越し街道賑わい創出プロジェクト会議」は3回実施した。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	川越し街道を会場としたイベントの開催回数	A	1回	2回	10回	20回	20回	20回
			1回	3回	18回	/	/	/
成果指標	川越し街道の認知度	A	8.7%	9.2%	9.6%	10.0%	10.5%	11.0%
			-	-	12.0%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		28,385	9,365		459		493	
節別内訳	旅費	724	46		75		173	
	需用費	2,056	467		384		48	
	委託料	22,252	6,338					
	備品購入費	3,043	2,476					
	その他	310	38				272	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	1,083	1,083					
	一般財源	27,302	8,282		459		493	
課題	活動指標・成果指標共に目標値を達成できた。しかし、各イベントにおけるアンケート結果を分析すると、他市町からの認知度がまだまだ低く、「川越し街道」や「川越し遺跡」を周知し、認知度を高める必要がある。そのためには、近隣市町への情報発信・連携事業が肝要である。							
改善点	市内外問わず、島田市近隣の事業者・民間団体・市民の方々に、情報発信をしていく1つの手法として、「川越し街道や復元家屋をイベント会場として利用可能であること」を発信し、イベント主催者及び来場者に「川越し街道」と「川越し遺跡」をインプットしていく。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	島田大祭事業費補助金					区分	継続	
所属	観光文化部 観光課					会計	一般	
決算額（円）	36,500,000円	款項目	7	1	4	決算書頁	152	
総合計画	施策の柱	3-5	地域の魅力を活かした観光振興を図る（観光）					
	施策と内容	1	地域資源を活用し、「稼ぐ観光」を目指します					
事業の目的	島田大祭の開催に際し、保存振興会の活動を支援するとともに（一社）島田市観光協会と連携し、観光誘客のための効果的な情報発信を行う。					対象者 (ターゲット)	島田大祭保存振興会、島田大祭時の観光客	
前年度の課題に対する取組	なし							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者である島田大祭保存振興会を行政の立場から支援し、第110回島田大祭を開催した。新たな取組としては、観光客目線に立った特別公演の開催や島田工業高校と連携したライブ配信の実施などがあげられる。 ・（一社）島田市観光協会と連携し、各種媒体でのプロモーションを行った。結果として、目標値を上回る約25万人（主催者発表）の観光客の来訪を実現した。 ・公益財団法人するが企画観光局と連携し、本格的な来場者アンケートを初めて実施し、次回以降の誘客に向けたデータ蓄積及び分析を行った。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	プロモーション回数	A	/	/	30回	10回	15回	35回
			/	/	59回	/	/	/
成果指標	大祭観光客数	A	-	-	240,000人	-	-	300,000人
			-	-	250,000人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-			36,500			
節別内訳	負担金、補助及び交付金	-			36,500			
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-			36,500			
課題	担い手の高齢化や若者の新規参入者減少などによる参加者不足が喫緊の課題となっている。							
改善点	島田大祭は、本通を中心とした中心市街地のお祭りとしての側面が強いが、今後は島田市全体のお祭りへと意識・実態ともに変化させ、全市域から参加者を募っていくとともに、伝統を継承しつつ観光客に楽しんでもらい、地域経済に貢献する祭りとなるよう働きかける。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	橋りょう長寿命化点検事業					区分	継続	
所属	都市基盤部 すぐやる課					会計	一般	
決算額（円）	20,798,476円	款項目	8	2	1	決算書頁	154	
総合計画	施策の柱	6-2	安全で快適な生活基盤を整える（生活道路・河川・公園・上下水道）					
	施策と内容	2	河川・橋りょうを計画的に整備し、適正な維持管理に努めます					
事業の目的	「島田市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの長寿命化を計画的に進める。				対象者 (ターゲット)	道路利用者		
前年度の課題に対する取組	計画に基づいて各年度の点検橋梁数を設定しているが、国庫補助金の内示額によって多少変化するため、点検橋梁数が各年度で平準化するよう随時計画の見直しを行う。							
実施結果	市道の道路橋については、平成26年度の道路法改正により5年に1回の点検が義務化された。令和4年度は点検2巡目の4年目にあたり、目標とした点検橋梁数以上に点検することができた。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	橋梁等道路施設の点検数	A	288件	255件	219件	181件	234件	238件
			288件	255件	226件	/	/	/
成果指標	点検の進捗率	A	44.4%	60%	84.6%	100%	20%	40%
			45.9%	67.8%	87.1%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	41,335		20,798		33,528	
節別内訳	旅費	-	0		1		9	
	需用費	-	16		9		19	
	委託料	-	41,319		20,788		33,500	
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-	19,861		9,809		17,050	
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	21,474		10,990		16,478	
課題	点検対象橋梁の約8割の橋梁については、職員自ら点検を実施しているため、点検のノウハウやスキル等の継承が必要となる。							
改善点	点検のノウハウやスキル等の向上を図るため、現場研修を含めた講習会への参加が必要である。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	道路維持修繕事業						区分	継続
所属	都市基盤部 すぐやる課						会計	一般
決算額（円）	75,734,707円			款項目	8	2	2	決算書頁 154
総合計画	施策の柱	6-2		安全で快適な生活基盤を整える（生活道路・河川・公園・上下水道）				
	施策と内容	1		生活道路を計画的に整備し、適正な維持管理に努めます				
事業の目的	良好な道路環境の維持管理						対象者 (ターゲット)	市民
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民の要望に対し、迅速・適切な対応を図ることにより、市民生活の安全安心を確保する。 道路等の維持修繕や緊急を要する路面の陥没や災害等に対し、即応的な対応を図る。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> 市民（自治会）からの道路に関する要望対応率が97%とほぼ目標のとおり達成できた。 市民要望の約半数が舗装補修に関する要望であり、ほぼ100%で対応している。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	道路要望処理率	A	-	-	95%	95%	95%	95%
			99%	98%	97%	/	/	/
成果指標	道路管理瑕疵による事故 (100%過失割合の事案) 件数	A	-	-	0件	0件	0件	0件
			0件	0件	0件	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	69,650		75,735		71,691	
節別内訳	需用費	-	26,583		27,815		26,567	
	使用料及び賃借料	-	3,684		4,111		4,228	
	工事請負費	-	23,346		28,581		24,093	
	原材料費	-	13,479		12,580		13,972	
	その他	-	2,558		2,648		2,831	
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	69,650		75,735		71,691	
課題	近年の度重なる豪雨により、老朽化した舗装に穴などの破損が多くなりやすい。補修はその都度行っており、多くの作業時間を要している。							
改善点	計画的な舗装整備が必要である。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	島竹下線改良事業					区分	継続	
所属	都市基盤部 建設課					会計	一般	
決算額（円）	112,860,912円	款項目	8	2	3	決算書頁	156	
総合計画	施策の柱	6-3	地域と地域の活発な交流を支える道をつくる（幹線道路）					
	施策と内容	1	幹線道路の整備を推進します					
事業の目的	「島田市子供の移動経路に関する交通安全プログラム」に基づき、五和小学校通学路の安全を確保し、児童の交通事故の発生を抑制する。				対象者 (ターゲット)	児童		
前年度の課題に対する取組	国道473号との交差点協議が遅れているため、県に対して早期の協議完了を促していく。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得率 100% (令和4年度にて用地買収完了) ・道路改良工 令和4年度 L=149.1m 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	歩道整備の工事進捗率 (整備延長ベース)	A	16%	27%	45%	64%	82%	100%
			16%	27%	45%	/	/	/
成果指標	交通事故発生件数	A	-	-	-	-	-	0件
			-	-	-	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		1,133,777	69,885		112,861		42,700	
節別内訳	委託料	358,377	2,324		1,570		1,200	
	工事請負費	210,795	33,284		38,118		40,000	
	公有財産購入費	133,435	7,494		12,739			
	補償、補填及び賠償費	430,631	26,783		60,213		1,500	
	その他	539			221			
財源内訳	国庫支出金	580,918	34,362		59,851		19,745	
	県支出金							
	地方債	474,000	25,200		44,000		14,500	
	その他							
	一般財源	78,859	10,323		9,010		8,455	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国道473号の交差点協議が難航し、協議完了に至らなかった。 ・交付金内示が要求額を1割ほど下回ったため、十分な予算を確保できなかった。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・交差点協議の次年度内完了を目指し、県へ積極的な働きかけを行う。 ・国への要望を強化し、交付金交付率100%を目指す 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	橋りょう長寿命化修繕・耐震事業					区分	継続	
所属	都市基盤部 建設課					会計	一般	
決算額（円）	189,615,000円	款項目	8	2	5	決算書頁	158	
総合計画	施策の柱	6-2	安全で快適な生活基盤を整える（生活道路・河川・公園・上下水道）					
	施策と内容	1	生活道路を計画的に整備し、適正な維持管理に努めます					
事業の目的	市道に架かる橋りょうについて、事後保全的な対応から予防的な対応に転換し、橋りょうの長寿命化によるコスト縮減を図るため、長寿命化修繕計画に沿って修繕・耐震補強工事を実施する。				対象者 (ターゲット)	道路利用者（橋りょう）		
前年度の課題に対する取組	事業の進捗は国庫補助率に左右されるため、要望活動をより強化する。							
実施結果	修繕工事 N=9橋 (峰村浅道橋、中山橋、無名橋1、無名橋235、無名橋289、無名橋615、無名橋687、無名橋126、森岸橋)							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	長寿命化修繕計画における橋りょうの工事実施率	A	21%	35%	46%	54%	60%	65%
			21%	35%	46%	/	/	/
成果指標	長寿命化修繕計画における橋りょうの事業完了橋りょう数	A	18橋	30橋	39橋	46橋	51橋	55橋
			18橋	30橋	39橋	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		1,934,275	113,456		189,615		100,000	
節別内訳	委託料	542,261	32,879		28,985		6,000	
	工事請負費	1,392,014	80,577		160,630		94,000	
	その他							
財源内訳	国庫支出金	1,016,112	60,123		93,304		46,200	
	県支出金							
	地方債	717,263	33,000		68,600		34,000	
	その他	84,200	6,900		19,300		18,000	
	一般財源	116,700	13,433		8,411		1,800	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅西陸橋補修工事において、近接する鉄道用架線に係る鉄道管理者との協議が難航した。 ・ 交付金内示が要求額を1割ほど下回ったため、十分な予算を確保できなかった。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道管理者へのアプローチを積極的に行い、協議の早期完了を図る。 ・ 国への要望を強化し、交付金交付率100%を目指す。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	急傾斜地崩壊対策事業					区分	継続	
所属	都市基盤部 建設課					会計	一般	
決算額（円）	114,234,650円	款項目	8	3	2	決算書頁	158	
総合計画	施策の柱	1-1	ここに住むすべての人の安全な生活を守る（危機管理・防災・消防）					
	施策と内容	3	市民の安全確保を確実にする環境を整備します					
事業の目的	急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を保護するため急傾斜地崩壊対策工事を実施する。				対象者 (ターゲット)	急傾斜地崩壊危険区域並びに被害想定区域の人家		
前年度の課題に対する取組	短期間で事業効果を図るため、緊急自然災害防止対策事業債等を活用するなど、財源の確保に努める。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県事業負担金 5箇所実施 拔里山海戸地区（川根町抜里）、笹間出本地区（川根町笹間上）、東野田No.2（野田）大日堂地区（岸町）、身成川口地区（身成） ・ 県費補助事業 5箇所（3年度繰越事業1箇所含む）実施 野田旗指地区（旗指）、岸・岸町地区（岸町）、身成川口地区（身成）ばらの丘二丁目地区、ばらの丘一丁目地区 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	急傾斜地崩壊危険箇所の整備率	A	53.8%	54.5%	55.3%	56.8%	57.6%	58.3%
			53.8%	54.5%	55.3%	/	/	/
成果指標	対策工事完了による保全人家	A	-	7戸	10戸	12戸	5戸	15戸
			-	7戸	10戸	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		792,648	40,535		114,235		176,100	
節別内訳	委託料	47,849	3,320		276		18,100	
	工事請負費	634,315	24,650		95,965		140,000	
	公有財産購入費	1,129	25		69		1,000	
	負担金、補助及び交付金	106,330	12,540		16,900		15,000	
	その他	3,025			1,025		2,000	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	111,290	12,240		18,270		23,050	
	地方債	651,190	25,800		93,700		145,500	
	その他							
	一般財源	30,168	2,495		2,265		7,550	
課題	当初計画通りに事業着手し取り組んでいたが、令和4年9月の台風15号の影響により、業務が一時中断し年度内完了が見込めない事業箇所（ばらの丘二丁目、ばらの丘一丁目）があり、令和5年度事業の着手に遅れが生じることとなった。							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	都市再生整備計画策定事業					区分	新規	
所属	都市基盤部 都市政策課					会計	一般	
決算額（円）	2,618,000円	款項目	8	4	1	決算書頁	160	
総合計画	施策の柱	6-1	便利で魅力あるまちの拠点をつくる（都市計画）					
	施策と内容	1	コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを推進します					
事業の目的	「島田市立地適正化計画」で位置付けた都市機能誘導区域及び居住誘導区域内において、都市再生整備計画を策定し効率的、効果的な事業を進めることで、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを推進する。				対象者 (ターゲット)	居住誘導区域内の居住者		
前年度の課題に対する取組	令和4年4月に公表した「島田市立地適正化計画」に基づき、都市機能誘導区域内の魅力向上させるとともに、居住誘導区域内へ緩やかな居住誘導を図ることにより、都市機能誘導区域内の都市施設の維持と充実を図ることが重要である。							
実施結果	生活に必要なサービス機能を誘導する「拠点」を設け、拠点間のネットワークを形成する「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを推進するため、「都市再生整備計画島田駅周辺地区」の策定に向けた素案を作成した。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	都市再生整備計画の策定	A	-	-	素案作成	計画策定	/	/
			-	-	素案作成		/	/
成果指標	都市再生整備計画の公表	/	-	-	-	-	計画公表	/
			-	-	-	-	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		2,618			2,618			
節別内訳	委託料	2,618			2,618			
	その他							
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	2,618			2,618			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・より効果的な計画とするため、作成した素案を基に国土交通省及び静岡県と協議を行い、計画の精査・修正を経て公表していく必要がある。 ・庁内での情報共有に努め、計画の目標に沿った事業の追加等を行っていききたい。 							
改善点	計画策定に係る事業進行予定の見直しを行う。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	公園施設長寿命化対策事業					区分	継続	
所属	都市基盤部 建設課					会計	一般	
決算額（円）	36,597,000円	款項目	8	4	4	決算書頁	162	
総合計画	施策の柱	6-2	安全で快適な生活基盤を整える（生活道路・河川・公園・上下水道）					
	施策と内容	3	親しみやすい公園緑地を適切に管理運営します					
事業の目的	公園施設長寿命化計画により15公園の公園施設（遊具等）の更新を行い、施設の長寿命化を図る。				対象者 <small>（ターゲット）</small>	公園利用者		
前年度の課題に対する取組	なし							
実施結果	中央公園施設更新工 休養施設工：四阿2基 遊戯施設工：すべり台1基 管理施設工：照明灯2基							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	公園施設の整備率	B	77%	84%	93%	100%	-	-
			77%	84%	92%	/	/	/
成果指標	整備済公園数	A	8公園	8公園	11公園	15公園	-	-
			8公園	8公園	11公園	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		305,876	28,952		36,597		35,000	
節別内訳	工事請負費	305,876	28,952		36,597		35,000	
財源内訳	国庫支出金	150,000	14,000		18,000		17,000	
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	155,876	14,952		18,597		18,000	
課題	なし							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	ふじのくにフロンティア推進区域整備事業					区分	継続	
所属	産業経済部 内陸フロンティア推進課					会計	一般	
決算額（円）	382,074,727円	款項目	8	4	7	決算書頁	162	
総合計画	施策の柱	6-1	便利で魅力ある拠点をつくる（都市計画）					
	施策と内容	3	新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺地区（ふじのくにフロンティア推進区域）の開発整備を推進します					
事業の目的	新東名島田金谷IC周辺地区において「稼ぐ拠点」を創出し、税収及び人口増による持続可能なまちづくりを目指す。				対象者 (ターゲット)	立地検討事業者		
前年度の課題に対する取組	道水路等の都市基盤施設の整備を進め、企業立地環境の改善に取り組む。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス道路2号線は、物件移転まで完了し、残工事の実施は翌年度に先送りとした。 ・アクセス道路3号線は、掘削作業難航のため工事を繰越しとし、工事後の対応となる用地補償も繰越しとした。 ・環状線は、沖ノ島踏切工事委託と整備工事4件を実施し、一部を繰越しとした。 ・A-3排水路は、計画どおり令和5年度予定区間の整備を実施した。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	ふじのくにフロンティア推進区域内における都市基盤施設整備進捗率	B	44%	70%	75%	82%	89%	96%
			44%	56%	67%	/	/	/
成果指標	ふじのくにフロンティア推進区域内における造成済み企業用地面積	B	4.1ha	8ha	9ha	13ha	13.3ha	13.6ha
			4.1ha	8ha	8ha	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		3,190,668	397,759		382,075		307,109	
節別内訳	委託料	377,092	15,366		65,030		8,256	
	工事請負費	2,162,552	301,023		266,536		273,328	
	公有財産購入費	414,149	58,249		35,285		10,762	
	補償、補填及び賠償金	209,555	22,774		14,969		14,545	
	その他	27,320	347		255		218	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	15,935	54		1,766		632	
	地方債	2,796,900	369,400		359,800		283,100	
	その他							
	一般財源	377,833	28,305		20,509		23,377	
課題	概ね計画どおりだが、用地交渉の難航等により一部で若干の遅延を生じている。							
改善点	より丁寧な情報発信及び地元調整に努める。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	中古住宅活用促進事業					区分	継続	
所属	都市基盤部 建築住宅課					会計	一般	
決算額（円）	9,806,000円	款項目	8	5	3	決算書頁	164	
総合計画	施策の柱	4-4	住みよい生活環境をつくる（住宅・防犯・公共交通・交通安全・消費生活・人権・男女共同参画・多文化共生）					
	施策と内容	1	快適な居住環境の確保、安定した市営住宅の供給に努めます					
事業の目的	中古住宅の流通を促進し、特定空家の発生を防止するとともに、居住の誘導と住宅支援及び地域産業の振興推進を図るため、市内の中古住宅を購入する者に対して、奨励金を交付する。				対象者 (ターゲット)	市内に居住を検討している人		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> 活用可能な空き家の流通促進が事業の目的であるため、貸付けを受けていない中古住宅購入者も対象とし、快適な居住性を確保するための住宅改修補助を設けた。 子育て世帯への支援や立地適正化計画に基づく居住誘導施策及び市外からの移住者促進を加味した制度とするため、事業内容を見直した。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> 中古住宅購入奨励金の交付件数について、目標値を達成することができた。（予算上限） 加算件数 改修：8件、子育て：11件、居住誘導区域：9件、移住：4件 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	中古住宅購入奨励金交付件数	A	15件	18件	20件	20件	20件	20件
			7件	9件	20件	/	/	/
成果指標	市外からの移住者件数 (申請者の目標値の1/3を設定)	C	5件	6件	7件	7件	7件	7件
			2件	4件	4件	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	4,500		9,806		9,028	
節別内訳	委託料	-					28	
	負担金、補助及び交付金	-	4,500		9,806		9,000	
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	4,500		9,806		9,028	
課題	市外からの移住者数を達成することができなかった。							
改善点	住宅購入計画書を提出する必要性について検討する必要がある。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	狭あい道路拡幅整備事業					区分	継続	
所属	都市基盤部 建築住宅課					会計	一般	
決算額（円）	2,030,942円	款項目	8	5	3	決算書頁	166	
総合計画	施策の柱	6-2	安全で快適な生活基盤を整える（生活道路・河川・公園・上下水道）					
	施策と内容	1	生活道路を計画的に整備し、適正な維持管理に努めます					
事業の目的	市内の狭い生活道路（建築基準法第42条第2項に規定する道路）について、市民の理解と協力のもとに土留め壁や塀、植栽等を撤去し拡幅整備することで、良好で災害に強い市街地の形成及び生活環境の向上を図る。				対象者 (ターゲット)	狭い生活道路に面する敷地の所有者		
前年度の課題に対する取組	令和3年度から事業の対象範囲を限定し事業を開始したが、令和4年度に公表した島田市立地適正化計画の居住誘導区域（生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう居住を誘導すべき区域）と区域に乖離があること、対象範囲外からの相談が多くあったことから対象範囲の再検討を行う。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業対象区域を拡充し、立地適正化計画と整合させた。 ・ 4件、延長66.25mの道路後退部分の寄付を受け、拡幅整備を行った。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	拡幅整備事業の実施件数	B	-	5件	5件	5件	5件	5件
			-	4件	4件	/	/	/
成果指標	拡幅整備された路線の延長	B	-	79m	79m	79m	79m	79m
			-	77.53m	66.25m	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		15,519	1,597		2,031		3,297	
節別内訳	需用費	76	76					
	委託料	10,052	1,521		2,031		1,500	
	工事請負費	1,800					600	
	補償、補填及び賠償金	3,591					1,197	
	その他							
財源内訳	国庫支出金	7,759	760		1,015		1,648	
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	7,760	837		1,016		1,649	
課題	路線単位の申請では全地権者の合意を得ることが難しいため、敷地単位での申請が出来る制度とし、狭あい道路解消の一步目を踏み出しやすい事業としたが、結果的には、部分的な道路拡幅に留まり、大きな事業効果を得ることが難しい。							
改善点	過年度に本事業を実施した路線の他の地権者に対してPRを実施する等、路線単位での拡幅を目指し、事業効果を高める取組が必要である。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	消防救急広域事務委託費					区分	継続	
所属	危機管理部 危機管理課					会計	一般	
決算額（円）	1,016,851,197円	款項目	9	1	1	決算書頁	166	
総合計画	施策の柱	1-1	ここに住むすべての人の安全な生活を守る（危機管理・防災・消防）					
	施策と内容	4	広域の消防救急体制を含め、関係機関等との連携体制を充実強化します					
事業の目的	市民の安心安全を図るため、消防救急活動を行う。広域化によるスケールメリットを活かし現場要員を増強することで、消防活動に取り掛かる体制を強化する。				対象者 (ターゲット)	市民及び事業所		
前年度の課題に対する取組	消防救急広域化を継続する。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年までに、1,074件の広域化の効果が見受けられた出動があった。 ・ 災害発生時、島田市では、吉田町との境界付近において、第2～4着の隊が4～17分程度短縮し、早期に隊の増強が行われている。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	消防救急広域化の実施	A	実施	実施	実施	実施	実施	実施
			実施	実施	実施	/	/	/
成果指標	広域化の効果が見受けられた出動件数	A	100件	100件	100件	100件	100件	100件
			199件	166件	176件	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	1,071,569		1,016,851		1,061,419	
節別内訳	委託料	-	1,071,569		1,016,851		1,061,419	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-	10,919				4,370	
	地方債	-	13,900				73,300	
	その他	-						
	一般財源	-	1,046,750		1,016,851		983,749	
課題	消防救急広域化を継続する。							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	デジタル式同報系防災行政無線整備事業					区分	新規	
所属	危機管理部 危機管理課					会計	一般	
決算額（円）	109,960円	款項目	9	1	4	決算書頁	168	
総合計画	施策の柱	1-1	ここに住むすべての人の安全な生活を守る（危機管理・防災・消防）					
	施策と内容	1	危機管理体制の実効性を向上させます					
事業の目的	同報系防災行政無線の音達区及び明瞭性の向上を図る。 また、システム操作性の向上を図る。				対象者 (ターゲット)	市民		
前年度の課題に対する取組	(新規事業)							
実施結果	長崎県佐世保市は、同報系防災行政無線をデジタル60MHzシステムと280MHzシステムを併用運用しており、今後、全市域で280MHzシステムに移行する方針であることから、電波特性や高出力で電波到達範囲が広い280MHzを導入した経緯や運用等について、ヒアリング及び視察を行った。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	先進地視察による事前調査	C	-	-	2件	-	-	-
			-	-	1件	/	/	/
成果指標	市民意識調査における「地震・水害など災害に強いまちづくり」の満足度	A	35%	35%	35%	35%	35%	35%
			69.8%	43.1%	45.2%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		109			109			
節別内訳	旅費	100			100			
	需用費	3			3			
	使用料及び賃借料	6			6			
	その他							
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	109			109			
課題	設備の老朽化による管理経費増加や、屋外子局放送が聞こえにくい難聴区域への情報伝達手段の確立、戸別受信機の有効性などを含めた、新たなデジタル式同報系防災行政無線の整備方針を早急に選定する必要がある。							
改善点	島田市の地形や地質、気候などの地域特性と、大規模地震や台風、豪雨による土石流やがけ崩れ、浸水被害などの災害想定に見合った最適な防災情報伝達システムを整備するため、各種電波帯のメリット、デメリット、整備経費などを比較した資料を作成する。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	地区防災マップ整備事業					区分	継続	
所属	危機管理部 危機管理課					会計	一般	
決算額（円）	160,400円	款項目	9	1	4	決算書頁	168	
総合計画	施策の柱	1-1	ここに住むすべての人の安全な生活を守る（危機管理・防災・消防）					
	施策と内容	1	危機管理体制の実効性を向上させます					
事業の目的	地区防災マップの整備により、平常時から地震や風水害といった災害のときにどのような被害が発生しそうなのか、また危険な場所はどこに潜んでいるのかについて、地域住民と共通認識することで防災力向上を図る。				対象者 (ターゲット)	市民		
前年度の課題に対する取組	各地区での作成を促すため、補助金を活用した作成を呼び掛けていく。							
実施結果	5地区において、新規に地区防災マップを作成した。 新規作成地区：大川町、旧初、岡田、金谷泉町、谷北団地							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	地区防災マップ整備地区数	A	35地区	38地区	41地区	44地区	47地区	50地区
			35地区	37地区	42地区	/	/	/
成果指標	市民意識調査における「地震・水害など災害に強いまちづくり」の満足度	A	35%	35%	35%	35%	35%	35%
			69.8%	43.1%	45.2%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	73		160		100	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	-	73		160		100	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-	24		53		33	
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	49		107		67	
課題	防災マップ未作成の地区に対する作成の呼び掛けを継続する。							
改善点	地区における「洪水・土砂災害ハザードマップ」の活用を周知し、平常時から地震や風水害といった災害のときに、地区ではどんな被害が想定されるか、また危険な場所はどこに潜んでいるのかについて、市民個人だけでなく地区でも認識してもらうことで被害の軽減を図る。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	洪水・土砂災害ハザードマップ更新事業					区分	新規	
所属	危機管理部 危機管理課					会計	一般	
決算額（円）	8,591,000円	款項目	9	1	4	決算書頁	168	
総合計画	施策の柱	1-1	ここに住むすべての人の安全な生活を守る（危機管理・防災・消防）					
	施策と内容	3	市民の安全確保を確実にする環境を整備します					
事業の目的	市民への災害に対する情報をより有効に提供するため、ハザードマップを作成する。水防法の改正により浸水想定が想定最大規模（いわゆる千年に一度の頻度）のものとなったため、現在のハザードマップの情報を更新する。				対象者 (ターゲット)	市民		
前年度の課題に対する取組	(新規事業)							
実施結果	水防法の改正による想定最大規模の雨量により想定される洪水浸水想定区域を示す洪水ハザードマップ及び土砂災害防止法に基づく土砂災害（特別）警戒区域を示す土砂災害ハザードマップを作成した。 形式：A4冊子2部構成 部数：40,000部（北部版：2,500部、南部版：37,500部）							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	ハザードマップ作成数	A	-	-	40,000部	-	-	-
			-	-	40,000部	/	/	/
成果指標	市民への配布数	A	-	-	34,497世帯	-	-	-
			-	-	34,497世帯	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		8,591			8,591			
節別内訳	委託料	8,591			8,591			
	その他							
財源内訳	国庫支出金	4,235			4,235			
	県支出金	1,411			1,411			
	地方債							
	その他							
	一般財源	2,945			2,945			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成したハザードマップの見方や活用方法の周知が必要である。 ・ 多くの市民に地域における「水害」や「土砂災害」の危険性、避難方法などについて理解してもらい、適切な避難行動をとっていただくことで、人的被害の軽減を図る必要がある。 							
改善点	市による説明会を地区ごとに実施するとともに、必要に応じて町内会や自主防災組織などの単位によるマップの見方や活用方法について防災講座を実施する。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	外国人英語指導等経費					区分	継続	
所属	教育部 学校教育課					会計	一般	
決算額（円）	22,843,226円	款項目	10	1	3	決算書頁	170	
総合計画	施策の柱	2-3	豊かな心を育む教育を進める（義務教育）					
	施策と内容	1	子どもの成長を支える教育環境を構築します					
事業の目的	A L T（外国語指導助手）の活用により、国際理解教育・外国語教育を通して、新しい時代に対応できる人材の育成を図る。				対象者 (ターゲット)	小中学校児童・生徒		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・来日が延期されていたA L Tが令和3年12月によりやく予定通り配置された。それに伴い授業実施数が増えている。 ・A L Tと連携した授業の質を高めるために指導を行い、スキルアップを図る。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校高学年と中学校において、週1回以上A L Tを配置した授業を実施することができた。外国語や文化にふれる機会が増えたことで、児童生徒が慣れ親しむことにつながった。 ・A L Tの授業組織力等の向上を目指して、年2回の研究会を企画、実施した。研究会では実際の授業を参観し、授業をもとにした意見交換を行った。研究会での成果を各A L Tが自分の授業実践に生かし、高い割合の児童生徒が外国語の授業を楽しみながら学ぶことにつながった。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	A L Tの年間における学校訪問回数	A	-	-	小 1,000回 中 700回	小 1,000回 中 700回	小 1,000回 中 700回	小 1,000回 中 700回
			小 753回 中 551回	小 928回 中 676回	小 1,104回 中 907回	/	/	/
成果指標	A L Tによる外国語の授業が楽しい児童・生徒の割合	小B 中B	-	-	小 92% 中 88%	小 92% 中 88%	小 92% 中 88%	小 92% 中 88%
			小 90.0% 中 85.8%	小 89.7% 中 86.0%	小 91.8% 中 86.9%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	21,761		22,843		23,223	
節別内訳	旅費	-	31		331		342	
	役務費	-			6		6	
	委託料	-	19,800		21,481		21,464	
	負担金、補助及び交付金	-	1,920		1,025		1,411	
	その他	-	10					
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-	18		25		30	
	一般財源	-	21,743		22,818		23,193	
課題	A L Tと連携した授業の質をより高めるために、スキルアップを図る。							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校高学年と中学校において、週1回以上A L Tを配置した授業を継続する。 ・授業研究会を継続し、具体的な実践を通してA L Tが学ぶ機会を確保する。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	夢育・地育推進事業					区分	継続	
所属	教育部 学校教育課					会計	一般	
決算額（円）	3,844,687円	款項目	10	1	3	決算書頁	170	
総合計画	施策の柱	2-2	地域ぐるみの教育環境をつくる（学校支援・子ども支援）					
	施策と内容	2	地域の人・資源を活かした学びの場をつくります					
事業の目的	島田市の未来を担う子どもたちの夢や豊かな心を育むため、地域の特色を活かした教育活動や地域の資源、人材を活用した学校教育を推進するための研究活動を行う各学校等に対して交付金を交付する。				対象者 (ターゲット)	小中学校等、小中学校児童・生徒		
前年度の課題に対する取組	授業や行事等を支援してくれる地域人材の確保を継続し、地域の行事等に参加したことがある児童・生徒の割合を増やす。							
実施結果	市内小中学校及び教育センターが行う特色ある教育活動や地域資源を生かした活動等に対し、交付金を交付した。 交付先：市内23校及び教育センター 交付額：活動内容に応じて交付（最大227,000円）							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	地域の特色や地域人材等を活用した活動を行った学校数（教育センター含む）	A	-	-	24	24	20	20
			26	24	24	/	/	/
成果指標	地域の行事に参加したことがある児童・生徒の割合	小B 中C	-	-	小 78% 中 85%	小 78% 中 85%	小 78% 中 85%	小 78% 中 85%
			小 60.4% 中 44.7%	小 66.8% 中 59.3%	小 65.3% 中 60.0%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	3,861		3,845		5,000	
節別内訳	負担金、補助及び交付金	-	3,861		3,845		5,000	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	3,861		3,845		5,000	
課題	新型コロナウイルス感染症による事業の中止があり、当初計画より交付金の交付額が下回った。							
改善点	他校の取組の共有する仕組みを検討する。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	スクールバス運行経費					区分	継続	
所属	教育部 学校教育課					会計	一般	
決算額（円）	56,378,899円	款項目	10	1	4	決算書頁	172	
総合計画	施策の柱	2-3	豊かな心を育む教育を進める（義務教育）					
	施策と内容	1	子どもの成長を支える教育環境を構築します					
事業の目的	遠距離通学を行う児童・生徒の交通手段の確保、車両運行整備、目的外運行の委託				対象者 <small>（ターゲット）</small>	スクールバスを利用する小中学校児童・生徒		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各路線とも児童生徒の安全な通学を保障する。 ・令和6年度の北部4校の統合に向けて、スクールバス運行経路や対象者についてカリキュラム等検討委員会と情報共有しながら進めていく。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離通学を行う児童・生徒の交通手段を確保することができた。 ・目的外運行の委託によりを行ったことにより、より充実した教育内容の授業を行うことができた。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	スクールバス必要台数の確保	A	-	-	13台	12台	15台	15台
			11台	13台	13台	/	/	/
成果指標	スクールバスが原因によるトラブルにより交通手段に影響を受けた件数	A	-	-	10件	10件	10件	10件
			0件	3件	5件	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	51,966		56,379		60,414	
節別内訳	需用費	-	1,796		1,001		619	
	役務費	-	73		14		77	
	委託料	-	49,487		54,824		59,107	
	使用料及び賃借料	-	540		540		540	
	その他	-	70				71	
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	51,966		56,379		60,414	
課題	令和6年度の北部4校の統合に向けて、スクールバス運行経路を決定していく必要がある。予期せぬ事故が起きた場合の対応について検討していく必要がある。							
改善点	スクールバスの安全な運行を行うため、各バスにドライブレコーダーを設置する。（未設置車両残り4台）							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	伊太小学校屋内運動場耐震化事業					区分	継続	
所属	教育部 教育総務課					会計	一般	
決算額（円）	154,335,500円	款項目	10	2	1	決算書頁	174	
総合計画	施策の柱	2-3	豊かな心を育む教育を進める（義務教育）					
	施策と内容	5	学校施設の適切な管理運営に努めます					
事業の目的	伊太小学校の屋内運動場は、平成30年度に実施した伊太小屋内運動場耐震補強計画策定事業で施設の耐震性能を再計算したところ耐震性能が国基準を下回る結果となった。安心安全な学習環境及び地域住民の避難施設を確保するため耐震補強工事を行う。				対象者 (ターゲット)	地域住民（特に児童）		
前年度の課題に対する取組	令和3年度に実施した耐震補強工事実施設計に基づき、耐震補強工事を実施する。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・伊太小学校の屋内運動場は、耐震診断の結果構造耐震指標Is値が0.5であり、文部科学省の基準を下回り、国より高い耐震性能を求めている静岡県構造判定基準も満たしていなかった。 ・令和3年度に実施した耐震補強工事実施設計を基に、令和4年度耐震補強工事を実施した。工事完了に伴い、屋内運動場の構造耐震指標Is値が1.72、静岡県構造判定基準もランクIb（東海地震に対する耐震対策済）となり、耐震性能が高まり、学校施設としても地域の避難施設としても安全な施設となった。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	工事進捗率 (事業費ベース)	A	-	6.2%	100%	-	-	-
			2.5%	6.1%	100%	/	/	/
成果指標	県判定基準による耐震性能がランクI以上ある学校施設の割合	A	91.4%	92.6%	93.6%	100%	100%	100%
			91.4%	92.6%	93.6%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		160,331	5,995		154,336			
節別内訳	委託料	10,395	5,995		4,400			
	工事請負費	149,936			149,936			
	その他							
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	12,209	1,998		10,211			
	地方債	148,000	3,900		144,100			
	その他							
	一般財源	122	97		25			
課題	躯体の耐震化が完了したため、事業を終了する。							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	ICT支援員配置経費					区分	継続	
所属	教育部 教育総務課					会計	一般	
決算額（円）	41,329,200円	款項目	10	2 3	2	決算書頁	174 176	
総合計画	施策の柱	2-3	豊かな心を育む教育を進める（義務教育）					
	施策と内容	2	デジタル社会で活躍できる児童・生徒を育てます					
事業の目的	GIGAスクール構想に基づいて整備された1人1台端末と校内通信ネットワークを授業で有効に活用するため、ICT支援員を配置し教員のスキルアップを図る。				対象者 (ターゲット)	児童生徒		
前年度の課題に対する取組	端末納入業者とICT支援員配置業務の委託業者が異なり、現場で発生したトラブルの解消に時間を要したため、端末保守についてもICT支援員の業務に含め窓口を一本化した。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT活用アンケート調査を行い、苦手意識が高かった「ICTを活用した協働学習及び児童生徒への指導」を中心にICT支援員がフォローアップを行った結果、協働学習アプリの使用頻度が向上し、学習指導要領に沿った授業が行える体制の基盤を作ることができた。（個別操作支援件数：2,520件） ・ 1人1台端末は、市内で約8,000台が稼働中であるが、操作方法や故障に関するトラブルが発生している。ICT支援員を配置したことで、授業展開の改善に繋がったり、速やかに故障機を把握することができた。（トラブル対応件数：1,072件） 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	ICT支援員の配置人数	A	-	6人	6人	6人	5人	5人
			-	6人	6人	/	/	/
成果指標	1人1台端末を使った授業が楽しいと思う児童生徒の割合	A	-	85%	90%	90%	90%	90%
			-	92.35%	93.5%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		155,522	26,180		41,329		41,329	
節別内訳	委託料	155,522	26,180		41,329		41,329	
	その他							
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	155,522	26,180		41,329		41,329	
課題	デジタル教科書の本格導入が令和6年～令和7年度に控えているため、回線の速度向上を図るとともに、各校で検証を行うことで、使用時における課題を発見し、授業改善に繋げる必要がある。							
改善点	デジタル機器等を活用した授業をより効果的にしていくためには、学校とICT支援員との良好な関係が不可欠である。については、来年度以降も令和4年度の配置を維持し、教員が相談しやすい環境を整えていく。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	島田第一小学校改築事業					区分	継続	
所属	教育部 教育総務課					会計	一般	
決算額（円）	753,954,095円	款項目	10	2	3	決算書頁	174	
総合計画	施策の柱	2-3	豊かな心を育む教育を進める（義務教育）					
	施策と内容	6	子どもにとって望ましい学校環境づくりを推進します					
事業の目的	島田第一小学校の校舎は築46年が経過し、静岡県の耐震性能基準がランクⅡとなっている。また屋内運動場も築40年を経過しており老朽化が著しい。児童の安心安全な教育環境を確保し、令和6年度から実施予定の統合による教室数の不足を解消するために全面改築を実施する。					対象者 (ターゲット)	児童	
前年度の課題に対する取組	令和3年度に実施した校舎等改築工事实施設計に基づき、工事を実施する。 (工事期間：令和4年度～令和6年度)							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年6月の入札により業者確定し、令和4年7月から第1期工事を開始した。 校舎：6,828.68㎡（鉄筋コンクリート造3階建） 屋内運動場：1,023.40㎡（鉄骨造平屋建） 屋外倉庫：101.01㎡（鉄骨造平屋建） ・ 第1期工事進捗率は目標値である30%を超え、34%となった。 ・ 令和4年度末現在、校舎は3階床・梁の鉄筋の配筋工事、屋内運動場・屋外倉庫は基礎工事を実施中である。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	工事進捗率 (事業費ベース)	A	2.2%	5.9%	30%	85%	100%	-
			1.3%	2.9%	34%	/	/	/
成果指標	県判定基準による耐震性能がランクⅠ以上ある学校施設の割合	A	91.4%	92.6%	93.6%	100%	100%	100%
			91.4%	92.6%	93.6%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		3,155,260	50,358		753,954		1,873,725	
節別内訳	旅費	224			99		125	
	役務費	1,894			268		1,526	
	委託料	142,846	41,668		17,655		35,310	
	工事請負費	3,010,179	8,690		735,900		1,836,680	
	その他	117			32		84	
財源内訳	国庫支出金	827,464			127,823		650,116	
	県支出金							
	地方債	1,841,100	31,100		485,300		1,043,200	
	その他	395,500	10,000		100,000		160,000	
	一般財源	91,196	9,258		40,831		20,409	
課題	学校の同一敷地内では、現校舎を使い児童が学校生活を送っているため、工事で発生する騒音や児童の安全には配慮をする必要がある。また、工事車両の搬出入等近隣住民への安全を図る必要がある。							
改善点	令和5年度は学校周辺道路の整備工事が始まり、学校敷地外も工事対象となる。また、現校舎解体工事が開始され、学校敷地内の工事エリアが広がるため、周囲の安全を図りながら工事計画を立てる。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	地域学校協働本部事業					区分	継続	
所属	教育部 社会教育課					会計	一般	
決算額（円）	1,248,264円	款項目	10	5	2	決算書頁	178	
総合計画	施策の柱	2-2	地域ぐるみの教育環境をつくる（学校支援・子ども支援）					
	施策と内容	1	地域全体で学校教育を支援し、教育力の向上を図ります					
事業の目的	地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支え、学校を核とした地域づくりを目指し、地域の教育力の向上と地域の活性化を図っていく。				対象者 (ターゲット)	市内小中学生		
前年度の課題に対する取組	令和3年度までは、各中学校区に地域学校協働活動推進員（コーディネーター）を配置して事業を実施してきたが、令和4年度からは市内全小・中学校に1名以上のコーディネーターを配置する。							
実施結果	<p>市内の全小中学校にコーディネーターを配置した。コーディネーターが地域と学校の調整役となって熱心な活動を行ったことにより、学校の事業へ多くの地域ボランティアに携わっていただくことができた。</p> <p>【地域のボランティアが携わった主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休み等における学習支援 ・家庭科ミシン授業の補助 ・地域探検の案内役 ・田植え、稲刈り、もみすり体験補助 ほか 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	地域学校協働活動推進員（コーディネーター）を配置した学校数	A	7校	6校	23校	23校	19校	19校
			15校	13校	23校	/	/	/
成果指標	地域学校協働本部事業に携わったボランティアの人数	A	370人	370人	700人	800人	900人	1000人
			36人	616人	2,864人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	669		1,248		1,453	
節別内訳	報償費	-	622		1,157		1,260	
	旅費	-	1		2		3	
	役務費	-	46		79		131	
	使用料及び賃借料	-					1	
	その他	-			10		58	
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-	471		824		761	
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	198		424		692	
課題	今年度から新規でコーディネーターを配置した学校については、以前から配置していた学校と比較すると、学校側がコーディネーターに求める事業の選定に時間を要し、実活動は年度後半からになったところもあった。							
改善点	地域学校協働本部運営委員会を年2回開催し、先進的な取組をしている活動事例の報告や、コーディネーター同士の意見交換を行える場を創出する。またその情報を学校へフィードバックする。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	家庭教育各種講座開催事業					区分	継続	
所属	教育部 社会教育課					会計	一般	
決算額（円）	1,515,870円	款項目	10	5	2	決算書頁	178	
総合計画	施策の柱	2-2	地域ぐるみの教育環境をつくる（学校支援・子ども支援）					
	施策と内容	3	家庭教育を推進し、子育て学習を支援します					
事業の目的	子供の生きる力の基礎的な資質や能力を培う上で重要な役割を担う「家庭教育力」の向上を図るため、各年齢層に応じた家庭教育講座を開催する。				対象者 (ターゲット)	子育て中の親		
前年度の課題に対する取組	コロナ禍の影響により、令和2・3年度と家庭教育講演会が実施できなかったことから、今年度はWebでの配信も想定し事業を計画をしている。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を持つ親の講座…2講座開催（今から伝える金融教育、不登校の子供との関わり方） ・幼児・児童を持つ親の講座…6講座開催（子供のやる気を伸ばす「勇気づけ」の子育て（2回）、子供の好きを大切にするジェンダーフリーな子育て、わが子に伝えたい性の話、子供の自己肯定感を伸ばす子育て、スマホのある子育てを考えよう） ・親子の絆づくりプログラム（ベビープログラム…6期（全24回）開催 ・親子のふれあい講座・タケちゃん先生と親子で遊ぼう…1講座開催 ・パパとママのための絵本の広場（金谷公民館、初倉公民館）…2講座開催 ・赤ちゃんふれあい体験（島一中）…1校（全3日間）開催 ・親学講座 … 市内全17小学校で開催 ・家庭教育講演会（親子が笑顔になる言葉かけ）…1回開催 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	家庭教育講座開催回数	A	50回	50回	50回	50回	50回	50回
			46回	44回	55回	/	/	/
成果指標	家庭教育講座参加者数	A	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人
			1,343人	1,318人	2,188人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	1,181		1,516		2,317	
節別内訳	報償費	-	514		783		1,153	
	旅費	-	1		3		8	
	需用費	-	318		402		508	
	役務費	-	348		327		647	
	その他	-			1		1	
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-	128		118		74	
	地方債	-						
	その他	-					477	
	一般財源	-	1,053		1,398		1,766	
課題	これまで一度も講座等へ参加したことがない人にも参加していただけるような工夫をしなければならない。							
改善点	今後も市公式ラインやしまいくなどのSNSを活用して積極的に情報発信をするとともに、自宅等からでも講座や講演会に参加できるオンライン配信などによる開催も検討する。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	公民館運営事業					区分	継続	
所属	教育部 社会教育課					会計	一般	
決算額（円）	131,872,161円		款項目	10	5	4	決算書頁 178 180	
総合計画	施策の柱	2-4	地域で学びの力を発揮する人材を育てる（社会教育）					
	施策と内容	1	生涯学習の充実を図ります					
事業の目的	実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため。				対象者 (ターゲット)	市民、及び市外からの施設利用者		
前年度の課題に対する取組	・公民館等は、学習活動の拠点だけでなく、地域課題の解決に向けた取組、市民協働活動の展開、災害時における防災拠点機能など、地域の拠点、交流施設としての役割を検討していく必要がある。 ・今年度は、教育委員会の諮問事項「島田市における公民館の今後の在り方について」を、社会教育委員の会議で協議することとしている。							
実施結果	・金谷公民館の施設運営において令和5年度から指定管理者制度を導入することから令和4年度に施設の大規模改修工事を行った。 ・コロナ禍の中で引き続き主催事業（講座など）に感染防止対策を取り入れた形で実施するとともに、貸館利用者にも感染防止対策への協力を依頼し管理運営を行っており、施設の利用状況及び主催事業の参加者は、前年度に比べ増加している。 ・施設は貸館や講座開催等の学習活動の拠点だけでなく、市民協働事業の展開など、防災機能も含めた地域と行政の交流拠点施設としての機能強化が図られている。（例）はつくら寺子屋の実施、湯日の子ども達を見守る会の活動、福祉課所管学習サポート事業などが行われた。 ・施設利用状況（8施設） 利用件数：10,414件（前年度比 1,131件増） 利用者数：148,777人（前年度比 1,660人増）							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
活動指標	公民館等講座開催回数	A	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			1,183回	820回	776回	850回	935回	1,000回
成果指標	公民館等講座参加延人数	A	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			630回	743回	824回			
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	76,034		131,872		70,804	
節別内訳	委託料	-	35,177		36,818		33,981	
	需要費	-	19,761		22,934		21,586	
	工事請負費	-	6,402		62,612		6,735	
	報償費	-	2,610		2,866		2,720	
	その他	-	12,084		6,642		5,782	
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-			2,860			
	一般財源	-	76,034		129,012		70,804	
課題	・施設利用者（講座参加者、自主グループなど）は、女性、特に高齢女性が多く、固定化の傾向がある。 ・施設の老朽化が進み、設備の取替や修繕が必要となり多額の修繕費用が必要なケースが発生している。雨漏りの発生や空調機器の故障などに突発的に対応しなければならない事案に苦慮している。							
改善点	・男女問わず参加できるような講座の実施や周知方法の改善拡大、講座内容の変更等対策を行っていききたい。今年度も託児付きの講座を開催して若い女性に参加してもらいやすい体制を取るとともに、市と業務提携している明治安田生命(株)健康等の講座を利用するなど、今後も講座の新陳代謝を図っていききたい。 ・各施設長と社会教育課で情報共有を図り、実施計画と予算要求を通して計画的に修繕予算額の確保に取り組んでいく。また、屋根や外壁の張り替えが必要な施設では、今後の施設のあり方についての検討を進め、修繕箇所の見える化、施設の現状及び利用者への影響等を考慮した修繕着手の優先順位付けを明確にしていききたい。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	図書館サービス充実事業					区分	継続	
所属	教育部 図書館課					会計	一般	
決算額（円）	87,478,052円	款項目	10	5	5	決算書頁	180	
総合計画	施策の柱	2-4	地域で学びの力を発揮する人材を育てる（社会教育）					
	施策と内容	3	図書館機能を充実させ読書活動を支援します					
事業の目的	身近で親しみがあり、地域や住民にとって役に立つ図書館を目指す。				対象者 (ターゲット)	全市民		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズにあった選書を行い、コロナ禍において、図書館での滞在時間が短くて済むよう、家に居ながら選書やインターネット予約ができる図書館システムの機能を広く周知する。 ・特集展示等を行い、図書館利用の増加を目指す。 ・市内の業者に対し積極的にPRを行い、新規雑誌スポンサーを獲得し、雑誌数を維持する。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域館の貸出人数：7,396人、貸出点数：29,861点 ・購入した資料点数：9,621点、貸出率：90.3% ・イベント・図書館講座等の開催回数：17回、参加人数：297人 ・雑誌スポンサー：59社、提供雑誌数：91誌 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	貸出人数	B	176,000人	170,000人	163,000人	170,400人	170,400人	170,400人
			148,035人	163,009人	144,576人	/	/	/
成果指標	個人への貸出点数	B	580,000点	555,000点	530,000点	570,000点	570,000点	570,000点
			485,540点	524,884点	491,913点	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	81,956		87,478		96,403	
節別内訳	需用費	-	14,760		17,385		28,909	
	委託料	-	26,912		27,882		29,598	
	使用料及び賃借料	-	14,362		14,475		14,485	
	備品購入費	-	18,874		17,245		16,164	
	その他	-	7,048		10,491		7,247	
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-	4,597		4,994		8,430	
	一般財源	-	77,359		82,484		87,973	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンやスマートフォン等の普及により、書籍に頼らなくても情報の取得が容易になった上、ゲームや動画を視聴する時間が多くなり、本に触れる時間が減少傾向にある。 ・島田図書館は、無料駐車場がなくなり、金谷図書館においても、金谷地区生活交流拠点施設完成後の駐車場の利用が不透明であり、車で来られる利用者の駐車場の確保が急務である。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対し、地域館の利用や図書館システムの機能を周知し、利便性の向上を図る。 ・講座やイベントを開催し、図書館利用のきっかけづくりに努める。 ・島田図書館においては、駐車場サービス券配布のPRを積極的に行い、金谷図書館においては、利用者駐車場の確保に努める。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	読書活動推進事業					区分	継続	
所属	教育部 図書館課					会計	一般	
決算額（円）	3,730,031円	款項目	10	5	5	決算書頁	180	
総合計画	施策の柱	2-4	地域で学びの力を発揮する人材を育てる（社会教育）					
	施策と内容	3	図書館機能を充実させ読書活動を支援します					
事業の目的	「本に出会い」「本に親しみ」「本を生かす」機会を提供し、豊かな心の醸成を図る。				対象者 (ターゲット)	全市民		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に本離れが加速する中、乳幼児期より本に親しむよう、おはなし会をはじめ各種イベントや講座を開催し、紙の本を読むことのあたたかさや、資料の正確性など本のすばらしさを伝えていくことで図書館の利用を促進し、市民の読書活動を推進する。 ・ボランティアを育成することを目的に、さまざまな講座を実施する。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし宅配便・おはなしギフト実施回数：61回、参加人数：1,768人 ・読書通帳交付冊数：549冊 ・学校施設見学等参加人数：1,092人 ・学校への団体貸出冊数：2,009冊 ・イベントの開催（ほんのむしカード、ぬいぐるみの図書館おとまり会、図書館福袋・おみくじ等） ・図書館ボランティア講座開催回数：3回 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	おはなし会の開催回数	B	123回	123回	133回	132回	132回	132回
			111回	95回	132回	/	/	/
成果指標	おはなし会への参加人数	A	2,000人	1,500人	1,500人	1,850人	2,000人	2,000人
			1,328人	1,378人	1,576人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	4,258		3,730		3,696	
節別内訳	需用費	-	943		902		1,081	
	委託料	-	506		503		462	
	使用料及び賃借料	-	1,257		874		626	
	備品購入費	-	1,328		1,262		1,262	
	その他	-	224		189		265	
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-	24		21		12	
	一般財源	-	4,234		3,709		3,684	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本離れが加速し、中でも中高校生を中心に若い世代の読書離れが深刻となっている。 ・学校への団体貸出について、教員への負担が大きいことから、貸出本の運搬方法の見直しが必要である。 ・おはなしグループの高齢化や人数の減少が課題となっている。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の情報を伝えるため、図書館のフェイスブックや島田市公式LINE等を活用し、イベントや講座等への申込みについては、電子申請を利用することにより若年層の利用促進に繋げていく。 ・学校団体貸出の運搬方法について、学校使送委託業務の次回契約更新時前までに協議し、改善を図る。 ・読み聞かせボランティア講座を開催し、ボランティアの育成に努める。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	博物館本館展示経費					区分	継続	
所属	観光文化部 博物館課					会計	一般	
決算額（円）	8,115,669円	款項目	10	5	6	決算書頁	182	
総合計画	施策の柱	5-1	培われた歴史・文化で地域への理解と愛着を深める（歴史・文化）					
	施策と内容	2	歴史に触れる機会を創出します					
事業の目的	博物館法の目的に基づき、市民に学習機会を提供するとともに文化全般に対する理解及び意識の向上を図るため、各種資料等の収集、保管、調査研究、展示を行う。				対象者 (ターゲット)	市民、一般観光客		
前年度の課題に対する取組	博物館として使命と役割を果たしつつ、市民のニーズに応じた内容の展示や、タイムリーな内容の展示を行い、観覧者の増加を図る。							
実施結果	<p>企画展3回、収蔵品展1回を開催したほか、臨時開催となった特別公開「源頼朝公像」展を実施した。年間来館者数実績は17,752人。このほか、年間を通じ講座等を開催した。</p> <p>収蔵品展「いまだけ ここだけ くびったけ 推しのお宝大公開!？」3,796人（76日間） 第88回企画展「豪華絢爛 島田大祭—継承される 威厳と伝統—」2,147人（44日間） 第89回企画展「日和ってる奴らは渡れない！カワゴシチャレンジャーズ」3,908人（80日間） 第90回企画展「たゆたう刃文 きらめく沸（にえ）」4,281人（56日間）</p>							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	収蔵品展及び企画展開催数	A	4回	4回	4回	4回	4回	4回
			4回	4回	4回	/	/	/
成果指標	博物館本館来館者数	C	30,000人	30,000人	30,000人	30,000人	30,000人	30,000人
			12,900人	16,549人	17,752人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	5,554		8,116		8,290	
節別内訳	報償費	-	1,787		2,010		2,522	
	需用費	-	1,649		1,951		3,087	
	役務費	-	190		300		433	
	委託料	-	1,800		3,596		1,857	
	その他	-	128		259		391	
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	5,554		8,116		8,290	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者数が目標値を下回った。新型コロナウイルス感染症の影響前の平成30年度の実績（年間26,108人）に及ばず、コロナ禍の影響が大きい。 ・企画展開催に関して展望はあるが、具体的な長期的計画が策定されていない。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的で柔軟な対応ができる計画の立案。 ・市民の需要を把握する。 ・常設展示施設の改修により、川越遺跡の町並みと一体とするなど、新たな魅力を創出し、観覧者数の増を目指す。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	博物館分館展示経費					区分	継続	
所属	観光文化部 博物館課					会計	一般	
決算額（円）	640,677円	款項目	10	5	6	決算書頁	182	
総合計画	施策の柱	5-1	培われた歴史・文化で地域への理解と愛着を深める（歴史・文化）					
	施策と内容	2	歴史に触れる機会を創出します					
事業の目的	博物館法の目的に基づき、市民に学習機会を提供するとともに美術作品や民俗資料に対する理解及び意識の向上を図る。				対象者 (ターゲット)	市民、一般観光客		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートなどを通じて館内外の意見を積極的に取り入れ、収藏品展の充実を図る。 ・学芸員のギャラリートークを行い、来館者との交流の機会を増やす。 ・民俗資料を使った体験学習の機会を増やす。 							
実施結果	<p>収藏品展4回を開催した。年間来館者数実績は11,495人。このほか、旧桜井邸を活用した民俗資料の展示などを実施した。</p> <p>収藏品展「海野光弘 木に触れる一版木と作品」2,894人（74日間） 収藏品展「海野光弘 天と地の間に一笠のある風景」1,867人（74日間） 収藏品展「海野光弘 Who are you? 海野san!」2,922人（62日間） 収藏品展「海野光弘 遊び心 ころころ」3,579人（79日間）</p>							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	収藏品展開催数	A	4回	4回	4回	4回	4回	4回
			4回	4回	4回	/	/	/
成果指標	博物館分館来館者数	C	20,000人	20,000人	20,000人	20,000人	20,000人	20,000人
			9,039人	10,625人	11,495人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	430		641		817	
節別内訳	需用費	-	354		554		654	
	役務費	-	76		87		97	
	使用料及び賃借料	-					66	
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	430		641		817	
課題	来館者数が目標値を下回った。新型コロナウイルス感染症の影響前の平成30年度の実績（年間16,184人）に及ばず、コロナ禍の影響が大きい。							
改善点	本館や旧桜井家住宅等の分館全体を活用した企画展の開催を実施する。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	諏訪原城跡整備事業					区分	継続	
所属	観光文化部 博物館課					会計	一般	
決算額（円）	9,047,123円	款項目	10	5	7	決算書頁	182	
総合計画	施策の柱	5-1	培われた歴史・文化で地域への理解と愛着を深める（歴史・文化）					
	施策と内容	2	歴史に触れる機会を創出します					
事業の目的	諏訪原城跡の整備を行い、保護することにより、認知度・愛着度の向上を図る。				対象者 (ターゲット)	諏訪原城跡来場者		
前年度の課題に対する取組	整備の進捗状況は、国庫補助金の内示額に左右されている。内示額に沿った整備を実施している。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諏訪原城跡整備委員会を年3回開催し、整備事業や教育普及活動について指導を受けた。 ・ 二の曲輪北馬出から中馬出にかけての園路整備事業を実施した。 ・ 二の曲輪大手馬出の堀の基本設計を策定した。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	史跡整備進捗状況	A	37%	39%	40%	42%	44%	46%
			37%	39%	40%	/	/	/
成果指標	諏訪原城跡来場者数	A	12,000人	12,000人	13,000人	13,000人	13,000人	13,000人
			12,522人	11,252人	13,890人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	14,322		9,047		8,725	
節別内訳	報償費	-	197		200		252	
	旅費	-	162		194		280	
	委託料	-	2,475		4,400			
	工事請負費	-	11,275		4,125		8,170	
	その他	-	213		128		23	
財源内訳	国庫支出金	-	7,068		4,447		4,070	
	県支出金	-	1,666		1,482		1,666	
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	5,588		3,118		2,989	
課題	国庫補助金の内示額によって、整備事業の進捗状況が変わる。							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期的な整備事業を継続的に実施していくためには、諏訪原城の個別保存活用計画の策定が必要である。 ・ 見学者にも整備事業の経過を把握できるようにする。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	川越遺跡整備事業					区分	継続	
所属	観光文化部 博物館課					会計	一般	
決算額（円）	1,982,770円	款項目	10	5	7	決算書頁	182	
総合計画	施策の柱	5-1	培われた歴史・文化で地域への理解と愛着を深める（歴史・文化）					
	施策と内容	2	歴史に触れる機会を創出します					
事業の目的	川越遺跡の整備を行い、保護することにより、認知度・愛着度の向上を図る。				対象者 (ターゲット)	市民・一般観光客		
前年度の課題に対する取組	整備の進捗状況は、国庫補助金の内示額に左右されている。内示額に沿った整備を実施している。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・大井川川越遺跡整備委員会を年3回開催し、整備事業や教育普及活動について指導を受けた。 ・三番宿の耐震診断及び耐震補強計画を策定した。 ・令和5年度事業である街道舗装工事の内容と、令和6年度以降の川会所建物の移築事業について検討した。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	史跡整備進捗状況	C	25%	28%	30%	38%	40%	60%
			22.9%	23.1%	23.7%	/	/	/
成果指標	川越し街道の認知度	A	8.7%	9.2%	9.6%	10.0%	10.5%	11.0%
			-	-	12.0%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	2,134		1,983		595	
節別内訳	報償費	-	257		266		252	
	旅費	-	148		205		327	
	委託料	-	1,706		1,496			
	工事請負費	-						
	その他	-	23		16		16	
財源内訳	国庫支出金	-	1,043		1,013		199	
	県支出金	-	347		337			
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	744		633		396	
課題	<p>国庫補助金の内示額によって、整備事業の進捗状況が変わる。 ※令和5年度街道舗装事業は、建設課に50,612千円を予算計上。国庫補助金17,313千円、県補助金1,666千円。</p>							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助金の採択額に合わせた事業規模にする。 ・整備事業だけではなく、イベント開催などのソフト事業を展開していくことによって、川越遺跡の認知度・愛着度の向上を図っていく。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	芸術文化普及事業委託					区分	継続	
所属	観光文化部 文化振興課					会計	一般	
決算額（円）	5,380,100円	款項目	10	5	8	決算書頁	182	
総合計画	施策の柱	5-1	培われた歴史・文化で地域への理解と愛着を深める（歴史・文化）					
	施策と内容	3	文化や芸術に親しむ機会を充実します					
事業の目的	多くの市民が芸術文化に触れる機会を提供し、市民の文化芸術に対する関心を高め、市民文化の向上を図る。				対象者 (ターゲット)	市民		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・教育や文化芸術性、市民ニーズを考慮して事業を開催する。 ・様々な状況にある市民に芸術文化に触れる機会を提供する。 ・コロナ禍でも開催できる事業を検討する。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・宝くじまちの音楽会 会場：プラザおおるり、入場者：580人 ・島田まちかど演劇「がらいか」 会場：しまだ音楽広場、入場者：78人 ・リージョナルシアター事業（演劇体験WS 4回） 会場：プラザおおるり、入場者：延べ71人 ・ミュージカル北斎マンガ 会場：プラザおおるり、入場者：138人 ・音楽の絵本ダブルクインテッド 会場：プラザおおるり、入場者：591人 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	入場者数	A	620人	1,196人	1,340人	1,350人	1,360人	1,370人
			731人	590人	1,458人	/	/	/
成果指標	市民意識調査における「文化芸術活動への支援」に「満足」又は「やや満足」と回答した人の割合	B	-	-	30%	31.5%	33%	35%
			30.8%	28.3%	27.7%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	2,920		5,380		3,398	
節別内訳	委託料	-	2,920		5,380		3,398	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	2,920		5,380		3,398	
課題	事業により入場者数に偏りが見られた。市民ニーズや地域性を踏まえた上で、文化活動の活発化と文化水準の向上に寄与する事業を検討していく必要がある。							
改善点	過年度アンケートを参考に、文化施設の指定管理者の意見も踏まえたうえで事業計画を立てる。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	プラザおおりり施設改修事業					区分	新規	
所属	観光文化部 文化振興課					会計	一般	
決算額（円）	6,453,700円	款項目	10	5	8	決算書頁	184	
総合計画	施策の柱	7-4	公共施設を賢く持って、賢く使う（公共施設の保全・再編・利活用）					
	施策と内容	3	新庁舎の建設を推進します					
事業の目的	市役所新庁舎への執務室移転に伴い発生するプラザおおりり本館空きスペースを、市民が有効に利用できるよう改修を行う。				対象者 (ターゲット)	文化活動を行う市民		
前年度の課題に対する取組	令和6年度からの新たな利用について、関係する事業、団体等との調整を図りつつ、改修設計に取り込む。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふれあい講座」のしまだ楽習センターからの移転実施を可能とすること、eスポーツの実施を可能とすること等、施設利用者の意見等を反映して設計を行った。 ・東館の設計については、資産活用課が担当し、市民が使うフリースペース等の設計を行った。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	貸室数（ホール、楽屋、展示ホールを除く）	A	-	-	17室	17室	22室	22室
			17室	17室	17室	/	/	/
成果指標	施設利用者アンケートにおいて、施設の総合評価を「非常に満足」又は「やや満足」と回答した人の割合	B	-	-	70%	65%	68%	70%
			69.6%	65.9%	61.3%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		134,141			6,454		127,687	
節別内訳	委託料	15,118			6,454		8,664	
	工事請負費	111,050					111,050	
	備品購入費	5,930					5,930	
	補償、補填及び賠償金	2,005					2,005	
	その他	38					38	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	134,141			6,454		127,687	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・建築資材の高騰や、納入の遅れなどの情勢があり、本事業においても令和5年度の工事において設計の見直し等が必要となる可能性がある。 ・詳細な工事スケジュールが確定しておらず、貸館事業に影響がある。 							
改善点	令和5年度の工事入札をできるだけ前倒しで行い、必要な変更に対応するとともに、早急に工事スケジュールを策定し、貸館の可否について周知を行う。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	野外活動センター管理運営経費					区分	継続	
所属	教育部 社会教育課					会計	一般	
決算額（円）	13,045,213円	款項目	10	5	10	決算書頁	184	
総合計画	施策の柱	2-4	地域で学びの力を発揮する人材を育てる（社会教育）					
	施策と内容	1	生涯学習の充実を図ります					
事業の目的	自然とのふれあいを通し、利用者の健康増進及び生涯学習の推進を図るため				対象者 (ターゲット)	市民や市外からの利用者		
前年度の課題に対する取組	青少年から社会人に及ぶ生涯学習教育の場として、宿泊機能を備えた施設を安定的に管理運営する必要がある一方で、社会教育施設として有効な活用策を見出していない状況もあるため、指定管理の更新に合わせ、今後の在り方について検討を行い、指定管理を継続することとした。更新にあたっては、条例及び募集要項等の見直しを行う。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度からの3年間において、新しい指定管理者（西東石油株）を指定することになった。 ・新型コロナウイルスの感染防止対策に取り組み、管理運営を行った。利用状況として宿泊及び施設利用は、前年度と比較し増加しており回復傾向である。 宿泊総数 921件 4,596人（前年度比：177件、1,215人増） 施設利用総数 4,530件 33,025人（前年度比：609件、8,307人増）							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	山の家修繕工事費	B	2,286千円	12,100千円	2,327千円	10,977千円	-	-
			1,951千円	11,556千円	2,317千円	/	/	/
成果指標	山の家利用者数	B	63,000人	63,000人	40,000人	55,300人	55,300人	55,300人
			26,348人	28,099人	37,621人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	24,389		13,045		29,678	
節別内訳	委託料	-	8,365		8,365		17,000	
	使用料及び賃借料	-	1,407		1,319		1,502	
	工事請負費	-	10,698		1,023		9,161	
	負担金、補助及び交付金	-			671			
	その他	-	3,919		1,667		2,015	
財源内訳	国庫支出金	-			600			
	県支出金	-	5,000					
	地方債	-						
	その他	-	417					
	一般財源	-	18,972		12,445		29,678	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年から社会人に及ぶ生涯学習教育の場として、宿泊機能を備えた施設を安定的に管理運営する必要がある一方で、更なる利用促進や地域振興の観点から幅広く活用策を検討していかなければならない。 ・施設の老朽化により、突発修繕が多発している。宿泊棟の屋根外壁の塗装の劣化や雨漏り対策（H27管理棟の屋根塗装は完了）などを実施する必要がある。 ・イベントの実施回数を増やすことなどで集客力を向上させるとともに、特に利用客が減少する春・秋のウィークデイや冬場の誘客対策を実施する必要がある。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理の更新に合わせ、今後の在り方について検討を行った。その結果、設置目的の変更や利用料金を改正するなどの一部条例改正を行うとともに、指定管理者の募集要項のなかで応募資格の拡大を図るなど民間の参入を促した。今後も施設の利用を促進し、更なる地域の活性化を図っていく。 ・施設の修繕については、今後、優先順位をつけて計画的に対応していく。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	ニュースポーツ普及活動経費					区分	継続	
所属	教育部 スポーツ振興課					会計	一般	
決算額（円）	1,026,559円	款項目	10	6	1	決算書頁	186	
総合計画	施策の柱	2-5	生涯を通じてスポーツを楽しむ人を増やす（スポーツ活動）					
	施策と内容	1	生涯スポーツを普及します					
事業の目的	スポーツ推進委員によるニュースポーツ教室を開催し、市民ひとり1スポーツの実現に向けて、ニュースポーツの普及を図る。				対象者 (ターゲット)	市内在住・在勤の18歳以上の方		
前年度の課題に対する取組	コロナ禍において、安心して参加いただける教室の運営							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員を指導者とし、ローズアリーナ、金谷体育センター、川根体育館を中心に、各種スポーツ教室（トランポウウォーク、ファミリーバドミントン、ペタンク、ワンバウンドふらば～るバレーボール、ポッチャ）を68回開催し、延べ890人の参加であった。令和4年度から新たにポッチャの教室を開催した。コロナ禍での参加者数の減少を見込んだ目標人数700人を大きく上回ることができた。 ・託児付のスポーツ教室「ママさん教室」を11回（参加者89人・無料体験1回含む）を開催し、子育て中のお母さんのスポーツをする機会の創出に努めた。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	ニュースポーツ教室開催数	B	71回	72回	70回	70回	70回	70回
			35回	42回	68回	/	/	/
成果指標	ニュースポーツ教室延参加者数	A	1,100人	1,350人	700人	900人	1,100人	1,350人
			368人	508人	890人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	140		1,027		1,245	
節別内訳	報償費	-	39		666		702	
	需用費	-	70		211		291	
	役務費	-	31		150		252	
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	140		1,027		1,245	
課題	スポーツ推進委員による指導の充実及び向上、各種目に対応したスポーツ推進委員の育成、誰もが参加できる新たな種目の導入、スポーツを行う機会の少ない方に対する効果的な動機付けの検討、ニュースポーツ教室の参加者が継続してスポーツを楽しむことができる競技団体の設立及び活動の支援等が課題である。							
改善点	スポーツ教室は年間70回を予定していたが、川根地区で予定していたニュースポーツ教室（2回）が参加希望者が0人であったため、中止となった。教室の開催案内の周知や開催地区を検討することが必要である。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	ジュニアスポーツクラブ事業					区分	継続	
所属	教育部 スポーツ振興課					会計	一般	
決算額（円）	1,064,362円	款項目	10	6	1	決算書頁	186	
総合計画	施策の柱	2-5	生涯を通じてスポーツを楽しむ人を増やす（スポーツ活動）					
	施策と内容	1	生涯スポーツを普及します					
事業の目的	ジュニア世代の基礎体力の養成、スポーツに親しむことによるスポーツ人口の底辺拡大を目的として、スポーツ教室を行う。				対象者 (ターゲット)	市内小学校4年生～6年生		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の確保 ・新たな種目の検討 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・島田市スポーツ協会加盟団体である島田市陸上競技協会、島田市水泳協会、島田市バスケットボール協会、島田市バレーボール協会や元島田市テニス協会員を中心とした任意の団体の協力を得て、市内小学校の4年生から6年生を対象とした陸上競技、水泳、ミニバスケットボール、バレーボール、硬式テニスの5種目について年間20回ずつ実施し、参加者は121人であった。悪天候による日程変更等はあったものの、予定通り各競技20回ずつ実施することができた。 ・硬式テニスについては、指導者の確保が困難となり、令和4年度で終了することとなった。（令和5年度からは、ソフトテニスを実施） 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	ジュニアスポーツ教室開催数	A	100回	100回	100回	100回	100回	100回
			50回	86回	100回	/	/	/
成果指標	ジュニアスポーツ教室参加者数	C	150人	180人	180人	180人	180人	180人
			126人	141人	121人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	40		1,064		1,103	
節別内訳	報償費	-			900		900	
	需用費	-	40		70		58	
	役務費	-			94		144	
	使用料及び賃借料	-					1	
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	40		1,064		1,103	
課題	令和5年度から始まるソフトテニスの安定した運営、児童の参加申込数増加を目指し、競技団体と協力した事業の周知、児童が全20回の教室に継続して取り組むことのできる魅力的な教室づくり、指導者の確保、令和6年度以降の島田市スポーツ協会へのスムーズな事業移管が課題である。							
改善点	令和3年度に比べ、受講者数が減少しているため、競技団体等と協力して事業の周知を図る。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	総合スポーツセンター等管理運営経費					区分	継続	
所属	教育部 スポーツ振興課					会計	一般	
決算額（円）	72,128,737円	款項目	10	6	2	決算書頁	186	
総合計画	施策の柱	2-5	生涯を通じてスポーツを楽しむ人を増やす（スポーツ活動）					
	施策と内容	3	スポーツ活動を行う環境を適切に管理運営します					
事業の目的	市民ニーズに応えられる多機能な施設を有する総合スポーツ施設として、生涯スポーツの振興や交流を推進していくとともに災害防災拠点としての強化を図る。				対象者 (ターゲット)	市民		
前年度の課題に対する取組	令和5年度以降の3年間については、「島田市中央公園外6施設」として一体的に管理運営を行うため、令和4年度において指定管理者を選定する。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・総合スポーツセンター、中央公園庭球場、中央公園親子プール、伊太庭球場について、指定管理者による一体的な管理を行い、効率的・効果的な維持管理ができた。 ・コロナの影響はあるが、利用者の数は順調に回復している。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	施設維持管理事業費	B	68,849,000円	69,089,000円	72,128,737円	75,621,000円	-	-
			68,845,403円	68,390,785円	67,084,397円	/	/	/
成果指標	施設利用者数	C	410,000人	410,000人	410,000人	410,000人	410,000人	410,000人
			255,042人	294,982人	312,446人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	68,391		72,129		75,621	
節別内訳	需用費	-	231		461		475	
	委託料	-	65,802		65,802		69,005	
	工事請負費	-	1,980		715		616	
	負担金、補助及び交付金	-	243		5,012		5,342	
	その他	-	136		139		183	
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	68,391		72,129		75,621	
課題	適切に管理されており、課題は発生していない。							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	田代の郷多目的スポーツ・レクリエーション広場管理運営経費					区分	継続	
所属	教育部 スポーツ振興課					会計	一般	
決算額（円）	331,169円	款項目	10	6	2	決算書頁	186	
総合計画	施策の柱	2-5	生涯を通じてスポーツを楽しむ人を増やす（スポーツ活動）					
	施策と内容	3	スポーツ活動を行う環境を適切に管理運営します					
事業の目的	子供から高齢者までが楽しく健康の保持増進ができる多目的スポーツ・レクリエーション広場として維持管理を行うことを目的とする。				対象者 (ターゲット)	子育て世代の家族		
前年度の課題に対する取組	令和3年度に、「田代の郷温泉」と一体的に指定管理者による管理運営を開始し、2年目となることから、民間活力を生かした経営を推進し、令和6年度以降の次期指定管理者募集時まで適正な指定管理料等の精査を行う。							
実施結果	指定管理者制度を導入し、民間活力を生かした運営を行った結果、施設利用者数は目標を大きく上回った。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	施設維持管理事業費	B	15,034,000円	3,526,000円	389,000円	359,000円	-	-
			14,063,839円	2,862,530円	331,169円	/	/	/
成果指標	施設利用者数	A	84,000人	84,000人	84,000人	84,000人	84,000人	84,000人
			164,000人	109,000人	128,000人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	2,863		331		359	
節別内訳	需用費	-	191		322		300	
	役務費	-	2		9		59	
	委託料	-						
	工事請負費	-	2,453					
	その他	-	217					
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	2,863		331		359	
課題	適切に管理されており、課題は発生していない。							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	横井運動場公園・大井川緑地等管理運営経費					区分	継続	
所属	教育部 スポーツ振興課					会計	一般	
決算額（円）	97,559,959円	款項目	10	6	2	決算書頁	186	
総合計画	施策の柱	2-5	生涯を通じてスポーツを楽しむ人を増やす（スポーツ活動）					
	施策と内容	3	スポーツ活動を行う環境を適切に管理運営します					
事業の目的	島田球場及び大井川緑地各施設等の施設の施設、備品の管理及び芝生等の育成管理剪定等常に良好な状態に保ち、利用者の利便性や安全性の向上を図ることを目的とする。				対象者 (ターゲット)	市民		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に、指定管理者による管理運営を開始し、2年目となることから、民間活力を生かした経営を推進する。 ・金谷体育センターについては、令和5年度以降はPFI事業（金谷地区生活交流拠点整備運営事業）による管理となるため、従来の利用を損なうことのない運営へ移行するよう契約を進める。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・横井運動場公園、大井川緑地、谷口スポーツ広場、大井川さくら緑地、かなや大井川緑地、金谷体育センターについて、指定管理者による一体的な管理を行い、効率的・効果的な維持管理ができた。 ・コロナの影響はあるが、利用者の数は順調に回復している。 							
		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度 目標値 実績値	R3年度 目標値 実績値	R4年度 目標値 実績値	R5年度 目標値 実績値	R6年度 目標値 実績値	R7年度 目標値 実績値
活動指標	施設維持管理事業費	B	21,921,000円	117,951,000円	99,061,000円	68,430,000円	-	-
			21,877,900円	116,272,665円	97,559,959円	/	/	/
成果指標	施設利用者数	C	591,516人	603,346人	615,413人	627,721人	640,276人	653,081人
			373,645人	398,757人	488,260人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	116,273		97,560		68,430	
節別内訳	需用費	-	1,342		1,152		1,197	
	委託料	-	78,850		75,084		61,500	
	工事請負費	-	35,519		20,621		5,000	
	負担金、補助及び交付金	-			298			
	その他	-	561		405		733	
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	116,273		97,560		68,430	
課題	適切に管理されており、課題は発生していない。							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	学校給食運営事業					区分	継続	
所属	教育部 学校給食課					会計	一般	
決算額（円）	656,376,950円		款項目	10	6	3	決算書頁 188	
総合計画	施策の柱	2-3	豊かな心を育む教育を進める（義務教育）					
	施策と内容	4	安全・安心でおいしい学校給食を提供します					
事業の目的	市立小中学校の児童生徒に安全安心な学校給食を提供するとともに、食育を推進する。				対象者 (ターゲット)	市立小中学校の児童生徒		
前年度の課題に対する取組	コロナ禍で生産者等の学校訪問が行えなかったため、生産者自身が農産物やその生産過程の説明を行うDVDを作成し、栄養教諭による食育授業や給食時間訪問等で活用していく。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は、危険異物混入もなく、アレルギー対応についても正確に実施し、安全安心でおいしい学校給食を提供できた。 ・食育事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生産者による学校への訪問ができない状況であった。そのため、新たに、4人の生産者が出演する動画を作成し、ホームページにて公開した。 ・学校給食献立カレンダーにQRコードを載せ、保護者が簡単にその動画を閲覧できるようにした。学校給食課ホームページの閲覧回数は20,309件であった。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	生産者の学校訪問	C	23回	23回	20回	20回	20回	20回
			0回	0回	0回	/	/	/
成果指標	地産地消の推進（金額ベース）	B	-	56.2%	56.2%	56.2%	56.2%	56.2%
			56.2%	34.3%	51.9%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	693,285		656,377		659,275	
節別内訳	需用費	-	492,246		519,229		519,329	
	委託料	-	129,948		130,149		131,925	
	工事請負費	-	16,686		1,771		1,852	
	備品購入費	-	50,215		677		1,691	
	その他	-	4,190		4,551		4,478	
財源内訳	国庫支出金	-			16,000			
	県支出金	-	5,108					
	地方債	-	41,200					
	その他	-	432,780		430,924		436,242	
	一般財源	-	214,197		209,453		223,033	
課題	安定した学校給食の運営には、調理作業を行う人員が確保されなければならない。しかしながら、正規調理員の退職不補充により、会計年度任用職員が多くなっているなか、感染症の蔓延等により、必要な人員が確保できない状況となれば、学校給食を停止せざるを得ない状況となる。現在は、事務職員等が調理作業を手伝うことにて対処しているが、正規調理員は今後更に減少していくため、調理業務の運営が危うくなっていく。							
改善点	令和6年度より中部学校給食センターの調理業務を民間に委託し、今後5年間で10人以下となる正規調理員でも対応できる調理食数であり、現在民間委託している南部学校給食センターの調理業務を直営とする方針を決定した。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	公共施設包括管理委託					区分	継続	
所属	行政経営部 資産活用課					会計	一般	
決算額（円）	174,841,577円	款項目	/	/	/	決算書頁	/	
総合計画	施策の柱	7-4	公共施設を賢く持って、賢く使う（公共施設の保全・再編・利活用）					
	施策と内容	2	公共施設を効率的に整備・運営します					
事業の目的	公共施設の長寿命化を通してライフサイクルコストを削減し、持続可能な公共施設経営を実現する。				対象者 (ターゲット)	全市民		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務に係る委託料が各課予算において措置されているため、支出に関する事務の簡素化に向けた整理を進める。 ・業務範囲に修繕を追加することについて検討を進める。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・年度契約の内容に基づき、現場における保守点検及びマネジメントに関する業務を予定どおり実施した。 ・予算の集約による事務の簡素化について、決算上の留意事項（目的別歳出額への影響の度合い等）を考慮しつつ準備を進めた。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	業務の進捗率	A	-	20%	40%	60%	80%	100%
			-	20%	40%	/	/	/
成果指標	業務実施内容に対する各施設所管課の満足度	A	-	-	80%	80%	80%	80%
			-	-	100%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		839,553	161,005		174,842		158,923	
節別内訳	委託料	839,553	161,005		174,842		158,923	
	その他							
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	839,553	161,005		174,842		158,923	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・支出事務の簡素化に向け、予算の集約が必要である。 ・業務範囲に修繕を加え、品質のより一層の向上を図る必要がある。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・財政課と連携し、予算の集約に向けた検討を進める。 ・次期事業者公募に向け、先進自治体の事例を参考に修繕の追加について検討を進める。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	特定健康診査及び特定保健指導事業					区分	継続	
所属	健康福祉部 国保年金課					会計	国保	
決算額（円）	73,330,974円		款項目	5	1	1	決算書頁 24	
総合計画	施策の柱	1-2	健康で自分らしく暮らす（健康づくり・地域医療）					
	施策と内容	4	国民健康保険制度の安定運営に努めます					
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・国保被保険者の健康の維持・増進 ・医療費上昇の抑制 				対象者 (ターゲット)	島田市国民健康保険被保険者のうち、40歳から74歳の方		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における健診の受診率低下の回復 ・特定保健指導実施率の維持 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度については、概ね新型コロナ禍以前の水準まで受診率を回復している。 ・特定健診、特定保健指導共に、目標値には及ばないものの、それに近い実績をあげることができた。 							
指標名	当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	
活動指標	特定健診受診率 (年度末暫定)	B	40.0%	40.0%	40.5%	42.0%	43.5%	45.0%
			39.2%	39.4%	40.2%			
成果指標	特定保健指導利用率 (年度末暫定)	B	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
			90.7%	82.4%	88.1%			
年度	総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算		
事業費（千円）	-	74,545		73,331		81,792		
節別内訳	需用費	-	924		600		721	
	役務費	-	3,667		2,360		2,544	
	委託料	-	69,473		69,974		77,674	
	使用料及び賃借料	-	341		341		815	
	その他	-	140		56		38	
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-	42,244		41,907		41,104	
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	32,301		31,424		40,688	
課題	令和5年度以降、目標数値が段階的にあがるため、目標達成が困難になっていく。							
改善点	目標を達成していくには前年踏襲の事業を実施するだけでなく、ターゲットを絞った勧奨を実施するなど、より効果的な事業を展開していく必要がある。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	保険給付費				区分	継続		
所属	健康福祉部 長寿介護課				会計	介保		
決算額（円）	8,023,550,853円	款項目	2	/	決算書頁	67		
総合計画	施策の柱	1-3	生涯を通じて誰もが生きがいをもち安心して暮らす（高齢者・介護）					
	施策と内容	4	介護保険サービスの適正な提供を推進します					
事業の目的	<p>今後も高齢化率の上昇が見込まれる中、介護給付を必要とする受給者を適切に認定し、受給者が真に必要な過不足のない介護サービスを適切に提供することで、介護サービスの確保とその結果としての費用の効率化を通じて介護保険制度の信頼を高め、持続可能な制度とすることを目的とする。</p>				対象者 (ターゲット)	高齢者（65歳以上）		
前年度の課題に対する取組	<p>引き続き、介護給付適正化に向けた以下の3点を重要な視点として捉え、取組を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護給付を必要とする受給者を公正・的確・迅速に認定すること。（要介護認定の適正化） ・ケアプランの点検等、受給者が真に必要なサービスを提供すること。（ケアマネジメント等の適切化） ・事業者がルールに従って適切にサービスを提供するよう促すこと。（事業所のサービス提供体制及び介護報酬請求の適正化） 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・認定調査員が実施した認定調査について、その調査内容の全件点検を実施し、要介護認定の適正化に努めた。 ・ケアプランの点検に加え、住宅改修の現地点検（年6件）や福祉用具購入・貸与の実態調査（年6件）を実施し、ケアマネジメント等の適切化に努めた。 ・静岡県国民健康保険団体連合会が作成するシステム帳票を活用し、給付実績に係る点検を年2回実施した。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	保険給付費の執行額の抑制	A	8,173,056千円	8,532,348千円	8,789,245千円	9,207,034千円	-	-
			7,753,884千円	7,965,304千円	8,023,551千円	/	/	/
成果指標	第1号被保険者の保険料基準月額の上昇の抑制	A	5,100円	4,960円	4,960円	4,960円	-	-
			5,100円	4,960円	4,960円	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	7,965,304		8,023,551		8,789,044	
節別内訳	役務費	-	5,088		5,264		5,532	
	負担金、補助及び交付金	-	7,960,216		8,018,287		8,783,512	
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-	1,859,277		1,915,087		2,005,188	
	県支出金	-	1,179,616		1,196,861		1,290,701	
	地方債	-						
	その他	-	3,145,977		3,184,496		3,471,671	
	一般財源	-	1,780,434		1,727,107		2,021,484	
課題	令和5年度は、第9期島田市介護保険事業計画の策定年度であるため、次期計画期間の3年間で必要な介護給付費等を見込み、適切な介護保険料を設定する必要がある。							
改善点	認定調査員が実施した認定調査内容の全件点検について、これまでは認定指導係職員が主に実施していたが、その他係の職員でも点検ができるよう、Web研修を受講のうえ対応した。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	訪問看護ステーション事業				区分	継続		
所属	健康福祉部 健康づくり課				会計	介サ		
決算額（円）	75,081,308円	款項目	/	/	決算書頁	95		
総合計画	施策の柱	1-2	健康で自分らしく暮らす（健康づくり・地域医療）					
	施策と内容	3	地域医療の確保と充実を図ります					
事業の目的	医療や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域でいつまでも生活が継続できるよう支援する。				対象者 (ターゲット)	介護保険や医療保険を利用し、在宅で療養する市民		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 終末期の利用者が増加し、状態が変化しやすく短期間利用であることなどの理由から安定した収入が困難な現状がある。理学療法士を採用し安定的な利用者の増加による経営改善を図るとともに、システムの更新により業務の効率化を図る。 ・ 利用料の口座振替を8月を目途に開始していく。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理学療法士の採用により利用者数の増加を見込んだが、活動指標・評価指標ともに目標値を達成できなかった。理学療法士の訪問件数は多く、事業所の実績に大きく貢献したが、それ以上に、新型コロナウイルス感染症や看護師の退職による交代が大きく影響した。また、市内に民間の訪問看護ステーションが開設されるなどの影響で、特定の診療所からの依頼が不安定な状況となった。 ・ 新システムへの更新に伴い業務の効率化が図られ、利用料の口座振替の開始が可能となった。令和5年3月31日現在の口座振替利用者は57人である。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	訪問看護利用人数 上段：実人数 下段：延べ人数	C	194人 5,280人	213人 5,472人	321人 6,930人	368人 7,735人	370人 7,809人	370人 7,891人
			209人 5,420人	218人 5,049人	214人 5,338人	/	/	/
成果指標	在宅看取り人数	B	-	64人	79人	80人	80人	80人
			63人	74人	72人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	78,163		75,081		82,549	
節別内訳	給料	-	37,575		37,547		39,752	
	職員手当等	-	17,370		18,280		20,105	
	共済費	-	11,478		11,577		12,424	
	需用費	-	1,554		1,558		2,135	
	その他	-	10,186		6,119		8,133	
財源内訳	国庫支出金	-	60					
	県支出金	-	10		271			
	地方債	-						
	その他	-	2,325		4,376		1,000	
	一般財源	-	75,768		70,434		81,549	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療依存度が高く短期間の利用者の依頼が多いため、件数や収益の増加に繋がりにくい。 ・ 市直営の事業所として、看護師の複数対応事例、困難事例、遠方の方などを受けているほか、在宅医療に関する会議への出席や講演会の講師依頼、実習生の受け入れなどの対応が求められ、職員の負担が大きい。 ・ 市内に訪問看護ステーションが複数新設される等、事業所を取り巻く状況が変化してきており、経営の改善に向けた取組が必要である。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のケアカフェや多職種による連絡会等に参加し、医療機関や居宅介護支援事業所、地域包括支援センターなどとの連携を深める。 ・ 利用者のニーズに合わせた臨機応変な対応に努める。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	老朽化施設更新事業					区分	継続	
所属	都市基盤部 水道課					会計	水道	
決算額（円）	146,795,000円	款項目	1	1	1	決算書頁	131	
総合計画	施策の柱	6-2	安全で快適な生活基盤を整える（生活道路・河川・公園・上下水道）					
	施策と内容	4	上下水道事業の安定的な運営を図ります					
事業の目的	老朽化した配水管を更新し、災害時の断水時間を最小限に抑える。				対象者 (ターゲット)	全市民		
前年度の課題に対する取組	限られた費用の中で更新するため、重要施設への配水管路を重点的に更新する。 (R3年度に更新計画を見直したため、R3年度からの指標とした。)							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・配水管の耐震化工事を実施した。 ・老朽化や漏水が頻発している配水管を布設替した。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	管路の更新延長	A	-	1,393m	1,020m	1,460m	2,085m	2,085m
			-	1,356.1m	1,600.8m	/	/	/
成果指標	老朽配水管耐震性能率の向上 (更新済延長/配水管総延長)	A	-	22.2%	22.4%	22.8%	23.3%	23.9%
			-	22.2%	22.6%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	139,979		146,795		137,000	
節別内訳	工事請負費	-	139,979		146,795		137,000	
		-						
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-	81,000		62,000		130,000	
	その他	-						
	一般財源	-	58,979		84,795		7,000	
課題	配管施工業者が限られているため、水道課発注工事で同じ業者が施工することがあり、工事に遅れが生じることがある。							
改善点	早期発注により、余裕を持った工期に設定する。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名		送水管更新事業					区分	継続	
所属		都市基盤部 水道課					会計	水道	
決算額（円）		148,753,000円		款項目	1	1	1	決算書頁	131
総合計画		施策の柱	6-2	安全で快適な生活基盤を整える（生活道路・河川・公園・上下水道）					
		施策と内容	4	上下水道事業の安定的な運営を図ります					
事業の目的		送水管の耐震適合率が28%と低いため、送水管の耐震化率を高め、地震災害時の安全性を向上させる。				対象者 (ターゲット)	全市民		
前年度の課題に対する取組		送水管は大口径管路が多いため、投資費用に対して更新延長が伸びないが、今後は送水管などの基幹管路に重きを置き投資していく。 (R3年度に更新計画を見直したため、R3年度からの指標とした。)							
実施結果		<ul style="list-style-type: none"> ・送水管の耐震化工事を実施した。 ・非耐震管に対し布設替や継手補強を施工した。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	
活動指標	管路の更新延長	B	-	160m	2,240m	1,300m	1,660m	1,200m	
			-	368m	1,937.8m	/	/	/	
成果指標	送水管路の耐震適合率向上 (耐震適合率延長/送水管総延長)	B	-	30.6%	39.8%	45.9%	53.8%	59.4%	
			-	30.1%	38.4%	/	/	/	
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算		
事業費（千円）		-	93,482		148,753		160,400		
節別内訳	工事請負費	-	93,482		148,753		160,400		
		-							
		-							
		-							
	その他	-							
財源内訳	国庫支出金	-							
	県支出金	-							
	地方債	-	46,000		102,500		150,000		
	その他	-							
	一般財源	-	47,482		46,253		10,400		
課題	更新延長が目標値を下回った。工事の進捗は、工事関係者との調整や天候など想定外の要因によって予定どおり施工できないことがある。								
改善点	工事の早期発注と工事関係者との連絡調整を早期に着手することにより、工事に遅れを生じさせない。								

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	機械設備維持修繕工事					区分	継続	
所属	都市基盤部 水道課					会計	水道	
決算額（円）	34,063,000円	款項目	1	1	1	決算書頁	131	
総合計画	施策の柱	6-2	安全で快適な生活基盤を整える（生活道路・河川・公園・上下水道）					
	施策と内容	4	上下水道事業の安定的な運営を図ります。					
事業の目的	経年劣化により老朽化している機械設備を修繕したり、取替工事を実施したりするほか、井戸水源の浚渫等を行うことにより設備の健全維持に努め、利用者に安全安心な水の供給を図る。				対象者 (ターゲット)	給水区域の住民及び事業所		
前年度の課題に対する取組	とりわけ稲荷浄水場は約50年が経過し、設備は非常に老朽化している。2031年に廃止することが決定したが、それまで機械設備を維持していかなければならない。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・稲荷浄水場消火栓取替工事、稲荷浄水場薬品注入設備整備工事、稲荷浄水場高速沈殿池汚泥掻寄機減速機取替工事、南8号水源及び稲荷2号予備水源浚渫工事、初倉4号水源引込開閉器整備工事、南8号水源取水電動弁取替工事及び川口地区ろ過機等詳細設計業務委託が完了した。 ・上伊太送水ポンプ場送水ポンプ取替工事は、送水ポンプの納品が大幅に遅れるため、やむを得ず次年度に予算を繰越すこととした。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	事業の進捗状況（工事・委託件数）	B	4件	4件	8件	8件	3件	3件
			4件	4件	7件	/	/	/
成果指標	市民意識調査における上下水道整備の満足度	B	46.7%	41%	50.6%	50%	50%	50%
			46.7%	41%	47.2%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	18,335		34,063		69,465	
節別内訳	工事請負費	-	18,335		34,063		69,465	
	委託料	-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-	18,335		34,063		69,465	
課題	稲荷浄水場は、2031年に廃止することが決定していることから、残年数を考慮しつつ、修繕及び取替工事を必要とする機械設備の適切な処理及びタイミングを見極めることが難しい。							
改善点	設備台帳等により実勢耐用年数を超過している設備・機器類を適切に修繕及び取替工事を実施することにより長寿命化策を講ずることで、施設管理受託業者と連携を図りつつ設備等の健全な維持管理に努める。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	医業収益確保対策事業					区分	継続	
所属	事務部 医事課					会計	病院	
決算額（円）	12,942,241,510円		款項目	1	1	決算書頁	153	
総合計画	施策の柱	1-2	健康で自分らしく暮らす（健康づくり・地域医療）					
	施策と内容	2	島田市立総合医療センターで質の高い医療を実践します					
事業の目的	地域医療の中核を担う急性期病院として救急、災害など質の高い医療の実践、関係機関との連携による地域医療体制の維持・強化を図り、医業収益を増収させ健全経営に貢献する。				対象者 (ターゲット)	患者		
前年度の課題に対する取組	島田市立総合医療センターの診療情報を定期的に発信し、二次保健医療圏の他病院や診療所と連携し医療機能と役割を分担・補完しあい、地域の医療体制の維持・強化を図る。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来 延患者数：209,260人 1日平均患者数：861.2人（243日） ※外来収益：4,787,100,701円 ・ 入院 延患者数：128,464人 1日平均患者数：352.0人（365日） ※入院収益：7,838,043,131円 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	延患者数 上：外来 下：入院	B	210,195人 142,350人	204,850人 135,042人	206,550人 135,050人	206,550人 135,420人	206,550人 135,050人	205,700人 135,050人
			189,320人 132,264人	203,520人 129,145人	209,260人 128,464人	/	/	/
成果指標	1日平均患者数 上：外来 下：入院	B	865.0人 390.0人	850.0人 378.0人	850.0人 370.0人	850.0人 370.0人	850.0人 370.0人	850.0人 370.0人
			779.1人 362.4人	844.5人 353.8人	861.2人 352.0人	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-						
節別内訳		-						
		-						
		-						
	その他	-						
		-						
財源内訳	国庫支出金	-						
	県支出金	-						
	地方債	-						
	その他(医業収益)	-	12,225,484		12,942,242		13,096,041	
	一般財源	-						
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入院患者数については、目標を下回ったものの、収益では外来・入院ともに予算額を上回ることができた。 ・ 患者数を増加させるとともに、診療単価を上げ、収益の確保に繋げていく必要がある。 							
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師会や医療機関、介護施設などに定期的な診療情報の提供や会議等を通じて情報交換を強化して信頼関係を構築し紹介患者の増を図る。 ・ 院内各部署が専門性の向上と多職種間の連携を図り、新規施設基準の取得に向けて一層協力することにより、診療単価を上げていく。 							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	看護専門学校空調設備改修工事					区分	新規	
所属	看護専門学校 教務課					会計	病院	
決算額（円）	22,880,000円	款項目	1	1	1	決算書頁	164	
総合計画	施策の柱	1-2	健康で自分らしく暮らす（健康づくり・地域医療）					
	施策と内容	3	地域医療の確保と充実を図ります					
事業の目的	老朽化した空調設備（1階部分）の更新を行い換気機能の向上を図りコロナ対応とするとともに、学校運営の継続を図る。					対象者 (ターゲット)	学校運営者・学生	
前年度の課題に対する取組	(新規事業)							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎1階、エアコン2系統の更新を実施した。 ビル用マルチエアコン室外機 2台 ビル用マルチエアコン室内機 17台 全熱交換機ユニット 4台 ・全熱交換機ユニットは、学生が多く集まる部屋の物を上位機に更新したため、換気量が3～4割増量し換気機能が向上しコロナ対策が図れた。これらの更新により、熱ロスも少なく省エネで年間を通じて快適な環境下での授業を行えるようになった。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	工事進捗率	A	-	-	100%	-	-	-
			-	-	100%	/	/	/
成果指標	学校自己評価（施設設備の整備）のポイント ※満点は3p	A	-	-	2.6p	-	-	-
			-	-	2.6p	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		22,880			22,880			
節別内訳	工事費	22,880			22,880			
	その他							
財源内訳	国庫支出金	22,880			22,880			
	県支出金							
	地方債							
	その他							
一般財源								
課題	今後、継続して使用出来るよう業者による定期保守点検が必要である。							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	看護専門学校高圧受電設備取替工事					区分	新規	
所属	看護専門学校 教務課					会計	病院	
決算額（円）	17,050,000円	款項目	1	1	1	決算書頁	164	
総合計画	施策の柱	1-2	健康で自分らしく暮らす（健康づくり・地域医療）					
	施策と内容	3	地域医療の確保と充実を図ります					
事業の目的	耐用年数を超え稼働しているため、外観とも劣化が始まっており更新し学校運営の継続を図る。				対象者 (ターゲット)	学校運営者・学生		
前年度の課題に対する取組	(新規事業)							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成元年以来、稼働し続けた高圧受電設備を年度内に更新することができた。 ・学校運営に支障をきたすことのないよう、土曜日（令和5年2月4日）に施工を行った。 ・工事の完了により、安定して受電することが可能となり、電気供給に関し学校運営に支障をきたす不安が解消された。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	工事進捗率	A	-	-	100%	-	-	-
			-	-	100%	/	/	/
成果指標	学校自己評価（施設設備の整備）のポイント ※満点は3p	A	-	-	2.6p	-	-	-
			-	-	2.6p	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		17,050			17,050			
節別内訳	工事費	17,050			17,050			
	その他							
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	17,050			17,050			
課題	今後も安心安全な電気を供給するため、電気事業法に基づく電気設備の保守点検を継続して行う必要がある。							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	医療器械等整備事業					区分	継続	
所属	事務部 経営企画課					会計	病院	
決算額（円）	366,061,932円	款項目	1	1	2	決算書頁	164	
総合計画	施策の柱	1-2	健康で自分らしく暮らす（健康づくり・地域医療）					
	施策と内容	2	島田市立総合医療センターで質の高い医療を実践します					
事業の目的	質の高い医療を提供するとともに医療行為に対する患者負担の軽減を図るため、最新医療機器等の整備を行う。				対象者 (ターゲット)	患者		
前年度の課題に対する取組	医療器械器具等を実勢価格以下で購入する。							
実施結果	令和4年度 医療器械器具の購入状況 購入数 購入機器33機種 そのうち実勢価格以下28機種 実勢価格を100とした場合の購入額の割合 $84,551,996 / 86,131,400 \times 100 = 98.2\%$							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	コンサルタントによる実勢価格に関する購入器械ごとの打ち合わせ割合	A	-	100%	100%	100%	100%	100%
			-	100%	100%	/	/	/
成果指標	実勢価格を100とした購入額の割合 購入額/実勢価格	B	-	95%以下	95%以下	95%以下	95%以下	95%以下
			-	99.4%	98.2%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	541,561		366,062		257,678	
節別内訳	器械器具購入費	-	541,561		366,062		257,678	
		-						
		-						
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-	51,036		46,700			
	県支出金	-	63,746		108,002		4,500	
	地方債	-	300,000		193,000		154,000	
	その他	-	100,749		9,140		49,589	
	一般財源	-	26,030		9,220		49,589	
課題	エネルギー高騰、物価高騰等の情勢から購入価格を抑えることは容易ではない。							
改善点	近年、実勢価格は日々変化しているため、購入のタイミングで適宜コンサルタントに相談をかけることで費用を抑えるとともに、直接メーカーにもヒアリングを行い、価格高騰の理由を探り市場価格の動向をつかむ。							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	新病院建設事業					区分	継続	
所属	事務部 病院建設課					会計	病院	
決算額（円）	2,540,463,846円	款項目	1	1	3	決算書頁	164	
総合計画	施策の柱	1-2	健康で自分らしく暮らす（健康づくり・地域医療）					
	施策と内容	2	島田市立総合医療センターで質の高い医療を実践します					
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・患者及び病院職員の安全・安心の確保 ・健全経営による継続的な医療実践 ・志太榛原保健医療圏における地域医療の実践 				対象者 (ターゲット)	患者及び病院職員		
前年度の課題に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「ローコスト、高品質の病院建設を目指す」という事業理念のもと、計画どおりに事業は進んでいる。 ・令和4年度は事業の最終年度であるため、新病院建設関連工事との調整を図りながら確実に外構工事を終え、円滑に供用開始できるよう取り組む。 							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・新病院建設事業については、平成30年4月1日の着工から5年の歳月をかけ、令和5年3月17日に工事が竣工した。 ・令和4年度は4月から外構工事に着手し、新ロータリーの完成に伴い、8月1日から新ロータリーと一部構内道路の使用を開始した。10月3日から新駐車場の一部を使用開始。10月31日には新ロータリーと県道交差点が接続・開通した。竣工後は、新駐車場333台分すべてと人工透析センター西側に設けた185台分の駐輪場が使用可能となり、また、病院敷地内を南北に通る構内道路が開通した。 ・工事にあたっては、新病院と同一敷地内での工事であり、安全な患者動線の確保と医療環境に配慮しながら工事を進めた。また、道水路工事などの周辺整備工事と調整を図りながら工事を進めた。 							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	事業進捗率 ・目標値は基本設計時の総事業費24,088,785千円に対する累計執行予定額の比率 ・実績値は報告時の総事業費21,012,852千円に対する累計執行事業額の比率	A	92.1%	97.3%	100%	-	-	-
			79.7%	88.4%	100.4%	/	/	/
成果指標	経常損益 目標値は基本設計時の収支計画における経常損益の見込み額。令和9年度の黒字化を目標	A	91,000千円	△2,828,000千円	△625,000千円	△828,000千円	△770,000千円	△716,000千円
			△379,106千円	△309,600千円	△43,672千円	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		24,702,391	918,029		2,540,464			
節別内訳	給料		15,966		14,206			
	手当等		10,879		9,182			
	委託費	414,888	45,278		25,829			
	工事費	16,422,776	840,150		2,485,814			
	その他	7,864,727	5,756		5,433			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債	16,900,000	646,500		1,878,400			
	繰入金	6,680,000	243,505		644,132			
	一般財源	1,122,391	28,024		17,932			
課題	平成30年4月1日に着工した新病院建設工事は、5年の歳月をかけ、令和5年3月17日に竣工した。事業に係る課題等は発生していない。							
改善点	なし							

令和4年度 重点事業評価シート

事業名	公共下水道污水管渠整備事業					区分	継続	
所属	都市基盤部 下水道課					会計	下水道	
決算額（円）	312,450,150円	款項目	1	1	1	決算書頁	195	
総合計画	施策の柱	6-2	安全で快適な生活基盤を整える（生活道路・河川・公園・上下水道）					
	施策と内容	4	上下水道事業の安定的な運営を図ります					
事業の目的	公共下水道普及率の向上と生活環境の改善を図るために、下水道事業整備区域内の污水幹線・枝線の整備を行う。				対象者 (ターゲット)	下水道計画区域内の市民		
前年度の課題に対する取組	水洗化率（接続率）の向上のため、接続補助金等による補助制度の検討が必要である。							
実施結果	中溝町・向島町地内の幹線整備工事（L＝145m）及び中溝町地内の枝線整備工事（L＝883m）を計画どおり実施した。							
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	下水道整備の工事状況（供用開始面積）	A	223ha	228ha	233ha	238ha	243ha	248ha
			232.15ha	232.64ha	237.07ha	/	/	/
成果指標	下水道処理人口の普及率	B	11.6%	11.9%	12.2%	12.5%	12.8%	13.1%
			11.84%	11.9%	12.19%	/	/	/
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		-	218,466		312,450		491,009	
節別内訳	材料費	-	271		268		1,119	
	委託料	-	16,566		693		31,394	
	補償費	-	50,640		31,125		77,304	
	工事請負費	-	150,989		280,364		381,192	
	その他	-						
財源内訳	国庫支出金	-	67,104		106,496		156,400	
	県支出金	-						
	地方債	-	137,700		184,900		304,770	
	その他	-	12,051		17,541		23,000	
	一般財源	-	1,611		3,513		6,839	
課題	計画どおり進捗している。							
改善点	なし							